

生駒市
子育てに関するニーズ調査
調査結果報告書

【 未定稿 】

令和元年（2019年） 月
生駒市

目 次

I. 調査の概要	1
II. 就学前児童調査の結果	3
1. 住まいの地域について	4
2. 子どもと家族の状況について	4
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	8
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用について	19
5. 土曜日、日曜日・祝日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について	30
6. 病気の際の対応について	35
7. 地域子育て支援事業の利用状況について	43
8. 不定期な教育・保育事業や一時預かり等の利用について	46
9. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	54
10. 小学校就学後の過ごし方について	65
11. 幼稚園及び小中学校の規模について	70
12. 子育て全般について	73
III. 小学生調査の結果	75
1. 住まいの地域について	76
2. 子どもと家族の状況について	76
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	80
4. 保護者の就労状況について	83
5. 放課後の過ごし方について	90
6. 病気の際の対応について	96
7. 地域子育て支援事業の利用状況について	104
8. 不定期な教育・保育事業や一時預かり等の利用について	105
9. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	113
10. 小学校・中学校の規模について	123
11. 子育て全般について	126
IV. 資料編（調査票）	128

I . 調査の概要

1. 調査目的

生駒市では、子どもも大人も笑顔で健やかに育ちあうまちを目指して、「生駒市子ども・子育て支援事業計画」を平成27年3月に策定し、さまざまな子育て支援に関する取組を進めております。

市民の皆様の子育て支援に関するサービスの利用状況や今後の利用希望等を把握し、次期計画（計画期間：令和2年度から令和6年度まで）及び今後の子育て施策に反映していくため、ニーズ調査を実施しました。

2. 調査設計

- (1) 調査対象
 - ・市内在住の就学前の子どもを持つ保護者 2,000名
 - ・市内在住の就学中の小学生を持つ保護者 1,200名
- (2) 抽出方法 住民基本台帳による無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送及び所属保育所・幼稚園・小学校を通しての配布
郵送による回収
- (4) 調査期間 令和元年6月4日～28日

3. 回収結果

調査対象	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童調査	2,000	1,184	59.2%
小学生調査	1,200	727	60.6%

4. 報告書の見方

- (1) 回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してある。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%を前後することがある。
- (2) 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超える。
- (3) 本文中のグラフや数表で、コンピュータの入力の都合上、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。

Ⅱ. 就学前児童調査の結果

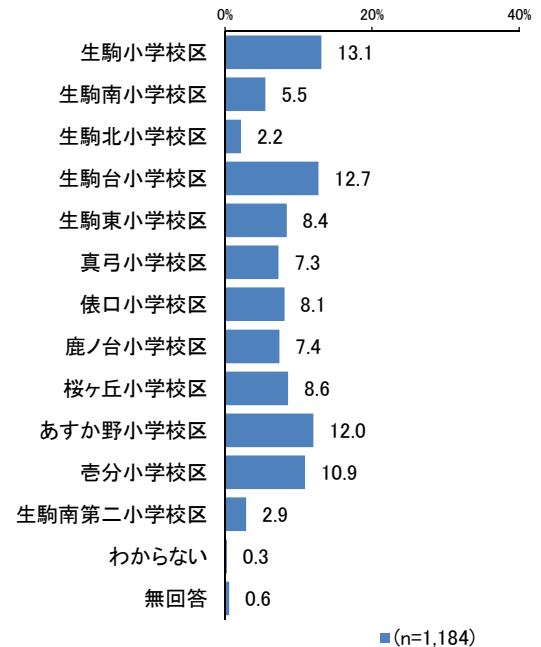
1. 住まいの地域について

(1) 住まいの地域

問1 お住まいの地域として当てはまる番号1つに○をつけてください。

図 住まいの地域

住まいの地域は、「生駒小学校区」が13.1%で最も高く、次いで「生駒台小学校区」が12.7%、「あすか野小学校区」が12.0%、「壱分小学校区」が10.9%、「桜ヶ丘小学校区」が8.6%、「生駒東小学校区」が8.4%、「俵口小学校区」が8.1%、「鹿ノ台小学校区」が7.4%、「真弓小学校区」が7.3%、「生駒南小学校区」が5.5%、「生駒南第二小学校区」が2.9%、「生駒北小学校区」が2.2%となっている。



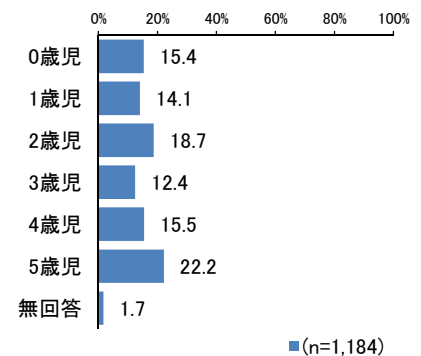
2. 子どもと家族の状況について

(1) 子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。元号を○で囲み、()内に数字をご記入ください。

図 子どもの年齢

子どもの年齢は、「5歳児」が22.2%で最も高く、次いで「2歳児」が18.7%、「4歳児」が15.5%、「0歳児」が15.4%、「1歳児」が14.1%、「3歳児」が12.4%となっている。



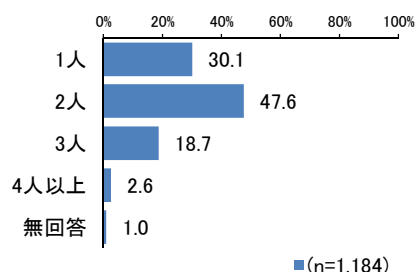
(2) きょうだいの人数と末子の年齢

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を（ ）内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月月をご記入ください。

■きょうだいの人数

きょうだいの人数は、「2人」が47.6%で最も高く、次いで「1人」が30.1%、「3人」が18.7%となっている。2人が5割近くを占めている。

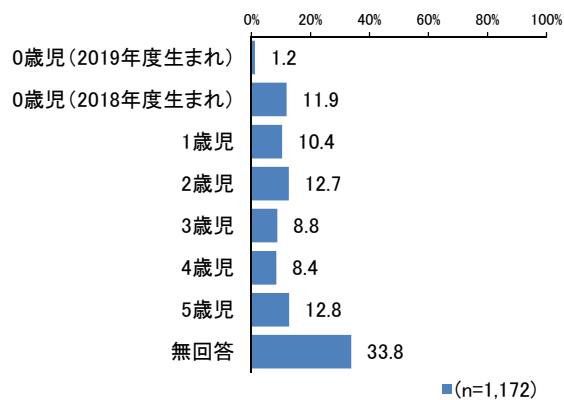
図 きょうだいの人数



■末子の年齢

2人以上の子どもがいる場合の末子の年齢は、「5歳児」が12.8%で最も高く、次いで「2歳児」が12.7%、「0歳児(2018年度生まれ)」が11.9%、「1歳児」が10.4%などとなっている。

図 末子の年齢

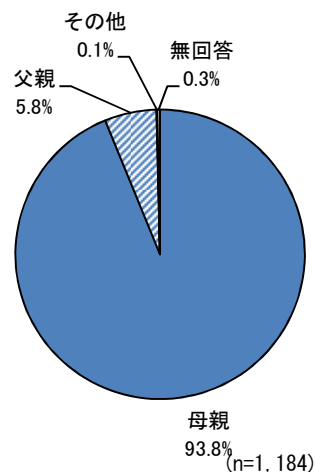


(3) 回答者の子どもとの関係

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

回答者の子どもとの関係は、「母親」が93.8%で最も高く、次いで「父親」が5.8%で、母親が9割以上となっている。

図 回答者の子どもとの関係

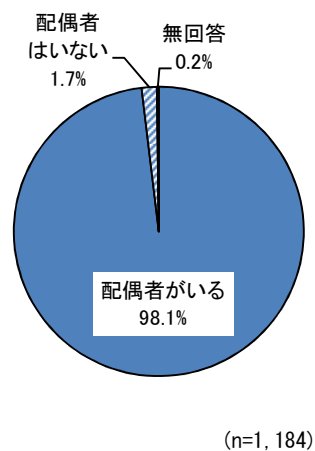


(4) 回答者の配偶者の有無

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶者についてお答えください。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

回答者の配偶者の有無をみると、「配偶者がいる」が98.1%、「配偶者はいない」が1.7%となっている。

図 回答者の配偶者の有無

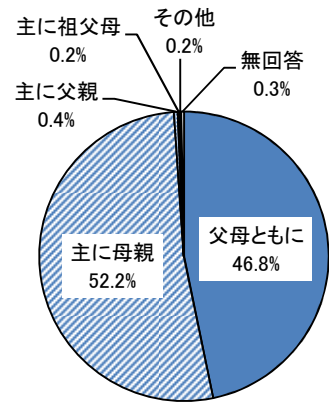


(5) 子どもの子育てを主に行っている人

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。
お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

子どもの子育てを主に行っている人は、「主に母親」が52.2%で最も高く、次いで「父母ともに」が46.8%、「主に父親」が0.4%、「主に祖父母」が0.2%となっている。

図 子どもの子育てを主に行っている人



(n=1,184)

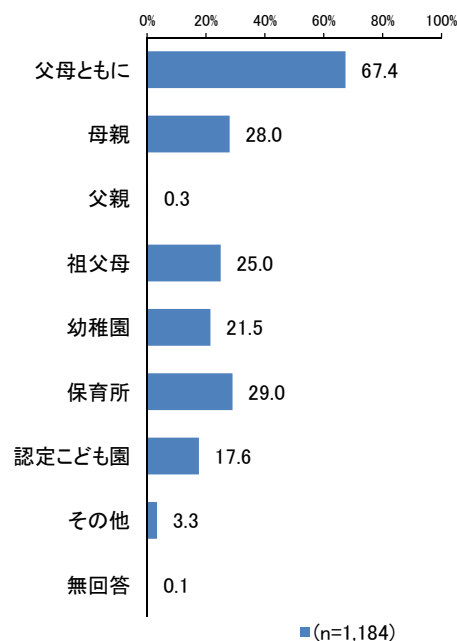
3. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子どもの子育てに日常的に関わっている人・施設

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

図 子どもの子育てに日常的に関わっている人・施設

子育てに日常的に関わっている人（施設）は、「父母ともに」が67.4%で最も高く、次いで「保育所」が29.0%、「母親」が28.0%、「祖父母」が25.0%、「幼稚園」が21.5%、「認定こども園」が17.6%となっている。

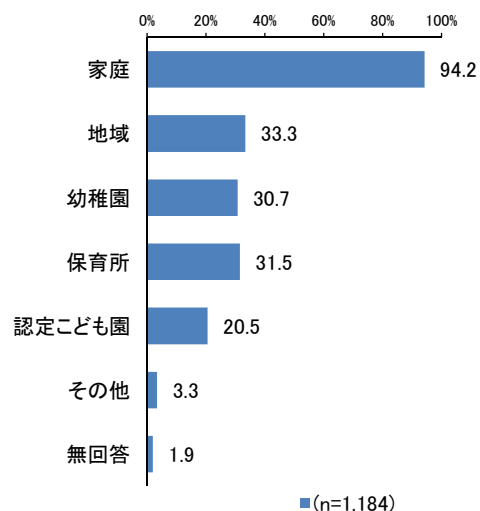


(2) 子どもの子育てにもっとも影響すると思われる環境

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

図 子どもの子育てにもっとも影響すると思われる環境

子どもの子育てに最も影響すると思われる環境をたずねると、「家庭」が94.2%で最も高く、次いで「地域」が33.3%、「保育所」が31.5%、「幼稚園」が30.7%となっている。

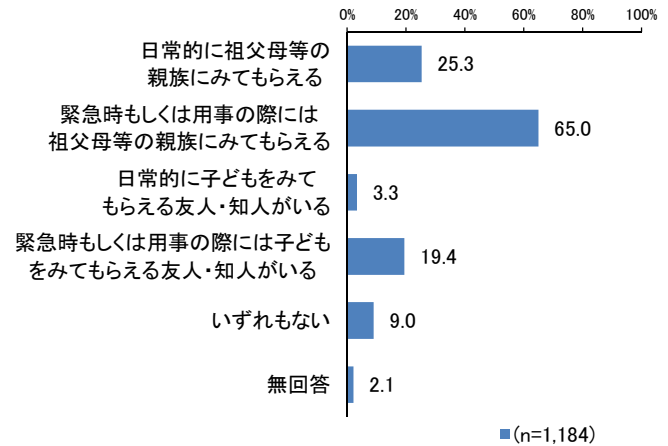


(3) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

図 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

子どもをみてもらえる親族・知人の有無をたずねると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が65.0%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が25.3%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が19.4%となっている。「いずれもない」は9.0%と1割弱となっている。

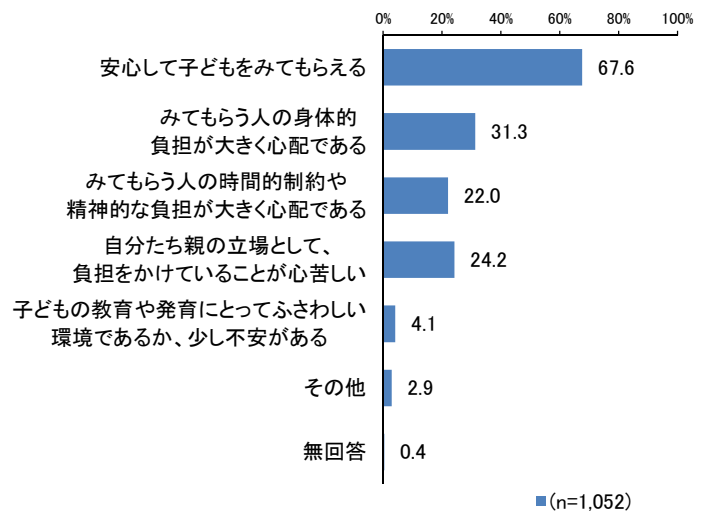


(4) 親族や友人・知人に子どもをみもらっている状況

問9-1 問9で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族や友人・知人に宛名のお子さんをみもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

図 親族や友人・知人に子どもをみもらっている状況

親族や友人・知人に子どもをみもらっている状況をたずねると、「安心して子どもをみてもらえる」が67.6%で最も高く、次いで「みてもらう人の身体的負担が大きく心配である」が31.3%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が24.2%、「みてもらう人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である」が22.0%となっている。



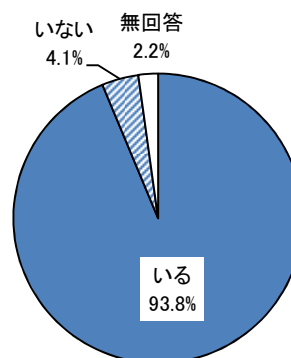
(5) 子どもの子育てについて気軽に相談できる人・場所の有無

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

図 子どもの子育てについて気軽に相談できる人の有無

■相談できる人

子どもの子育てについて気軽に相談できる人は、「いる」が93.8%、「いない」が4.1%となっている。

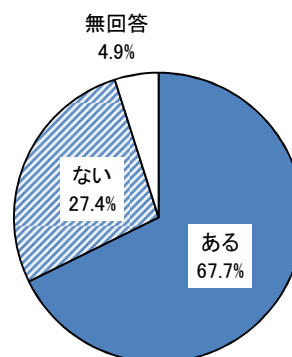


(n=1,184)

図 子どもの子育てについて気軽に相談できる場所の有無

■相談できる場所

子どもの子育てについて気軽に相談できる場所は、「ある」が67.7%、「ない」が27.4%となっており、3割近くは子育てを気軽に相談できる場所がないと答えている。



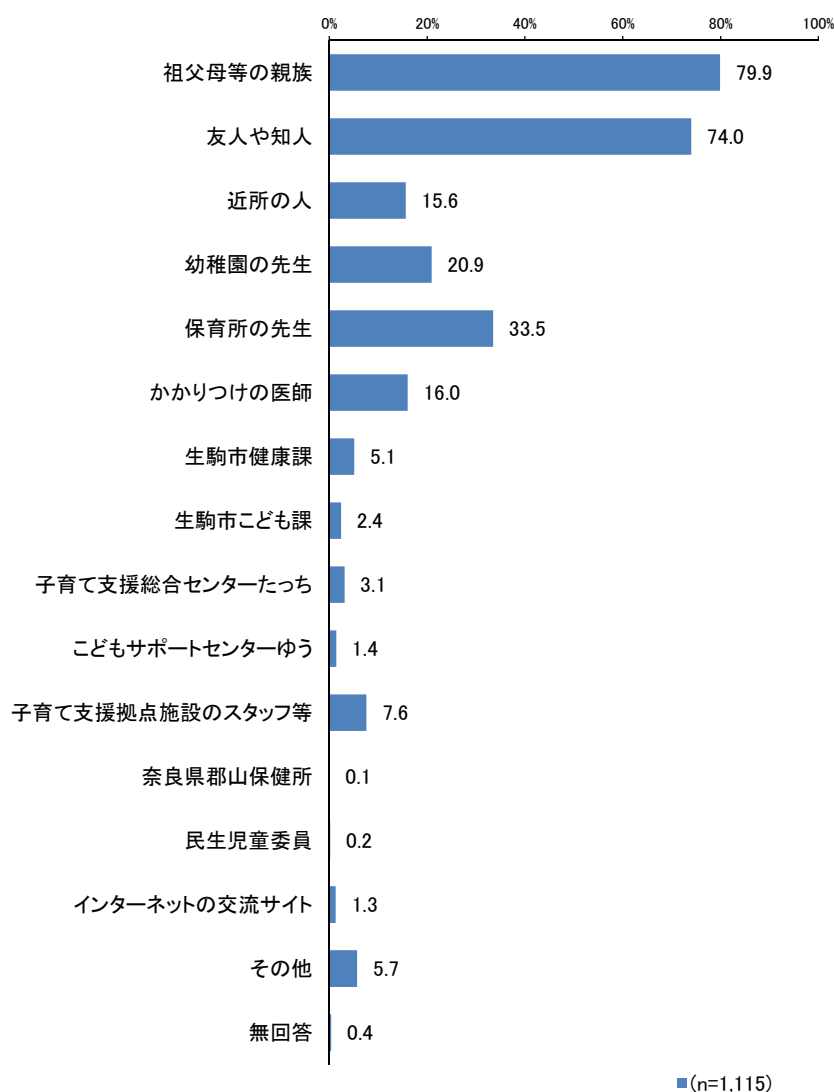
(n=1,184)

(6) 子どもの子育てについて気軽に相談できる人・場所

問10-1 問10で「相談できる人がいる」「相談できる場所がある」に○をつけた方にかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもの子育てについて気軽に相談できる人・場所は、「祖父母等の親族」が79.9%で最も高く、次いで「友人や知人」が74.0%、「保育所の先生」が33.5%、「幼稚園の先生」が20.9%、「かかりつけの医師」が16.0%、「近所の人」が15.6%となっている。公的機関の窓口などは1割に満たない。

図 子どもの子育てについて気軽に相談できる人・場所



※子育て支援拠点施設・・・生駒市内では、「みっきランド」「はばたきみっき」「おでかけみっき」「てくてく」「ほっとスマイル」「ちどりであそぼ」「集いの森」「うみのいえ」「COCOテラス」「會津生駒保育園」「會津壱分保育園」があります。

(7) 保護者の就労状況

問11 宛名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
 ①～⑧の項目ごとに当てはまる番号1つに○をつけてください。③④は（ ）内に数字でご記入ください。
 ※母子家庭・父子家庭の場合は、いずれかにお答えください。
 ※保護者が父母でない場合は、主にお子さんをみていらっしゃる方についてお答えください。

■就労の有無

母親の就労の有無は、「就労している（育休等を含む）」が58.5%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が37.2%、「就労したことがない」が1.5%、「学生（専門学校生・大学生・大学院生等）」が0.3%となっている。

父親の就労の有無は、「就労している（育休等を含む）」が96.6%、「学生（専門学校生・大学生・大学院生等）」と「以前は就労していたが、現在は就労していない」がともに0.2%となっている。

子どもの年齢別の母親の就労の有無は、1歳児と4歳児が6割を超えてやや高い。

図 保護者の就労の有無

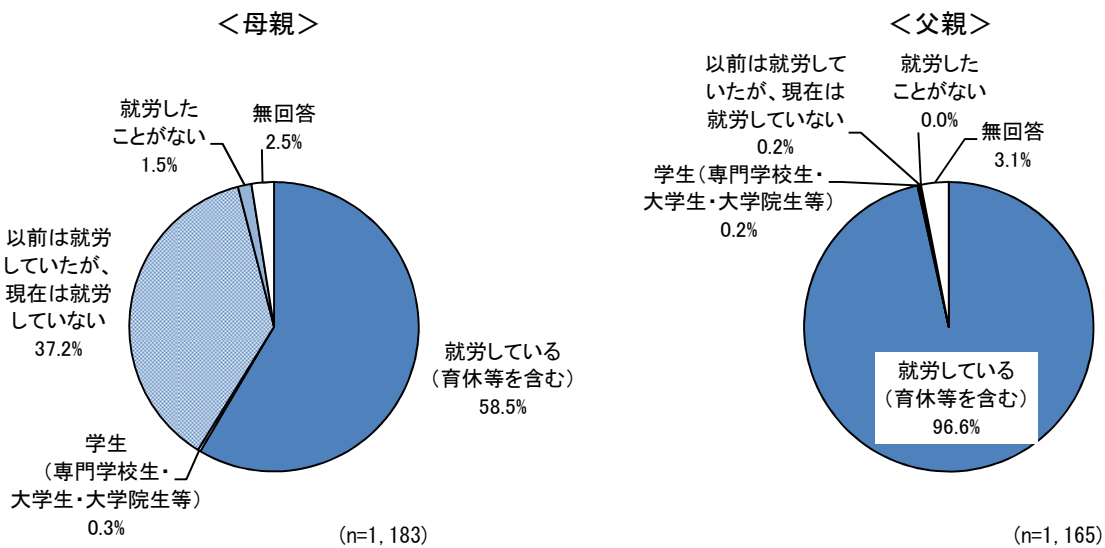
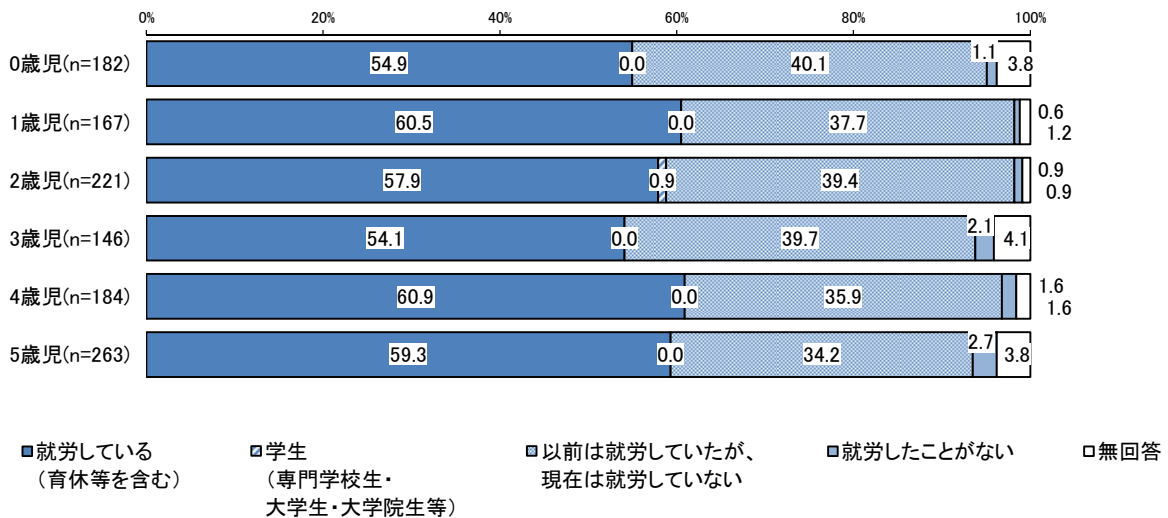


図 年齢別 母親の就労の有無

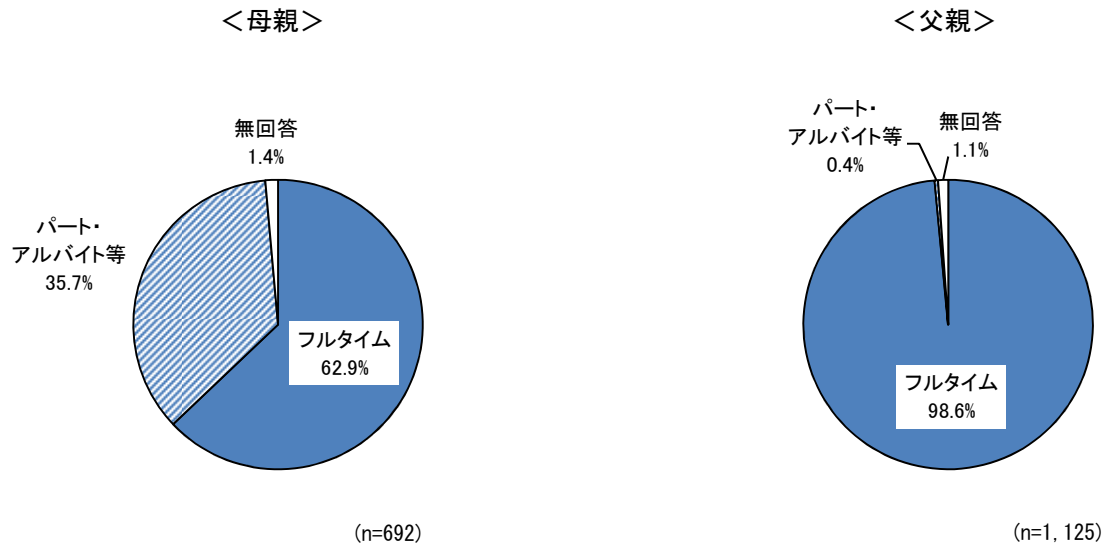


■就労形態

母親の就労形態は、「フルタイム」が 62.9%、「パート・アルバイト等」が 35.7%となっている。フルタイムが6割を超えている。

父親の就労形態は、「フルタイム」が 98.6%、「パート・アルバイト等」が 0.4%となっている。

図 保護者の就労形態

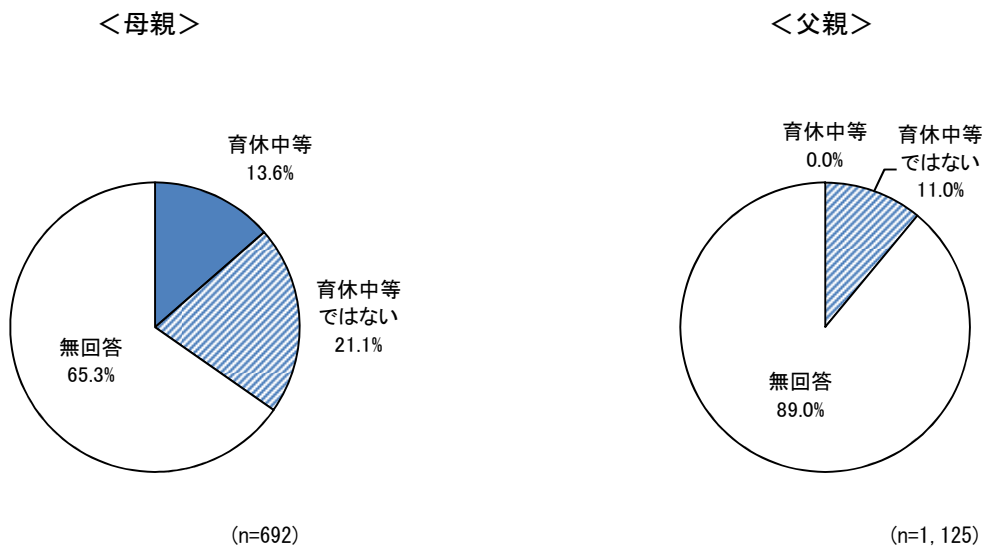


■就労形態／育休有無

母親の育休の有無は、「育休中等」が 13.6%、「育休中等ではない」が 21.1%となっている。

父親の育休の有無は、「育休中等」が 0.0%、「育休中等ではない」が 11.0%となっている。

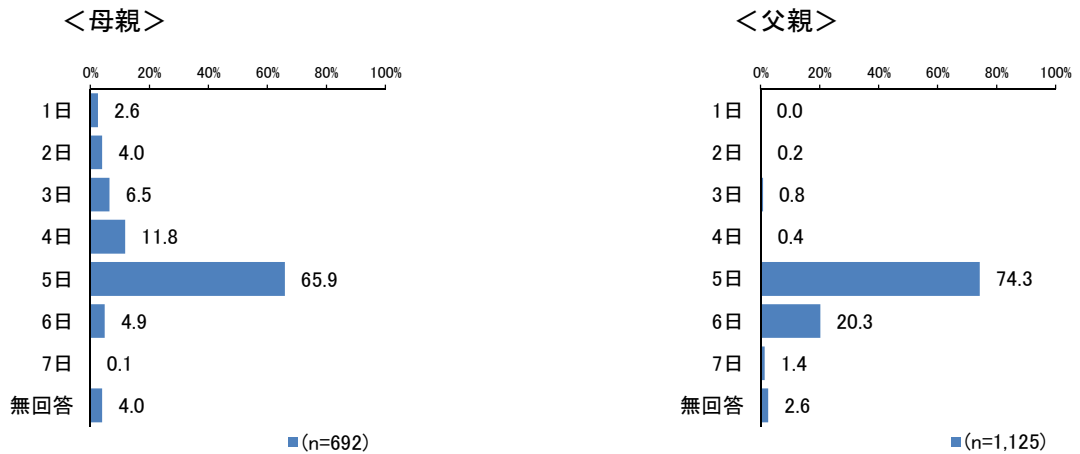
図 保護者の就労形態／育休有無



■ 1週間当たりの就労日数

母親の1週間の就労日数は、「5日」が65.9%で、「4日」が11.8%、「3日」が6.5%となっている。
 父親の1週間の就労日数は、「5日」が74.3%、「6日」が20.3%、「7日」が1.4%となっている。

図 保護者の1週間当たりの就労日数

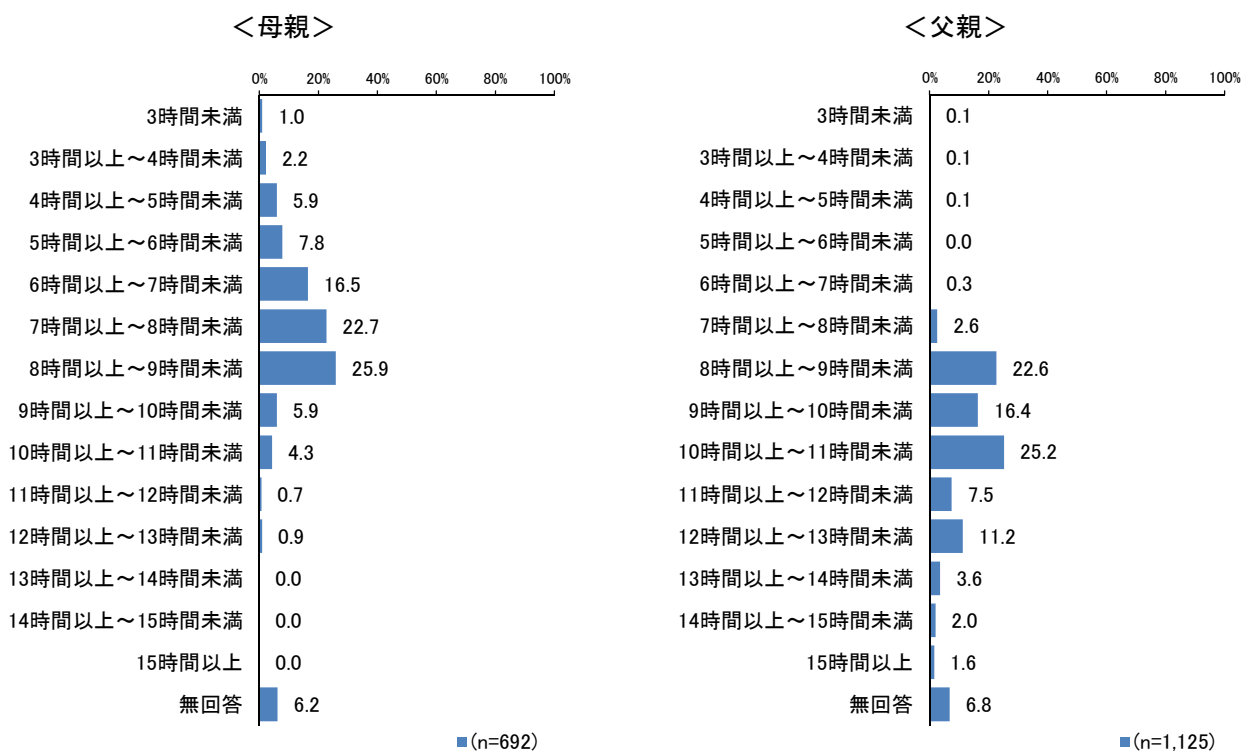


■ 1日当たりの残業時間を含む就労時間

母親の1日当たりの残業時間を含む就労時間は、「8時間以上～9時間未満」が25.9%で最も高く、次いで「7時間以上～8時間未満」が22.7%、「6時間以上～7時間未満」が16.5%、「5時間以上～6時間未満」が7.8%、「4時間以上～5時間未満」と「9時間以上～10時間未満」がともに5.9%、「10時間以上～11時間未満」が4.3%となっている。

父親の1日当たりの残業時間を含む就労時間は、「10時間以上～11時間未満」が25.2%で最も高く、次いで「8時間以上～9時間未満」が22.6%、「9時間以上～10時間未満」が16.4%、「12時間以上～13時間未満」が11.2%、「11時間以上～12時間未満」が7.5%、13時間以上が7.2%となっている。

図 保護者の1日当たりの残業時間を含む就労時間

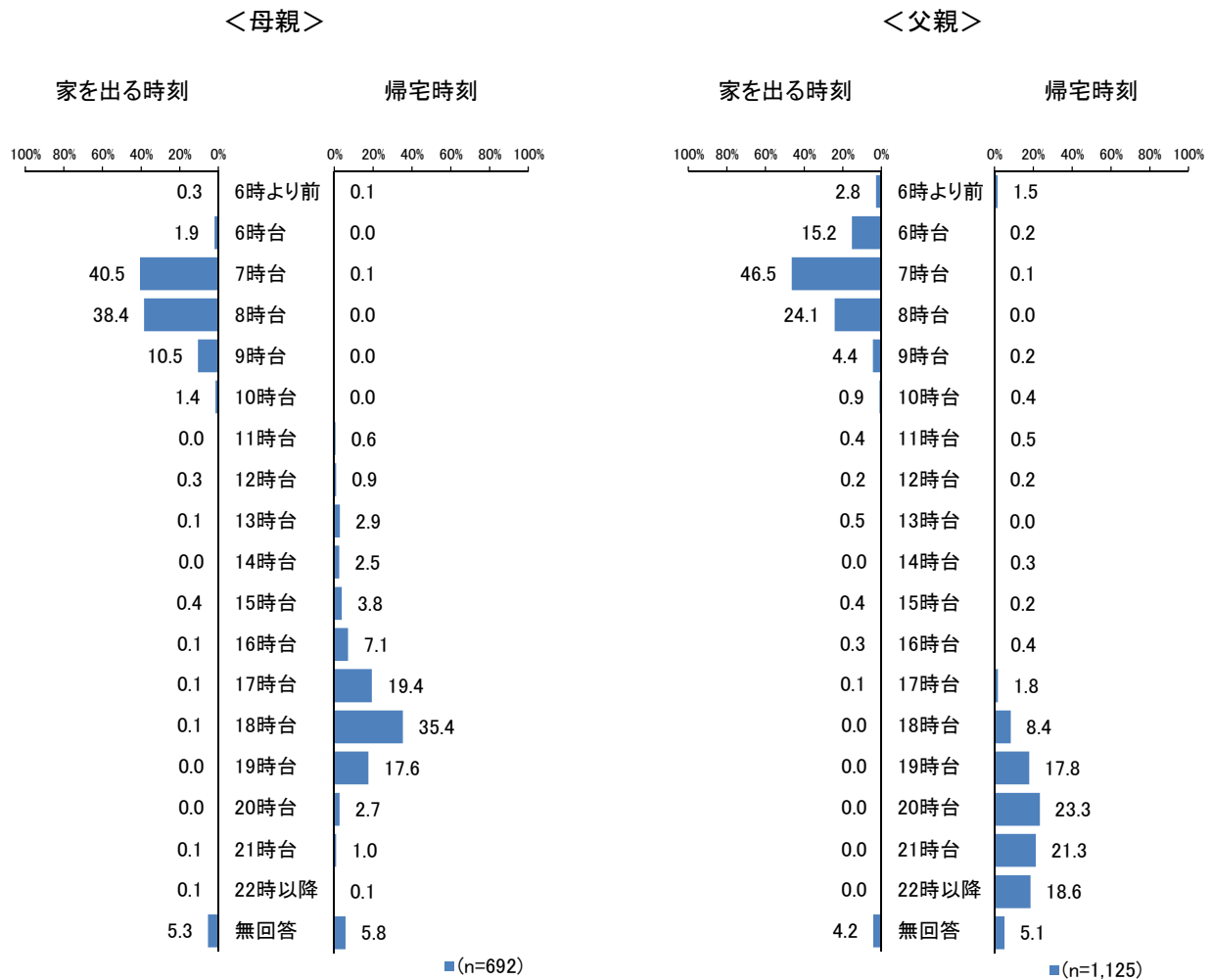


■就労時間帯

母親の家を出る時刻は、「7時台」が40.5%で最も高く、次いで「8時台」が38.4%、「9時台」が10.5%となっている。帰宅時刻は、「18時台」が35.4%で最も高く、次いで「17時台」が19.4%、「19時台」が17.6%、「16時台」が7.1%、20時以降が3.8%となっている。

父親の家を出る時刻は、「7時台」が46.5%で最も高く、次いで「8時台」が24.1%、「6時台」が15.2%、「9時台」が4.4%、「6時より前」が2.8%となっている。帰宅時刻は、「20時台」が23.3%で最も高く、次いで「21時台」が21.3%、「22時以降」が18.6%、「19時台」が17.8%となっている。

図 保護者の就労時間帯

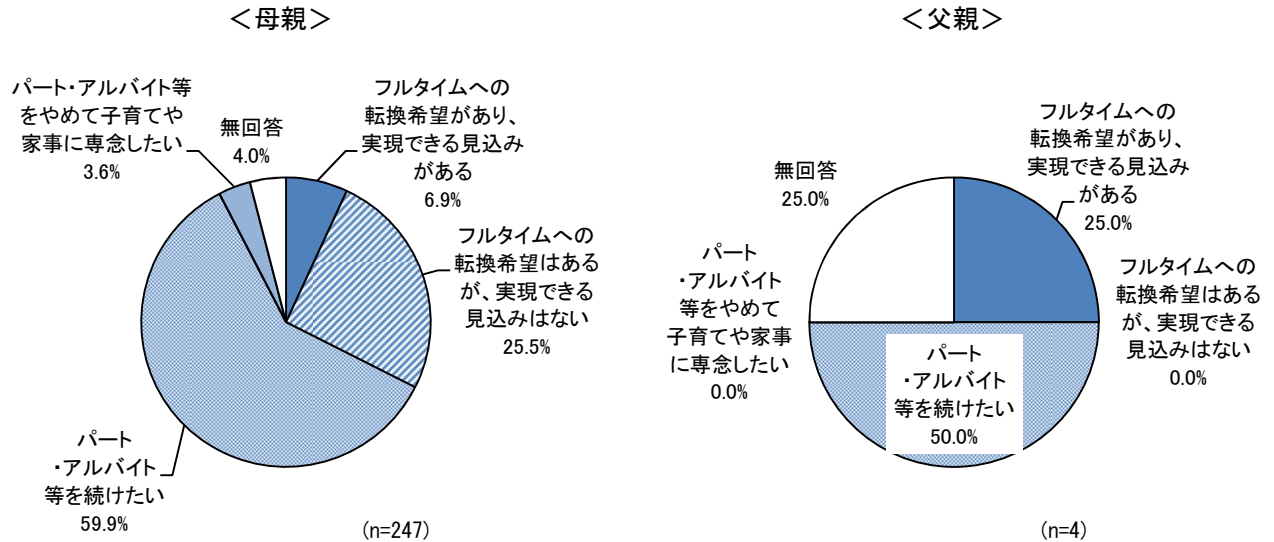


■パートタイムからの転換意向

パート・アルバイト等で就労している母親に転換意向をたずねると、「パート・アルバイト等を続けたい」が59.9%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が25.5%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が6.9%、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が3.6%となっている。

パート・アルバイト等で就労している父親に転換意向をたずねると、「パート・アルバイト等を続けたい」が50.0%（2人）、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が25.0%（1人）となっている。

図 パートタイムで働く保護者の転換意向

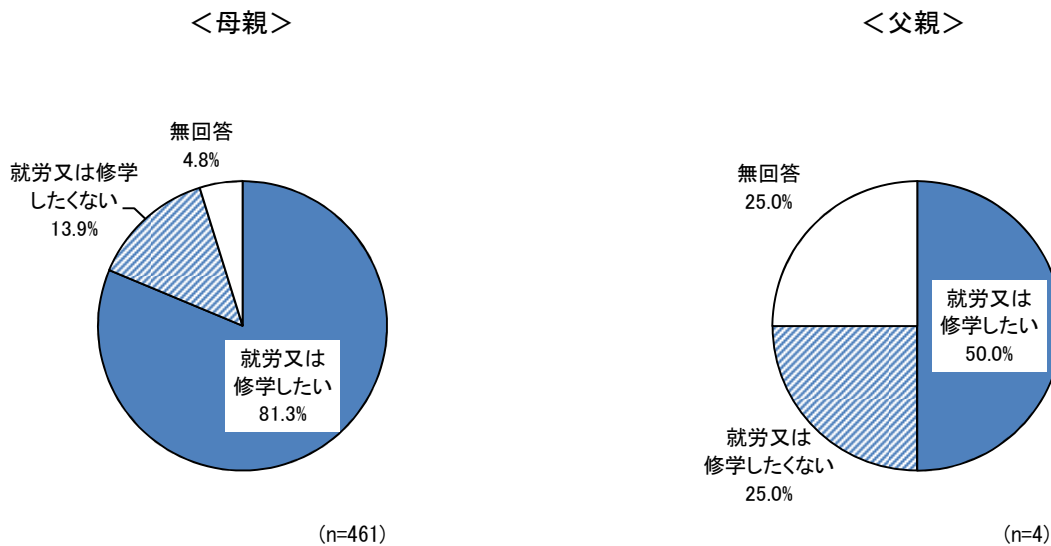


■就労（修学）意向

就労していない母親に就労（修学）意向をたずねると、「就労又は修学したい」が81.3%、「就労又は修学したくない」が13.9%となっている。

就労していない父親に就労（修学）意向をたずねると、「就労又は修学したい」が50.0%（2人）、「就労又は修学したくない」が25.0%（1人）となっている。

図 働いていない保護者の就労（修学）意向

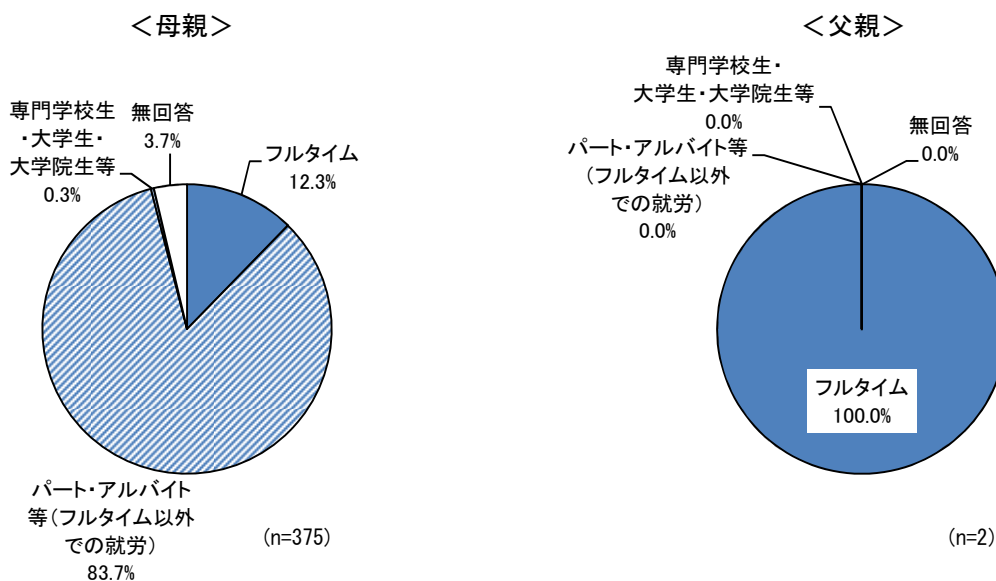


■希望の就労（修学）形態

就労（修学）意向のある母親の希望の就労（修学）形態は、「パート・アルバイト等（フルタイム以外での就労）」が83.7%と8割を超えており、「フルタイム」が12.3%、「専門学校生・大学生・大学院生等」が0.3%となっている。

就労（修学）意向のある父親の希望の就労（修学）形態は、「フルタイム」が100.0%（2人）である。

図 就労（修学）を希望する保護者が希望する就労（修学）形態

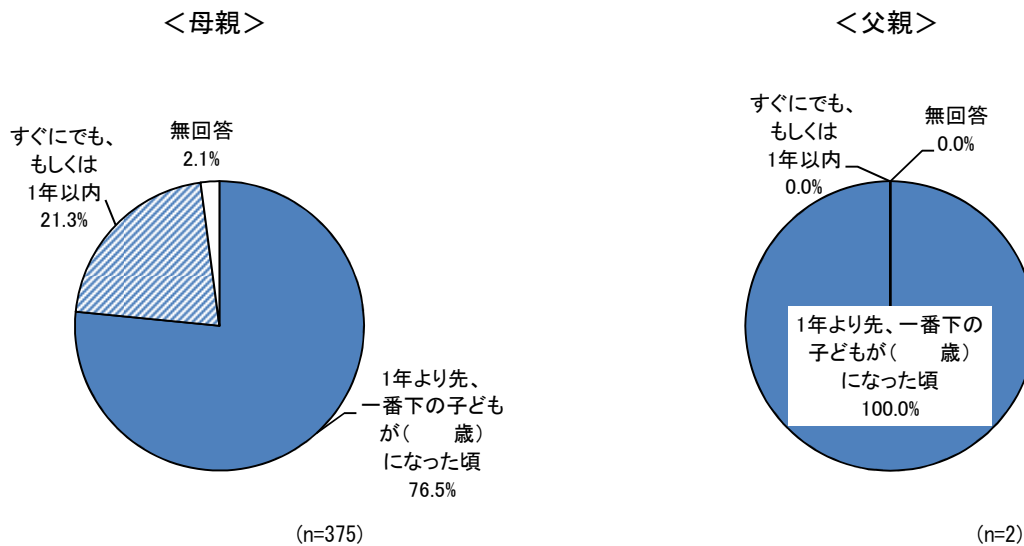


■希望の就労（修学）時期

就労又は修学希望のある母親の希望の就労（修学）時期は、「1年より先、一番下の子どもが（ 歳）になった頃」が76.5%となっている。

就労又は修学希望のある父親の希望の就労（修学）時期は、「1年より先、一番下の子どもが（ 歳）になった頃」が100.0%（2人）となっている。

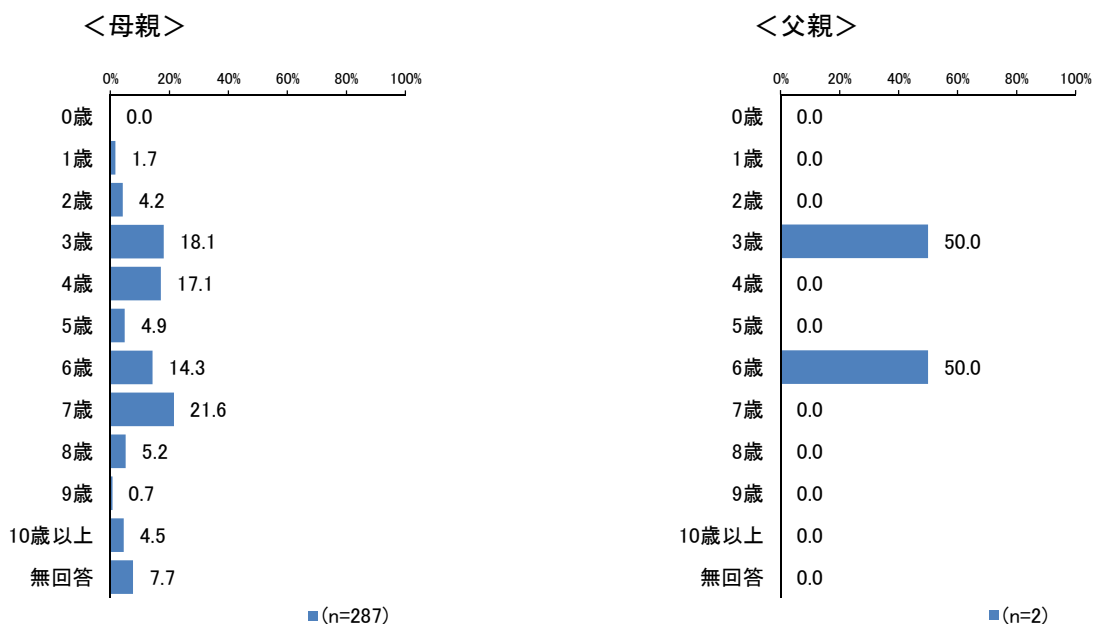
図 就労（修学）を希望する保護者が希望する就労（修学）時期



「1年より先、一番下の子どもが（ 歳）になった頃」と回答した母親の希望の時期をみると、「7歳」が21.6%で最も高く、次いで、「3歳」が18.1%、「4歳」が17.1%、「6歳」が14.3%、「8歳」が5.2%、「2歳」が4.2%と、（就労（就学）時期の末子の年齢は希望が分かれている。

父親の希望の時期は、「3歳」と「6歳」が50.0%（1人）ずつとなっている。

図 就労（修学）を希望する保護者が希望する就労（修学）時期の末子の年齢



4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用について

(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況

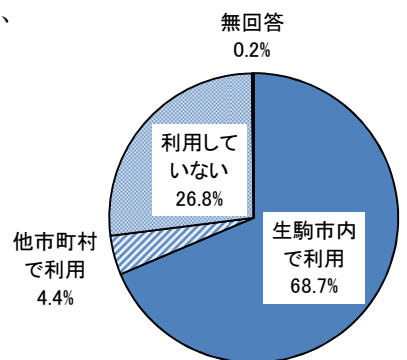
問12 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育事業を利用していますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

図 定期的な教育・保育事業の利用状況

定期的な教育・保育事業の利用状況をたずねたところ、「生駒市内で利用」が68.7%で最も高く、約7割が生駒市内の教育・保育事業を利用している。次いで「利用していない」が26.8%、「他市町村で利用」が4.4%となっている。

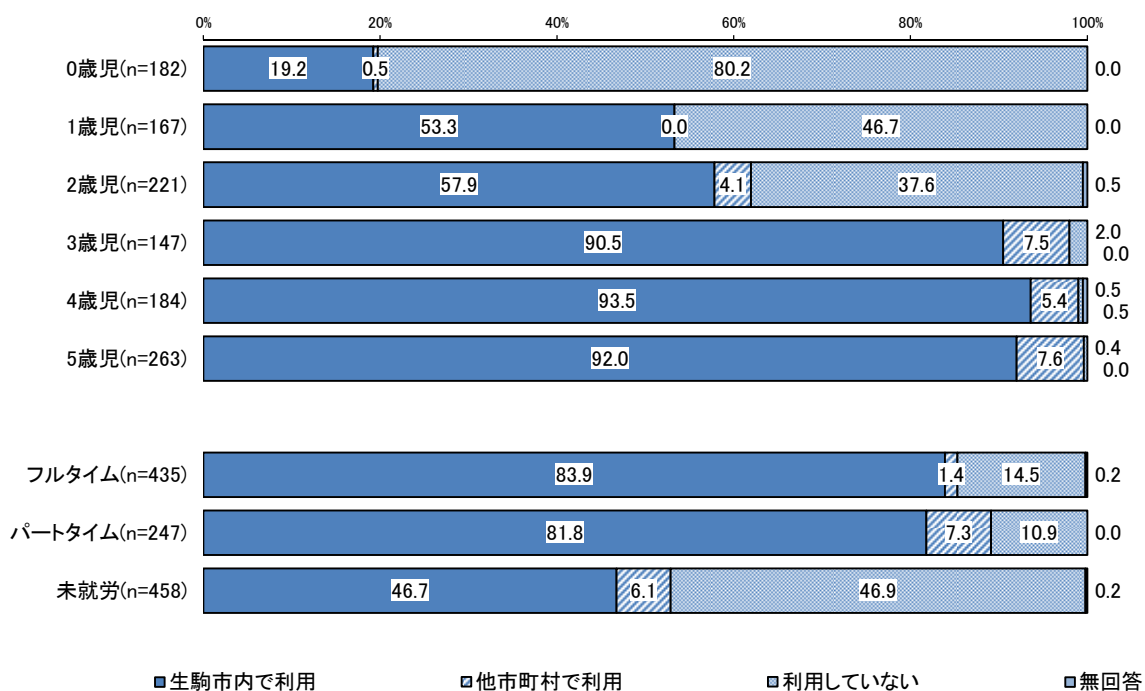
子どもの年齢別では、「生駒市内で利用」「他市町村で利用」を合わせると3歳以上はほとんどが利用している。2歳では62.0%、1歳では53.3%、0歳では19.7%（いずれも生駒市内と他市町村を合計）の利用となっている。

母親の就労状態別では、フルタイムとパートタイムで利用割合はほぼ同程度である。



(n=1,184)

図 年齢別、母親の就労状態別 定期的な教育・保育事業の利用状況



(2) 利用している定期的な教育・保育事業

問12-1 問12で「生駒市内で利用」又は「他市町村で利用」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんは、現在平日どのような教育・保育事業を利用していますか。
当てはまる番号すべての欄に○をつけてください。

図 利用している定期的な教育・保育事業

平日に利用している定期的な教育・保育事業は、「認可保育所」が34.9%で最も高く、次いで「幼稚園」が31.3%、「認定こども園」が26.8%、「幼稚園の預かり保育」が13.3%となっている。

子どもの年齢別では、2歳以下は「認可保育所」が約6割、「認定こども園」と併せて8割程度となっている。3歳以上は、「幼稚園」が4~5割弱で最も高く、3歳児、4歳児では「認定こども園」が3割台である。

母親の就労状態別では、フルタイムは「認可保育所」が56.9%で最も高く、パートタイムは「認可保育所」と「幼稚園」がいずれも3割台である。未就労では「幼稚園」が76.0%で最も高い。

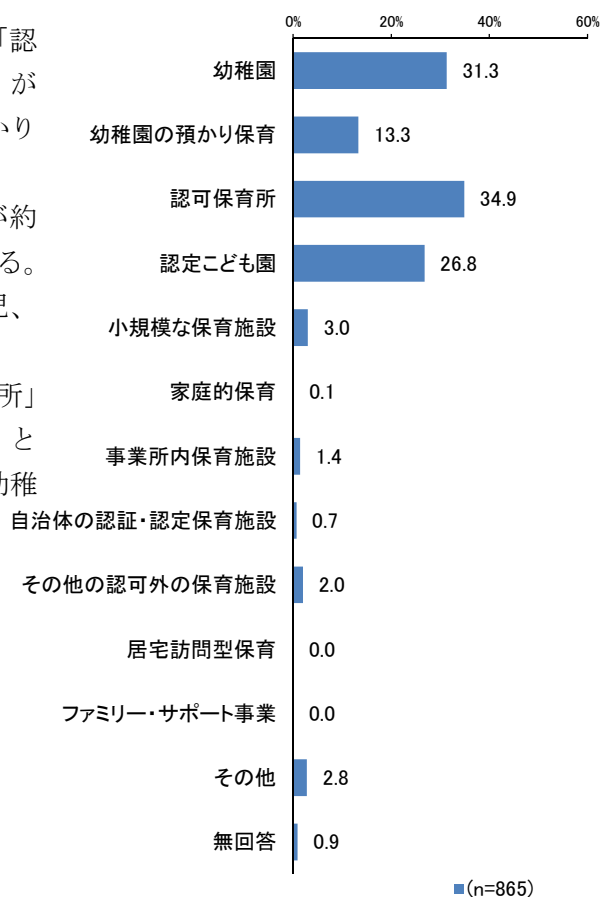


表 年齢別、母親の就労状態別 利用している定期的な教育・保育事業

	回答者数 (n)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート事業	その他	無回答
全体	865	31.3	13.3	34.9	26.8	3.0	0.1	1.4	0.7	2.0	-	-	2.8	0.9
0歳児	36	-	-	61.1	25.0	11.1	-	-	-	-	-	-	-	2.8
1歳児	89	-	-	60.7	21.3	12.4	-	2.2	-	3.4	-	-	4.5	1.1
2歳児	137	2.9	2.2	59.9	19.0	6.6	0.7	2.9	0.7	3.6	-	-	5.1	2.2
3歳児	144	41.7	9.7	22.9	33.3	-	-	-	-	0.7	-	-	2.1	0.7
4歳児	182	43.4	20.3	23.1	33.5	1.1	-	0.5	0.5	0.5	-	-	1.6	-
5歳児	262	47.7	22.5	24.4	24.0	-	-	1.9	1.1	2.3	-	-	2.7	0.8
フルタイム	371	3.5	2.7	56.9	34.2	3.0	-	1.3	0.8	1.6	-	-	-	1.1
パートタイム	220	30.0	19.1	32.3	26.4	5.0	-	2.7	0.5	4.1	-	-	1.8	1.4
未就労	242	76.0	26.0	3.3	15.3	1.7	0.4	0.4	0.8	0.4	-	-	7.4	0.4

(3) 定期的な教育・保育事業の利用日数・利用時間

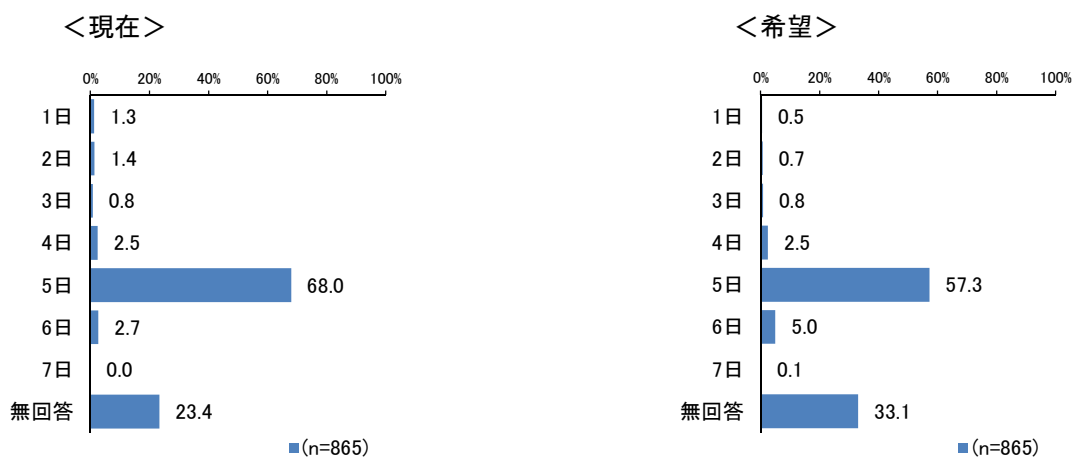
問12-2 問12で「生駒市内で利用」又は「他市町村で利用」に○をつけた方にかがいます。平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、()内に数字でご記入ください。時間は、例:18時のように24時間制でご記入ください。

■利用日数

平日に利用している定期的な教育・保育事業の1週当たりの日数は、「5日」が68.0%で約7割を占めており、他の日数は、「6日」が2.7%、「4日」が2.5%などで、いずれも3%以下である。

希望日数は、「5日」が57.3%で約6割となっており、「6日」が5.0%、「4日」が2.5%などとなっている。

図 定期的な教育・保育事業の利用日数



■ 利用時間

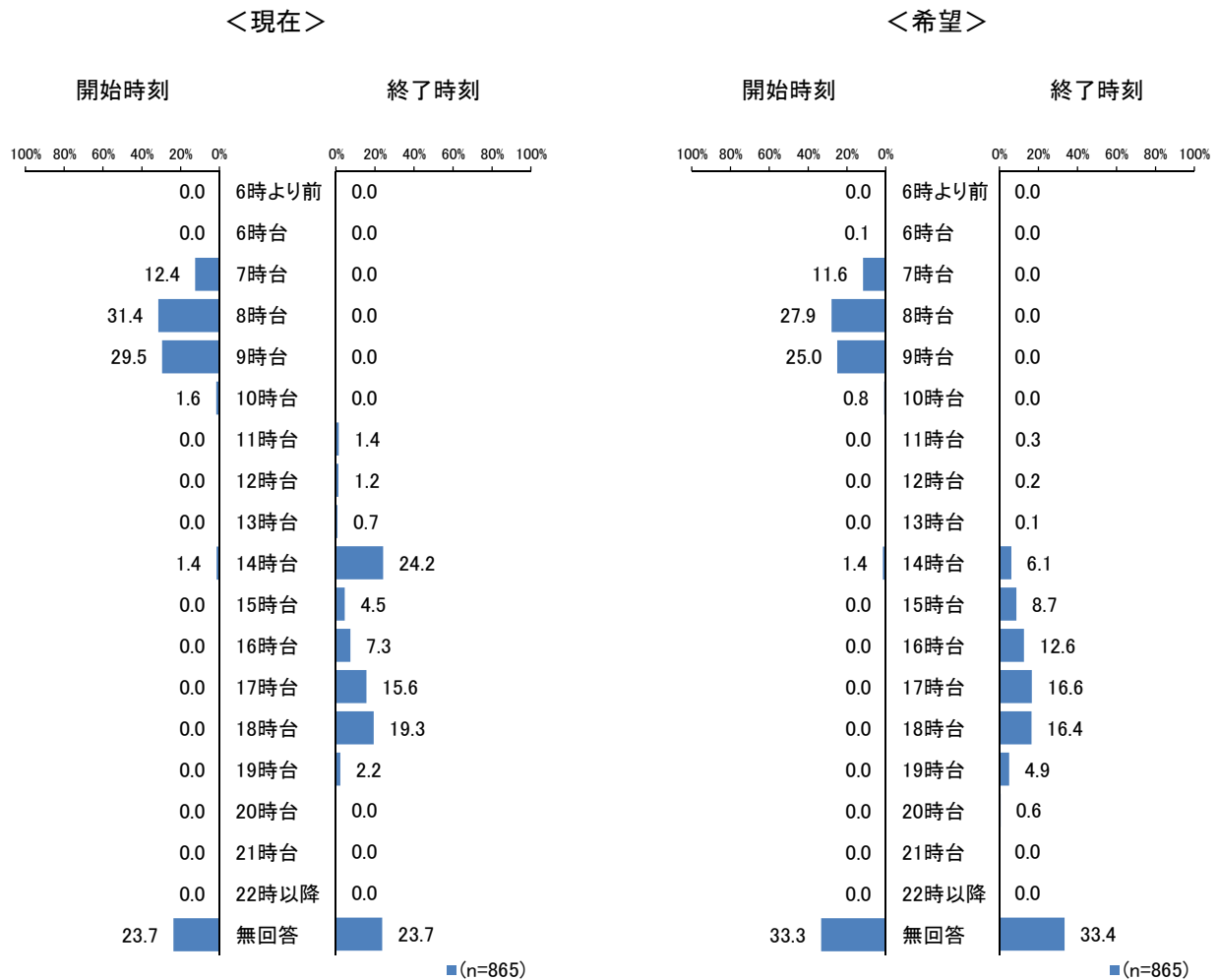
平日に利用している定期的な教育・保育事業の開始時刻は、「8 時台」が最も高く 31.4%、次いで「9 時台」が 29.5%、「7 時台」が 12.4%となっている。

終了時刻は、「14 時台」が最も高く 24.2%、次いで「18 時台」が 19.3%、「17 時台」が 15.6%となっている。

希望開始時刻は、「8 時台」が 27.9%で最も高く、次いで「9 時台」が 25.0%、「7 時台」が 11.6%となっている。

希望終了時刻は、「17 時台」が 16.6%で最も高く、次いで「18 時台」が 16.4%、「16 時台」が 12.6%、「15 時台」が 8.7%、「14 時台」が 6.1%、「19 時台」が 4.9%などとなっている。

図 定期的な教育・保育事業の利用時間

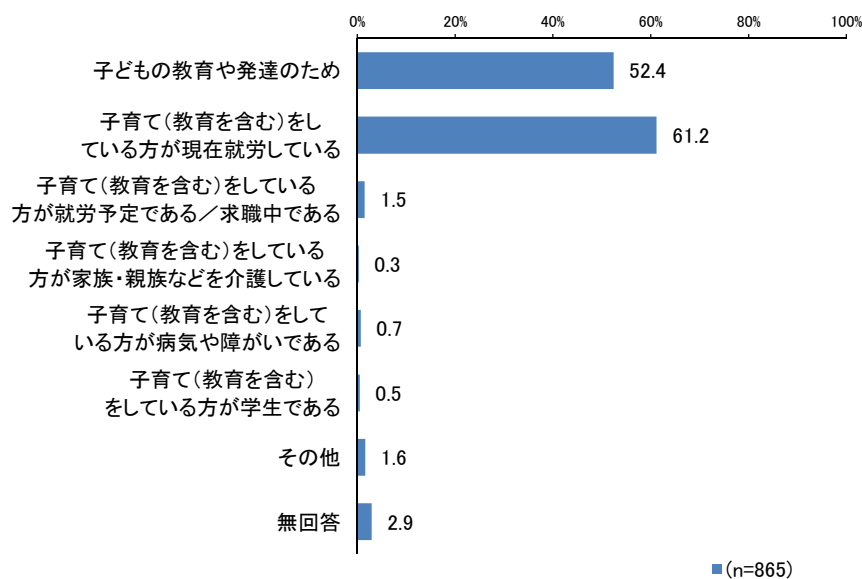


(4) 定期的な教育・保育事業を利用している理由

問12-3 問12で「生駒市内で利用」又は「他市町村で利用」に○をつけた方にうかがいます。平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由についてうかがいます。
主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日に定期的な教育・保育事業を利用している理由をみると、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が61.2%、「子どもの教育や発達のため」が52.4%となっており、この二つが大きな理由と推察される。

図 定期的な教育・保育事業を利用している理由



(5) 定期的な教育・保育事業を利用していない理由

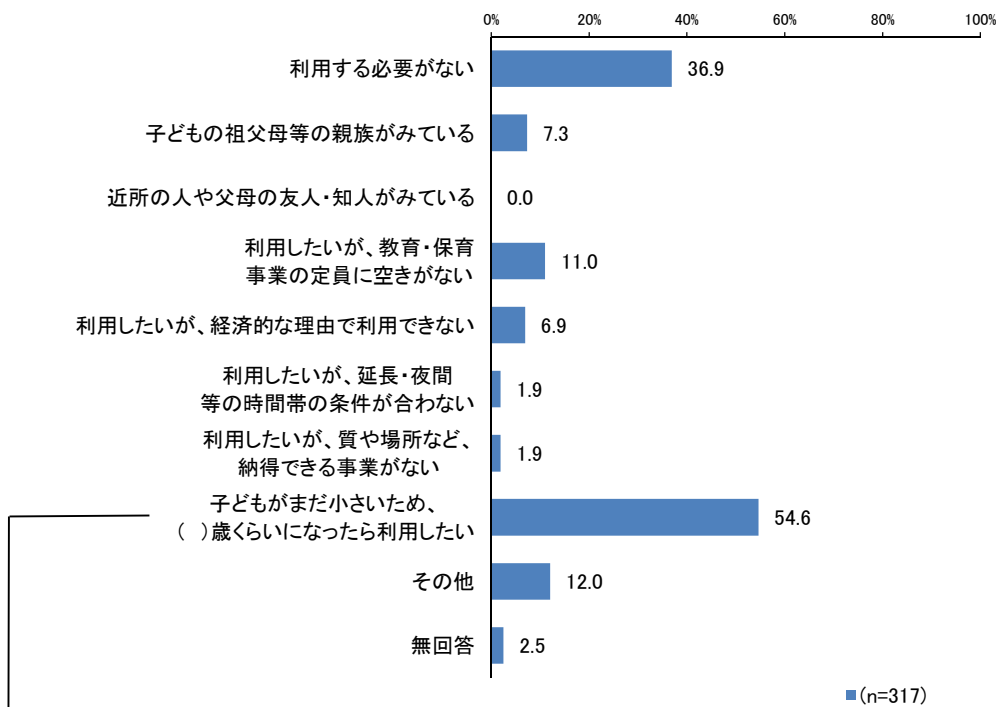
問12-4 問12で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

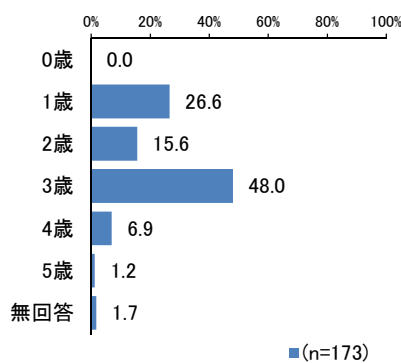
平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由をみると、「子どもがまだ小さいため、()歳くらいになったら利用したい」が54.6%で最も高く、次いで「利用する必要がない」が36.9%、「その他」が12.0%、「利用したいが、教育・保育事業の定員に空きがない」が11.0%、「子どもの祖父母等の親族がみている」が7.3%、「利用したいが、経済的な理由で利用できない」が6.9%となっている。

子どもが何歳くらいになったら利用したいかをみると、「3歳」が48.0%で最も高く、次いで「1歳」が26.6%、「2歳」が15.6%となっている。

図 定期的な教育・保育事業を利用していない理由



→ 図 定期的な教育・保育事業の利用を始めた年齢



(6) 定期的な教育・保育事業の利用意向

問13 すべての方にうかがいます。

現在、利用している利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

図 定期的な教育・保育事業の利用意向

平日の定期的な教育・保育事業の利用意向をみると、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が47.6%で最も高く、次いで「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」が46.3%、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）」が44.3%、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」が37.6%となっている。

子どもの年齢別では、0歳児と3歳児は「認定こども園」が最も高く、1歳児と2歳児は「認可保育所」が、4歳児、5歳児は「幼稚園」が最も高くなっている。

母親の就労状態別では、フルタイムは「認可保育所」、パートタイムは「認定こども園」、未就労は「幼稚園」がそれぞれ最も高くなっている。

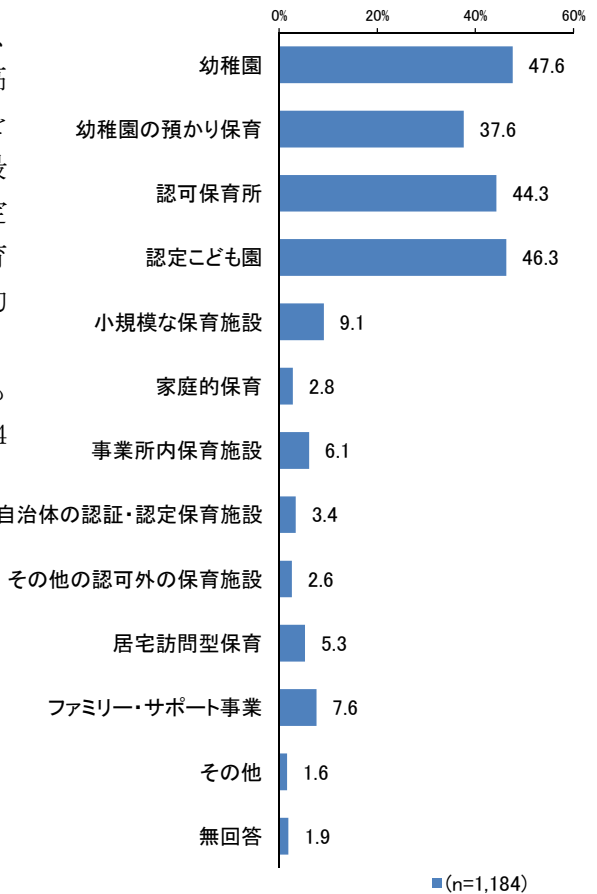


表 年齢別、母親の就労状態別 定期的な教育・保育事業の利用意向

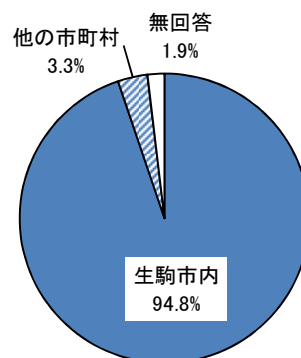
	回答者数 (n)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート事業	その他	無回答
全体	1,184	47.6	37.6	44.3	46.3	9.1	2.8	6.1	3.4	2.6	5.3	7.6	1.6	1.9
0歳児	182	52.2	41.2	62.6	65.4	19.2	4.4	9.9	5.5	2.7	6.6	11.5	1.1	1.6
1歳児	167	43.1	30.5	56.9	49.1	15.0	4.8	7.8	4.8	3.0	7.2	7.2	0.6	1.2
2歳児	221	44.3	32.1	49.3	43.0	10.4	1.8	7.7	3.2	3.2	6.8	10.4	2.7	3.6
3歳児	147	43.5	38.8	32.0	49.0	4.8	2.0	6.1	2.0	2.0	4.1	5.4	2.0	2.0
4歳児	184	47.8	41.3	32.6	45.7	1.1	2.7	3.8	1.6	1.1	4.3	6.0	0.5	1.1
5歳児	263	53.2	41.4	34.6	33.5	4.9	1.9	3.0	3.0	3.0	3.8	4.9	2.3	1.5
フルタイム	435	13.8	14.3	71.7	52.2	12.2	3.7	6.4	3.9	4.1	8.0	11.7	2.1	2.3
パートタイム	247	40.9	38.1	43.3	45.3	8.9	2.4	6.1	2.4	3.6	3.2	2.8	-	2.0
未就労	458	83.4	60.0	18.3	40.2	6.8	2.2	5.9	3.3	0.7	3.9	6.1	2.0	1.3

(7) 教育・保育事業を利用したい場所

問13-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

図 教育・保育事業を利用したい場所

教育・保育事業を利用したい場所をたずねると、「生駒市内」が94.8%、「他の市町村」が3.3%で、ほとんどが生駒市内での利用を希望している。



(n=1,184)

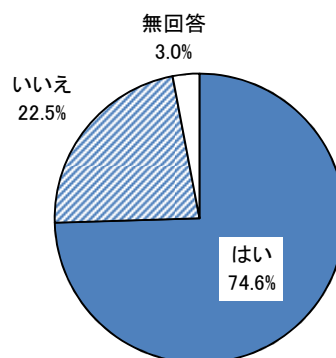
(8) 幼稚園の利用を強く希望するか

問13-2 問13で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ他のサービスにも○をつけた方にうかがいます。

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

図 幼稚園の利用を強く希望するか

幼稚園の利用を強く希望するかをたずねたところ、「はい」が74.6%、「いいえ」が22.5%となっている。



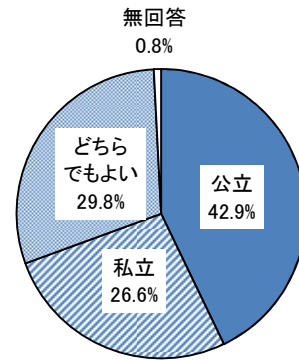
(n=338)

(9) 公立幼稚園・私立幼稚園の利用意向

問13-3 問13-2で「はい（幼稚園の利用を強く希望する）」に○をつけた方にうかがいます。
その幼稚園は、以下のうちどれに当てはまりますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

図 公立幼稚園・私立幼稚園の利用意向

公立幼稚園・私立幼稚園の利用意向をたずねると、「公立」が42.9%、「どちらでもよい」が29.8%、「私立」が26.6%となっている。



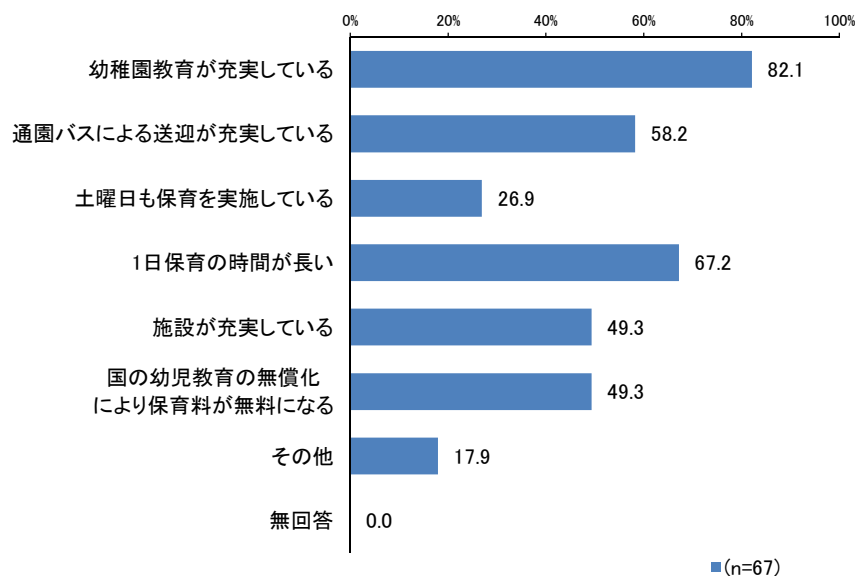
(n=252)

(10) 私立幼稚園の利用を希望する理由

問13-4 問13-3で「私立」に○をつけた方にうかがいます。
なぜそのように思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

私立幼稚園の利用を希望する理由をみると、「幼稚園教育が充実している」が82.1%で最も高く、次いで「1日保育の時間が長い」が67.2%、「通園バスによる送迎が充実している」が58.2%、「国の幼児教育の無償化により保育料が無料になる」と「施設が充実している」がともに49.3%、「土曜日も保育を実施している」が26.9%となっている。

図 私立幼稚園の利用を希望する理由



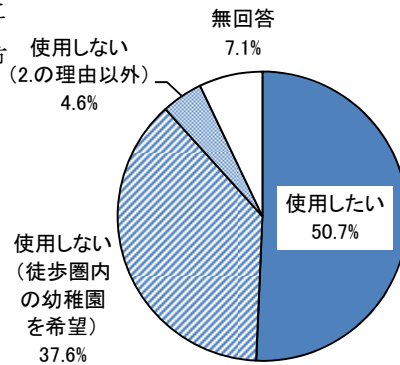
■(n=67)

(11) 幼稚園通園バスの利用意向

問13-5 問13で「幼稚園」に○をつけた方にうかがいます。幼稚園を利用する場合、通園バスを使用したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

図 幼稚園通園バスの利用意向

幼稚園通園バスの利用意向をたずねると、「使用したい」が50.7%で、「使用しない（徒歩圏内の幼稚園を希望）」が37.6%となっている。



(n=564)

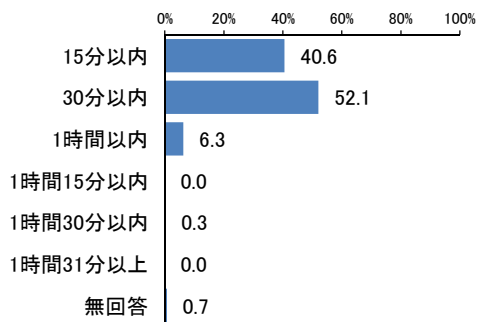
(12) 幼稚園通園バスの希望する乗車時間・集合時刻

問13-6 問13-5で「(通園バスを) 使用したい」に○をつけた方にうかがいます。通園バスを使用する場合、どれぐらいの乗車時間以内であれば使用されますか。また、バス停への集合時刻は最も早い時刻で何時以降を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

幼稚園通園バスの希望する乗車時間は、「30分以内」が52.1%で最も高く、次いで「15分以内」が40.6%、「1時間以内」が6.3%となっている。

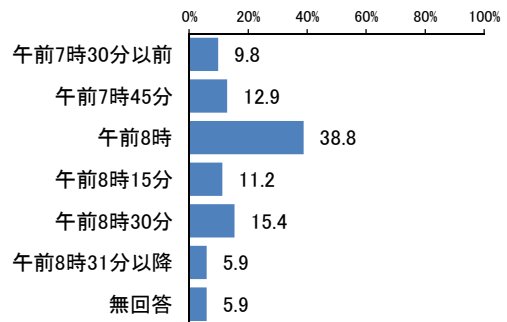
幼稚園通園バスの希望する集合時刻は、「午前8時」が38.8%で最も高く、次いで「午前8時30分」が15.4%、「午前7時45分」が12.9%、「午前8時15分」が11.2%、「午前7時30分以前」が9.8%、「午前8時31分以降」が5.9%となっている。

図 幼稚園通園バスの希望する乗車時間



■(n=286)

図 幼稚園通園バスの希望する集合時刻



■(n=286)

(13) 幼児教育・保育の無償化による保護者の就労状態への影響

問14 幼児教育・保育の無償化が実施された場合に、宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況は変わりますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。※母子家庭・父子家庭の場合は、いずれかにお答えください。※保護者が父母でない場合は、主にお子さんをみていらっしゃる方についてお答えください。

幼児教育・保育の無償化による母親の就労状態への影響をたずねると、「変わらない」が86.3%と高く、8割を超えている。「就労していなかったが、就労を開始する」は8.1%で、他の項目は2%以下と低くなっている。

父親については、「変わらない」が94.5%でほとんどが変わらないと答えている。

子どもの年齢別では、年齢が低くなるほど「就労していなかったが、就労を開始する」の割合が高くなる傾向である。母親が未就労の人は約2割が「就労していなかったが、就労を開始する」と回答している。

図 幼児教育・保育の無償化による保護者の就労状態への影響

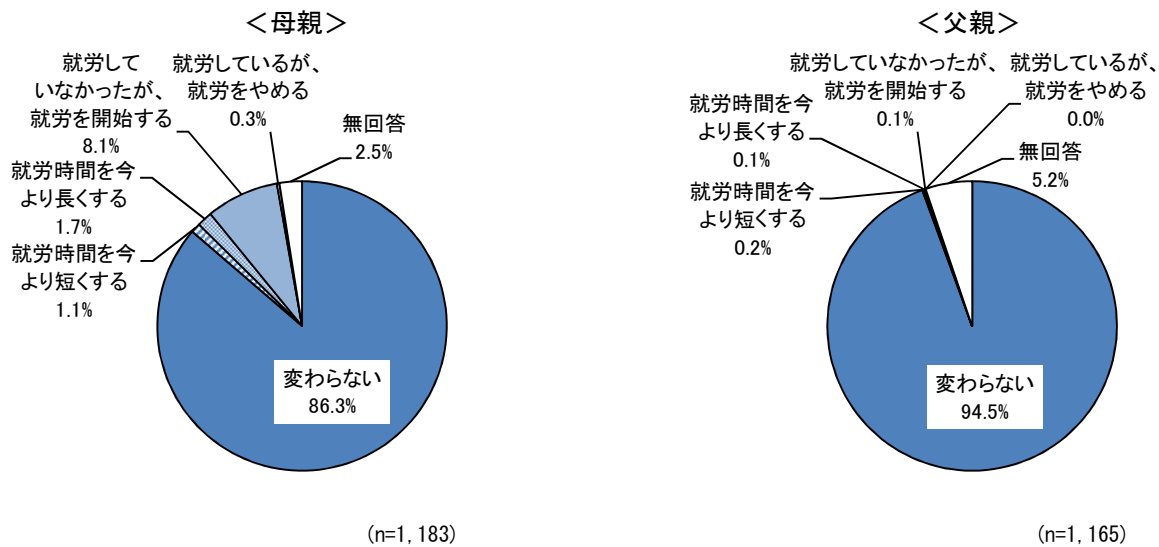
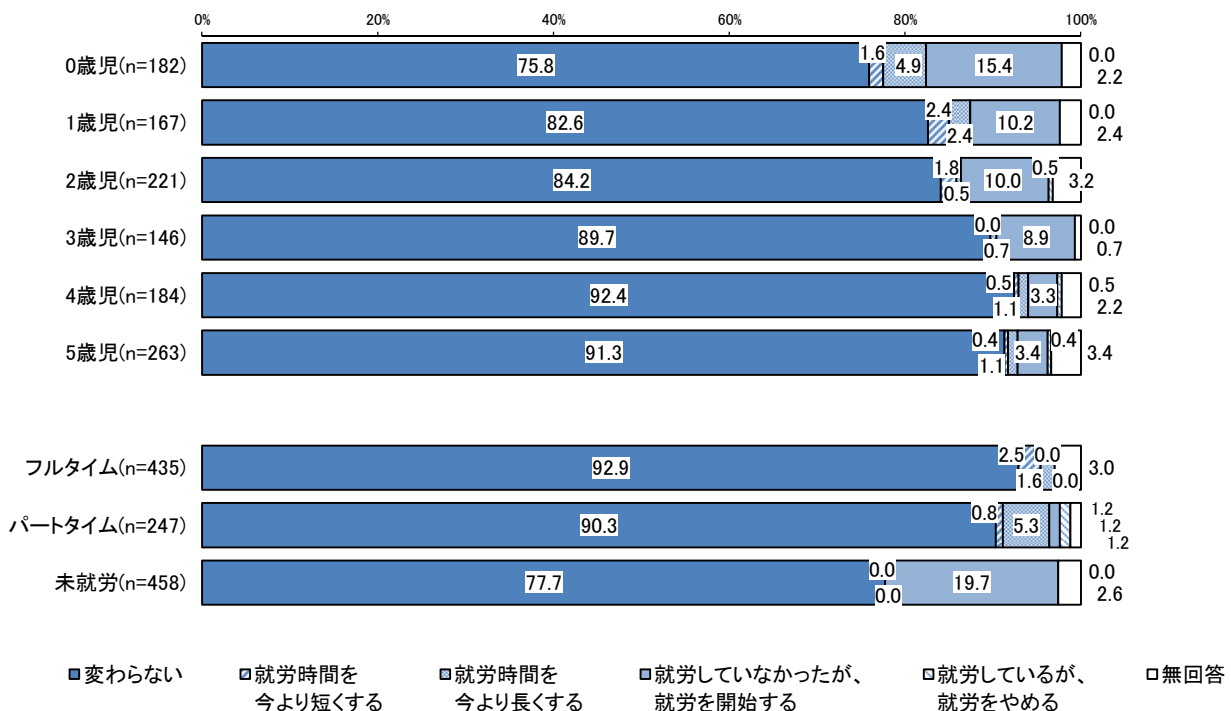


図 年齢別、母親の就労状態別 幼児教育・保育の無償化による母親の就労状態への影響



5. 土曜日、日曜日・祝日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

(1) 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向

問15 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます) 当てはまる番号1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。時間は、例：18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

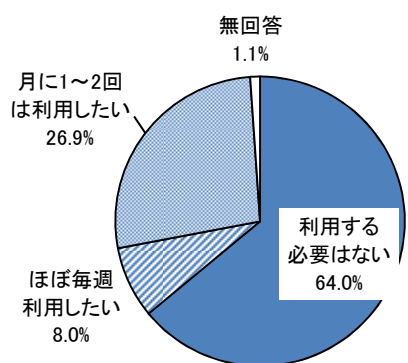
■利用意向

土曜日の利用意向は、「利用する必要はない」が64.0%、「月に1～2回は利用したい」が26.9%、「ほぼ毎週利用したい」が8.0%となっている。

日曜日・祝日の利用意向は、「利用する必要はない」が83.4%、「月に1～2回は利用したい」が13.3%、「ほぼ毎週利用したい」が1.9%となっている。

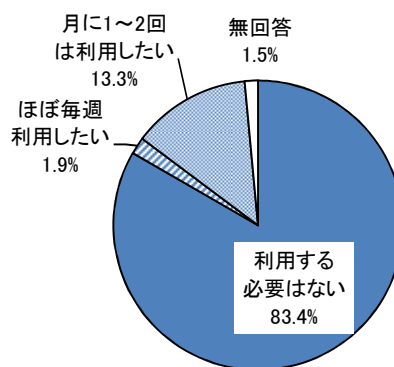
図 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向

<土曜日>



(n=1,184)

<日曜日・祝日>



(n=1,184)

■利用希望時間帯

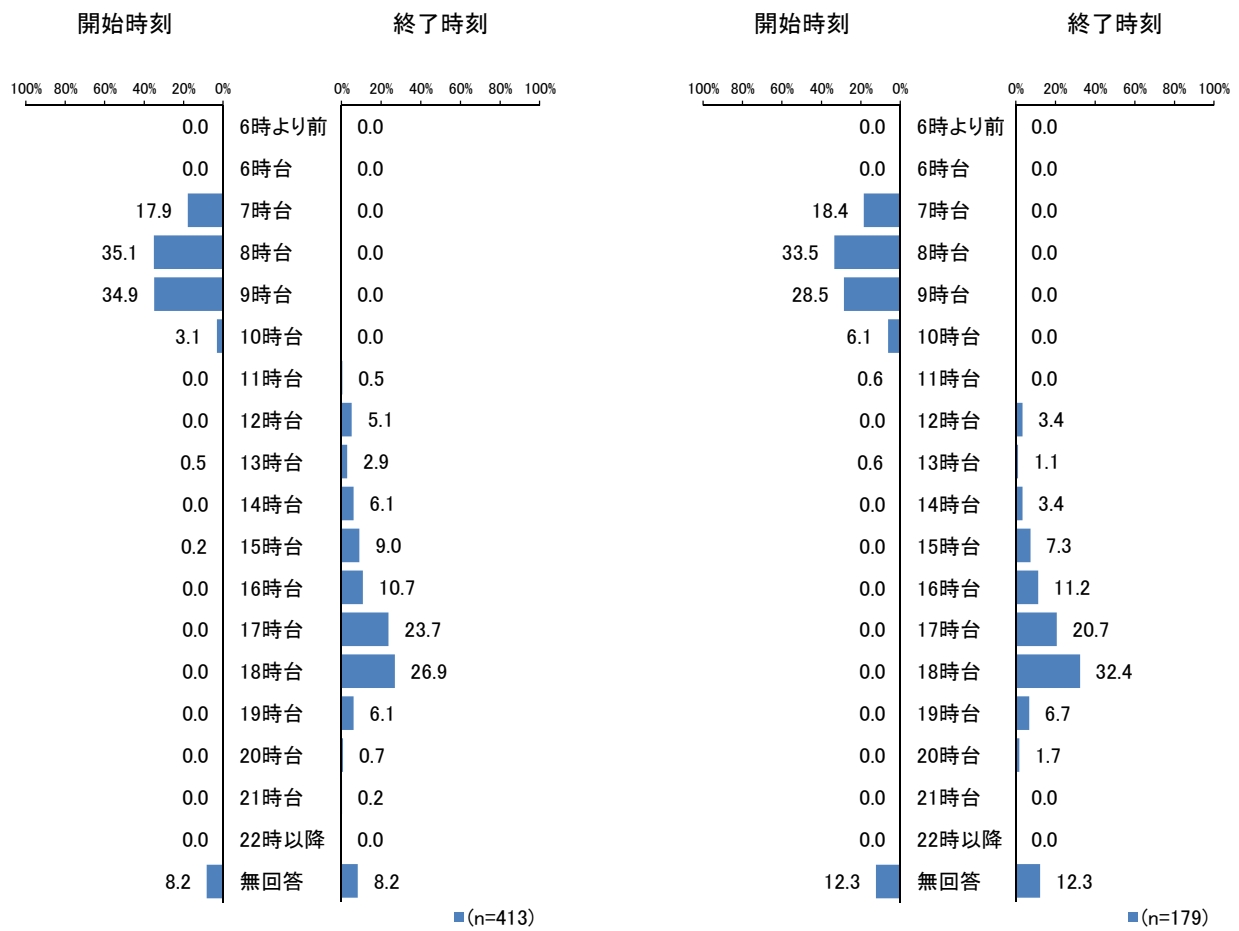
土曜日の利用希望開始時刻は、「8 時台」が 35.1%、「9 時台」が 34.9%、「7 時台」が 17.9%となっている。

利用希望終了時刻は、「18 時台」が 26.9%、「17 時台」が 23.7%、「16 時台」が 10.7%、「15 時台」が 9.0%、「14 時台」と「19 時台」がともに 6.1%、「12 時台」が 5.1%などとなっている。

日曜日の利用希望開始時刻は、「8 時台」が 33.5%、「9 時台」が 28.5%、「7 時台」が 18.4%となっている。

利用希望終了時刻は、「18 時台」が 32.4%、「17 時台」が 20.7%、「16 時台」が 11.2%、「15 時台」が 7.3%、「19 時台」が 6.7%などとなっている。

図 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望時間帯
 <土曜日> <日曜日・祝日>

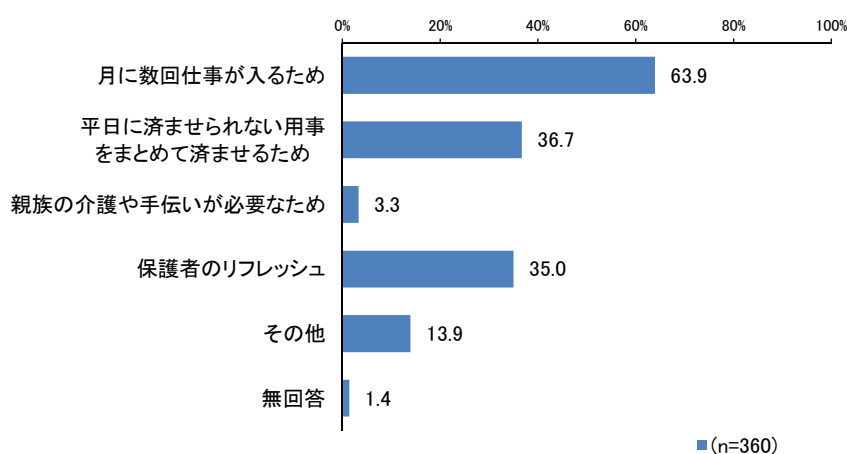


(2) 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由

問15-1 問15の土曜日もしくは日曜日・祝日で、「月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が63.9%で最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が36.7%、「保護者のリフレッシュ」が35.0%となっている。

図 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由



(3) 幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用意向

問16 幼稚園を利用されている方にうかがいます。
宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇中の教育・保育事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。時間は、例：18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

図 幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用意向

幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用意向をたずねたところ、「休みの期間中、週に数日利用したい」が54.0%で最も高く、次いで「利用する必要はない」が32.4%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が11.2%となっている。

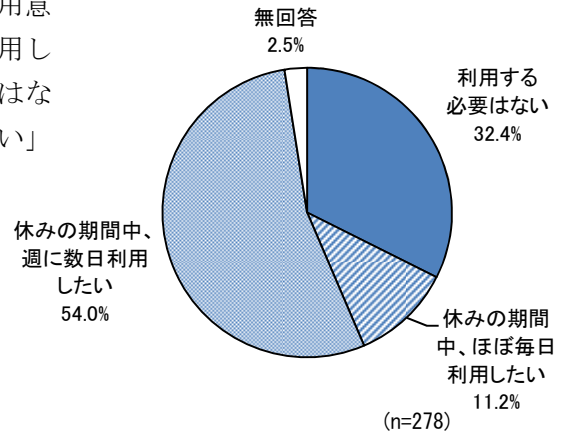
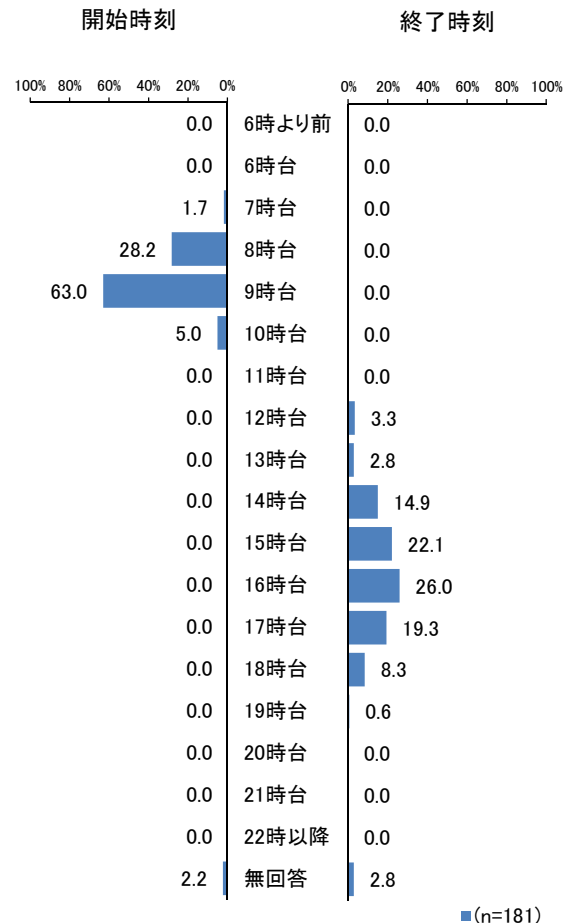


図 幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用希望時間帯

利用したい時間帯の開始時刻は、「9時台」が63.0%で最も高く、次いで「8時台」が28.2%となっている。
利用したい時間帯の終了時刻は、「16時台」が26.0%で最も高く、次いで「15時台」が22.1%、「17時台」が19.3%、「14時台」が14.9%となっている。

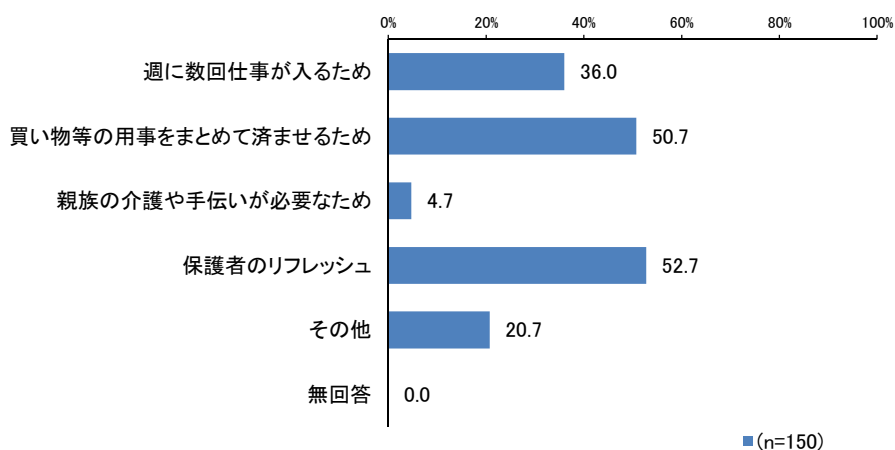


(4) 長期休暇中の教育・保育事業をたまに利用したい理由

問16-1 問16で「休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

長期休暇中の教育・保育事業をたまに利用したい理由は、「保護者のリフレッシュ」が52.7%で最も高く、僅差で「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が50.7%、「週に数回仕事が入るため」が36.0%となっている。

図 長期休暇中の教育・保育事業をたまに利用したい理由



6. 病気の際の対応について

(1) 病気やけがで教育・保育事業を利用できなかった経験

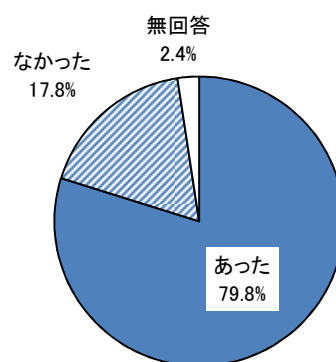
問17 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方（問12で「生駒市内で利用」又は「他市町村で利用」に○をつけた方）にうかがいます。利用していない方は、問18にお進みください。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

図 病気やけがで教育・保育事業を利用できなかった経験

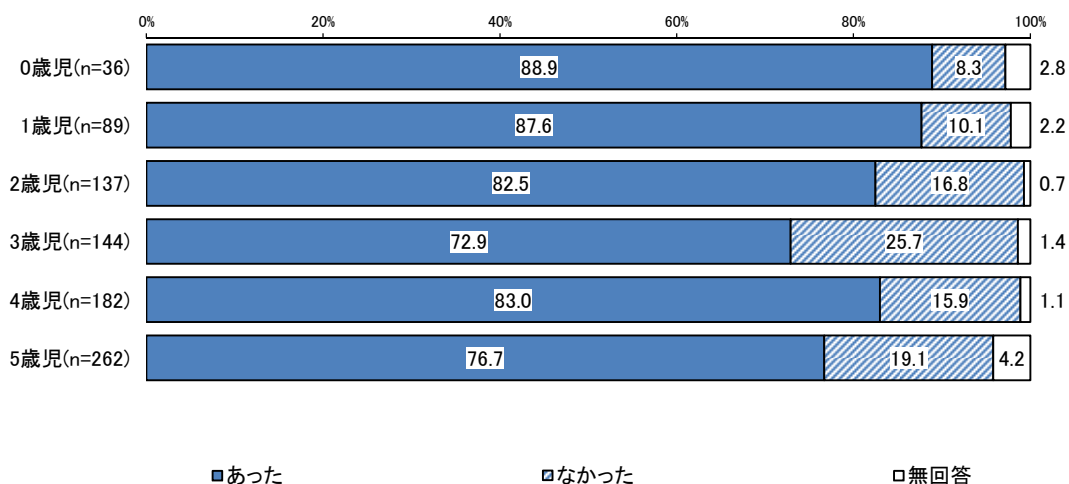
子どもが病気やけがで教育・保育事業を利用できなかった経験の有無をたずねると、「あった」が79.8%、「なかった」が17.8%となっている。

子どもの年齢別では、2歳以下と4歳児では「あった」が8割を超えている。



(n=865)

図 年齢別 病気やけがで教育・保育事業を利用できなかった経験



(2) 病気やけがで教育・保育事業を利用できなかった時の対応

問17-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。

病気やけがで教育・保育事業を利用できなかった時の対応をみると、「休みをとった」が72.2%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が36.1%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が32.8%、「病児・病後児のための保育施設等を利用した」が4.2%となっている。

「休みをとった」の内訳は、「父親がとった」が41.8%、「母親がとった」が96.6%となっている。対処方法別の対応日数では、父親が休みをとった場合に比べて母親が休みをとった場合の方が対応日数が多い傾向である。

図 病気やけがで教育・保育事業を利用できなかった時の対応

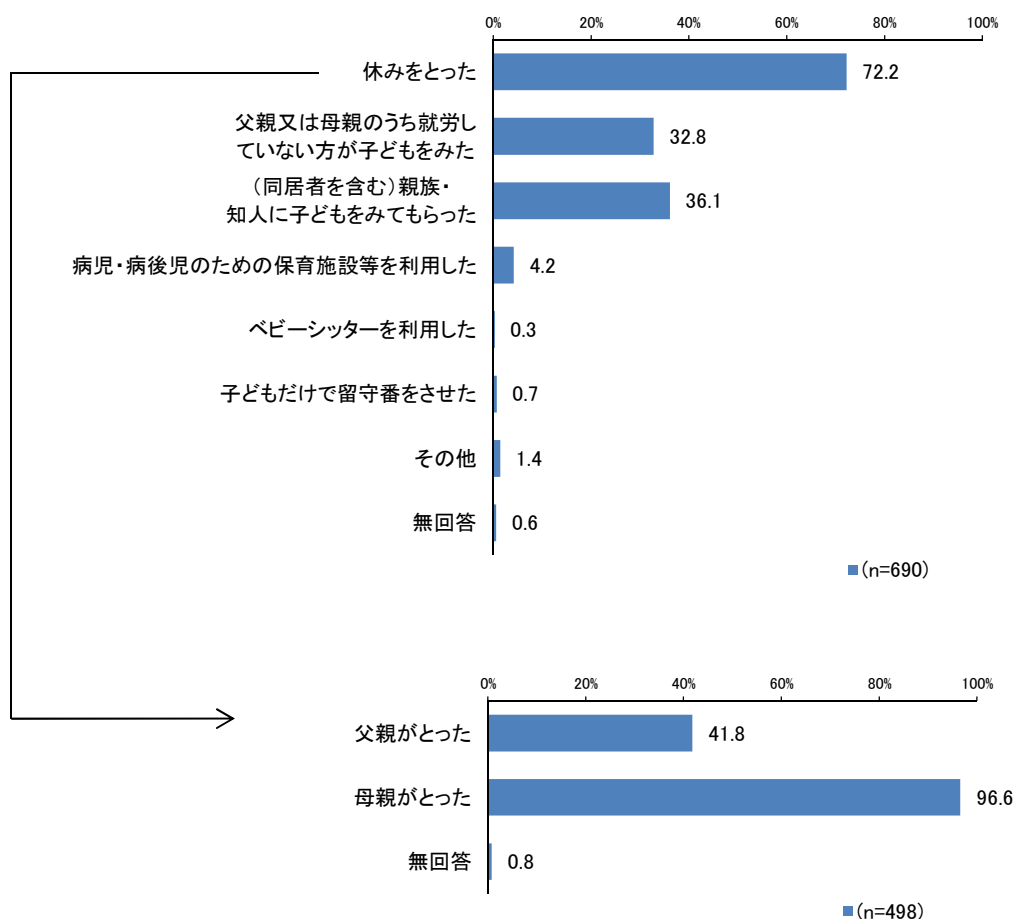


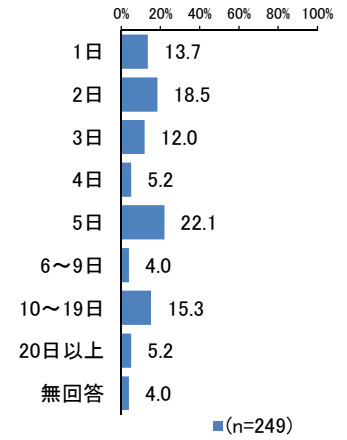
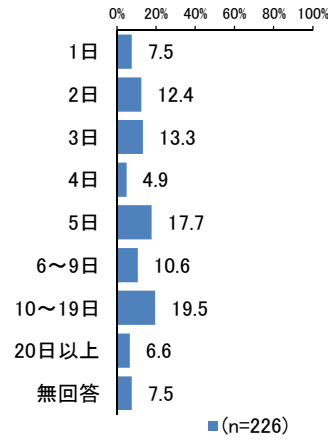
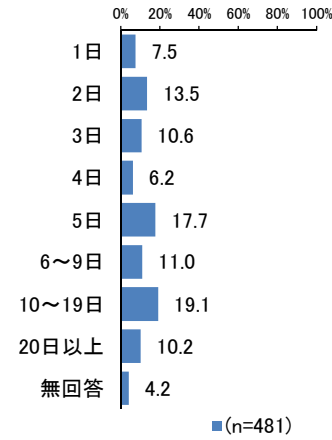
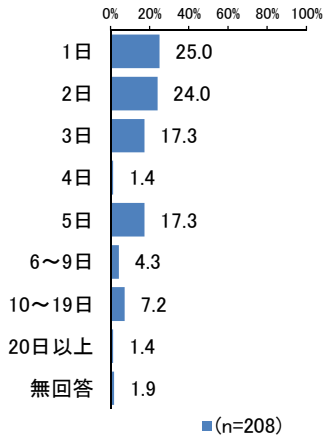
図 病気やけがで教育・保育事業を利用できなかった時の対応日数

1. ①父親が休みをとった

1. ②母親が休みをとった

2. 父親又は母親のうち
就労していない方が
子どもをみた

3. (同居者を含む)
親族・知人に子ども
をみてもらった

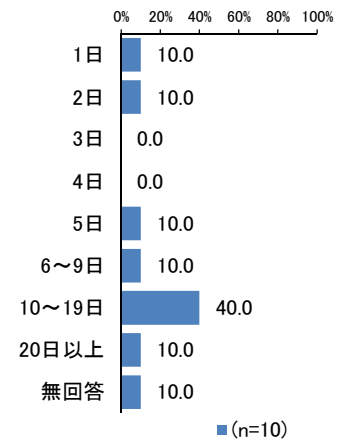
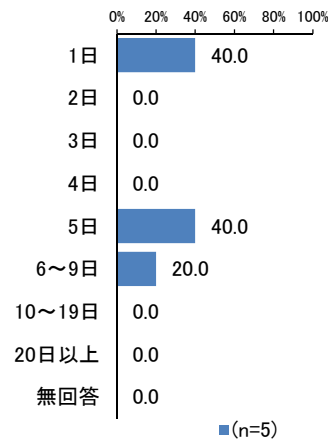
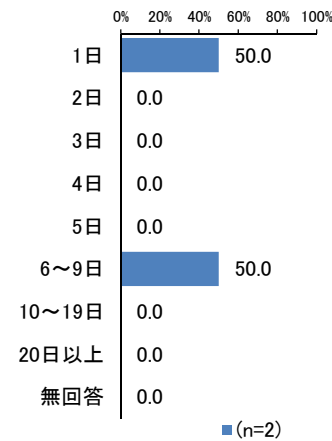
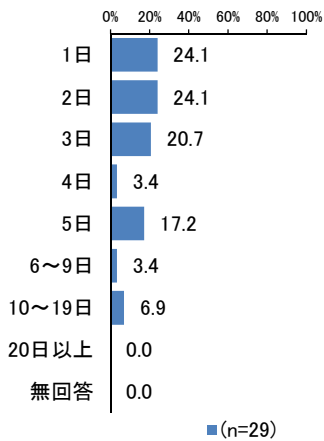


4. 病児・病後児のため
の保育施設等を利用
した

5. ベビーシッターを
利用した

6. 子どもだけで留守番
をさせた

7. その他



(3) 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか

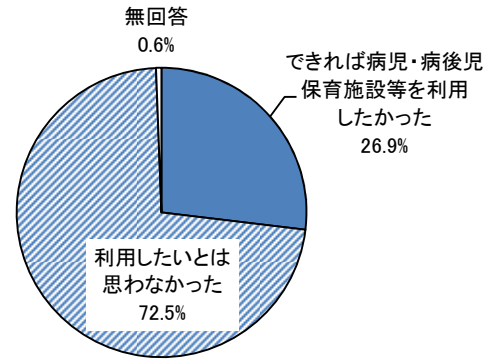
問17-2 問17-1で「休みをとった」に○をつけた方にうかがいます。
 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
 当てはまる番号1つに○をつけ、利用したかった日数についても()内に数字でご記入
 ください。なお、病児・病後児のための保育施設等の利用には、一定の利用者負担が発生し、
 利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

図 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか

子どもが病気やけがで教育・保育事業が利用できなかった時に休みをとった方に、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したかった」と思ったかとたずねたところ、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」が26.9%、「利用したいとは思わなかった」が72.5%となっている。

子どもの年齢別では、2歳児は「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」が3割を超えている。

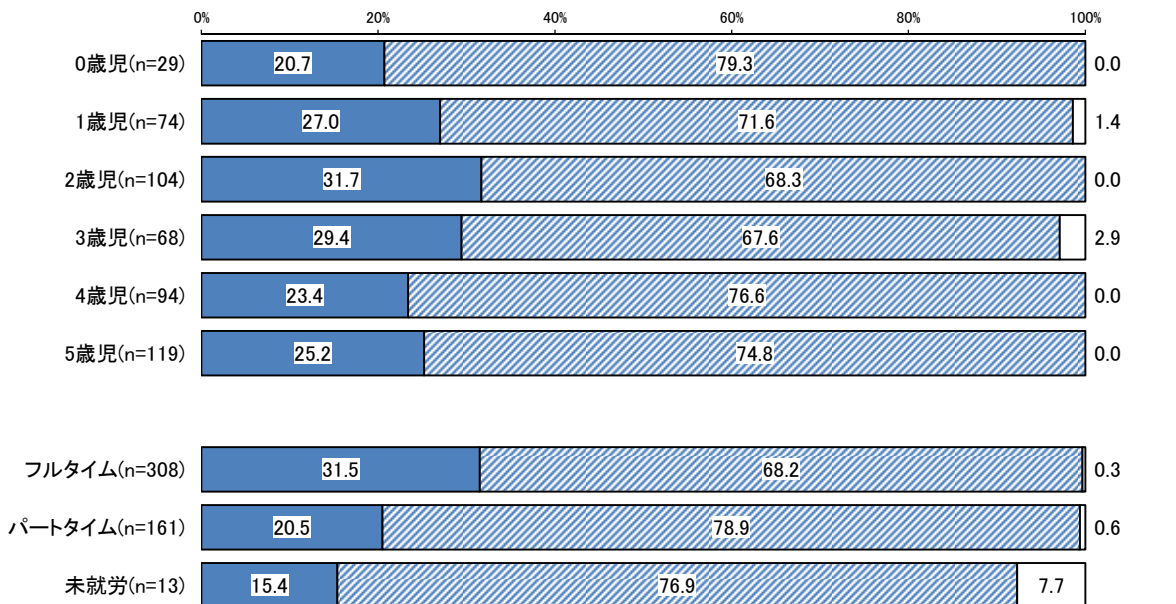
母親の就労状態別では、フルタイムは「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」が3割を超えている。



(n=498)

図 年齢別、母親の就労状態別

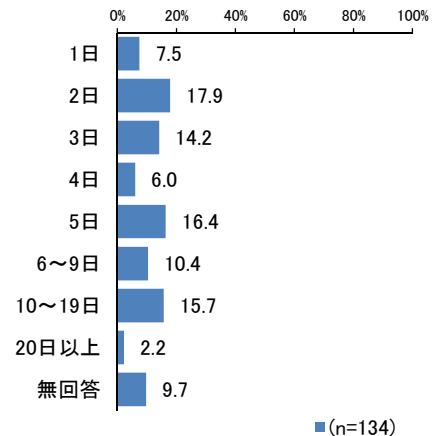
「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか



■ できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった ▨ 利用したいとは思わなかった □ 無回答

図 病児・病後児のための保育施設等を利用したい日数

「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したかった」日数は、「2日」が17.9%、「5日」が16.4%、「10～19日」が15.7%、「3日」が14.2%、「6～9日」が10.4%、「1日」が7.5%、「4日」が6.0%、「20日以上」が2.2%となっている。

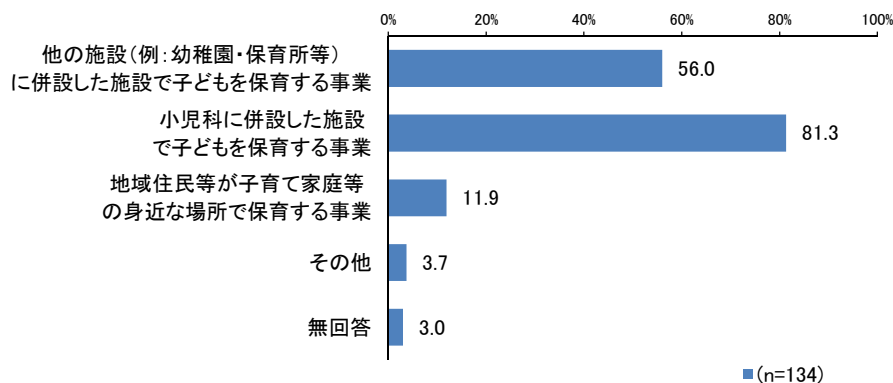


(4) 望ましい病児・病後児保育施設等の事業形態

問17-3 問17-2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」に○をつけた方にかがいます。
 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

望ましい病児・病後児保育施設等の事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が81.3%で最も高く、次いで「他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業」が56.0%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が11.9%となっている。

図 望ましい病児・病後児保育施設等の事業形態

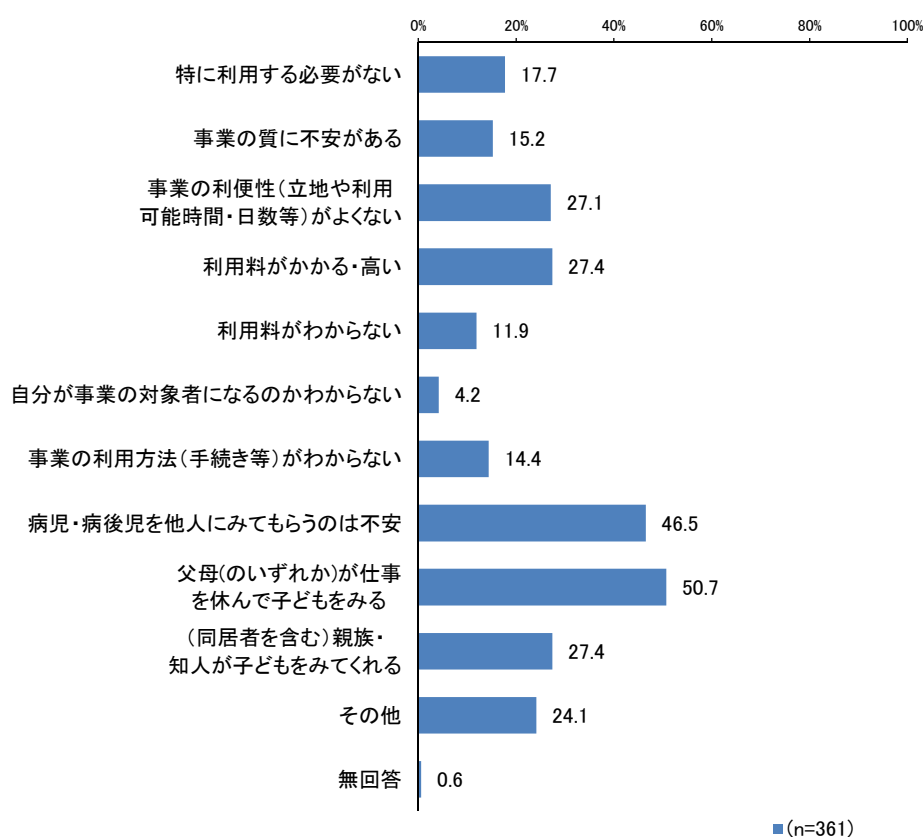


(5) 病児・病後児のための保育施設等を利用したいとは思わない理由

問17-4 問17-2で「利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児のための保育施設等を利用したいとは思わない理由は、「父母(のいずれか)が仕事を休んで子どもをみる」が50.7%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が46.5%、「利用料がかかる・高い」と「(同居者を含む)親族・知人が子どもをみてくれる」がともに27.4%、「事業の利便性(立地や利用可能時間・日数等)がよくない」が27.1%、「その他」が24.1%、「特に利用する必要がない」が17.7%となっている。また、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」「利用料がわからない」といった施設の利用内容に関する回答が1割程度みられる。

図 病児・病後児のための保育施設等を利用したいとは思わない理由



(6) 「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたかった」と思ったか

問17-5 問17-1で「(同居親族を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」「病児・病後児のための保育施設等を利用した」「ベビーシッターを利用した」「子どもだけで留守番をさせた」「その他」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたかった」と思われましたか。
 当てはまる番号1つに○をつけ、それぞれの日数のうち仕事を休んで子どもをみたかった日数についても()内に数字でご記入ください。

図 「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたかった」と思ったか

「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたかった」と思ったかとたずねると、「できれば仕事を休んで子どもをみたかった」が50.7%、「仕事を休んで子どもをみることは非常に難しい」が31.9%となっている。

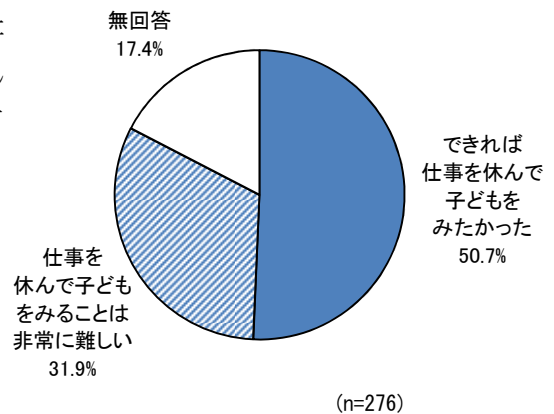
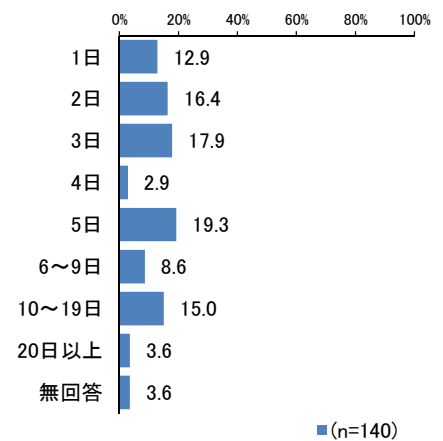


図 「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたかった」と思った日数

「できれば仕事を休んで子どもをみたかった」日数は、「5日」が19.3%、「3日」が17.9%、「2日」が16.4%、「10~19日」が15.0%、「1日」が12.9%などとなっている。

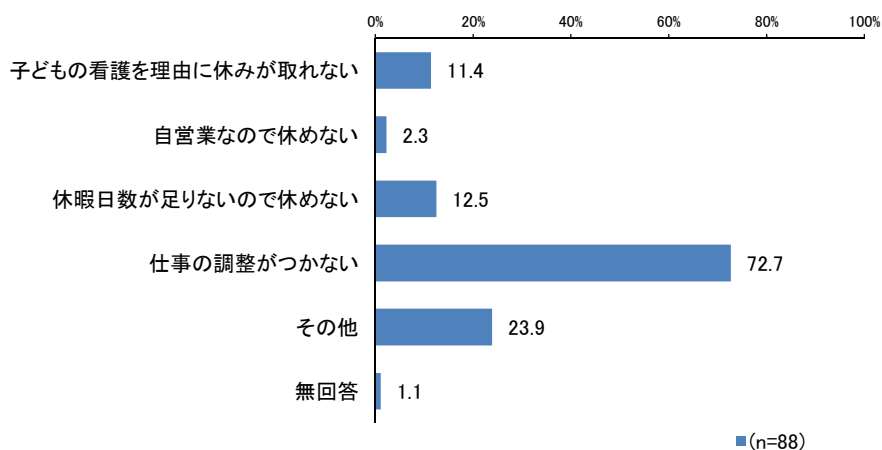


(7) 「仕事を休んで子どもをみることは非常に難しい」と思う理由

問17-6 問17-5で「仕事を休んで子どもをみることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「仕事を休んで子どもをみることは非常に難しい」と思う理由は、「仕事の調整がつかない」が72.7%で最も高く、次いで「その他」が23.9%、「休暇日数が足りないので休めない」が12.5%、「子どもの看護を理由に休みが取れない」が11.4%となっている。

図 「仕事を休んで子どもをみることは非常に難しい」と思う理由



7. 地域子育て支援事業の利用状況について

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問18 宛名のお子さんは現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

地域子育て支援拠点事業の利用状況をみると、「市で実施している類似の事業」が13.9%、「地域子育て支援拠点事業」が5.5%となっており、「利用していない」が81.0%と約8割となっている。

子どもの年齢別では、3歳以上は「利用していない」がほとんどである。0歳児と1歳児は「地域子育て支援拠点事業」「市で実施している類似の事業」のいずれかを利用しているのが約4割、2歳児は約3割である。

図 地域子育て支援拠点事業の利用状況

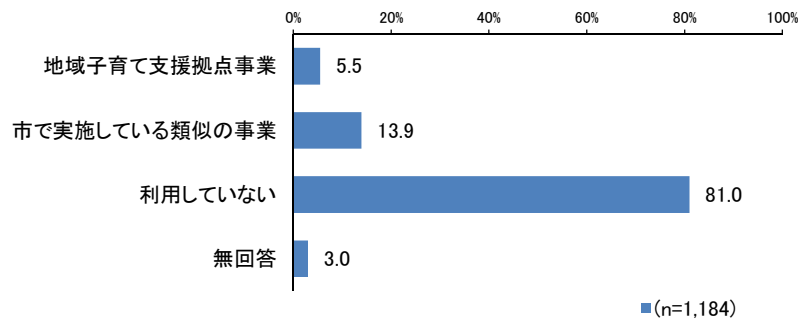
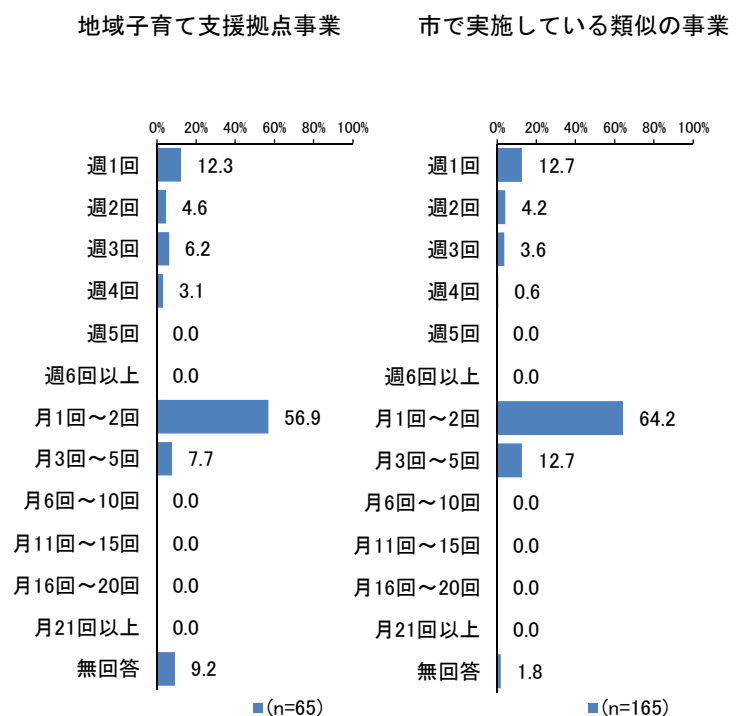


表 年齢別 地域子育て支援拠点事業の利用状況

	回答者数 (n)	地域子育て支援拠点事業	市で実施している類似の事業	利用していない	無回答
全体	1,184	5.5	13.9	81.0	3.0
0歳児	182	7.7	32.4	62.6	2.2
1歳児	167	12.6	30.5	64.7	2.4
2歳児	221	10.9	21.7	69.7	3.6
3歳児	147	0.7	0.7	95.2	3.4
4歳児	184	2.2	1.1	95.1	1.6
5歳児	263	-	1.1	95.1	3.8

図 地域子育て支援拠点事業の利用日数



(2) 地域子育て支援拠点事業の利用意向

問19 問20のような事業について、今は利用していないができれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。
 当てはまる番号1つに○をつけ、おおよその利用回数(頻度)を()内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

図 地域子育て支援拠点事業の利用意向

地域子育て支援拠点事業の利用意向をたずねると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が64.9%で最も高く、次いで「利用していないが、今後は利用したい」が19.8%、「すでに利用しているが、今後は利用日数を増やしたい」が7.8%となっている。

子どもの年齢別では、0歳児は「利用していないが、今後は利用したい」が44.5%で最も高い。

利用意向日数は、利用していないが、今後は利用したい場合は「月1回～2回」が65.8%を占める。すでに利用しているが、今後は利用日数を増やしたい場合は「月1回～2回」が31.5%で最も高いものの、「週1回」(17.4%)と「週2回」(18.5%)を合わせると35.9%となっている。

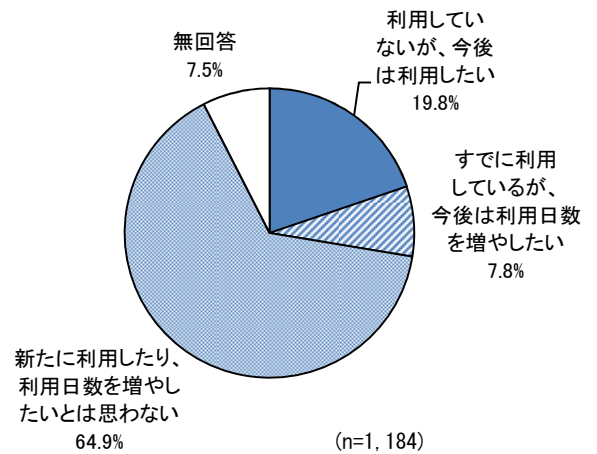
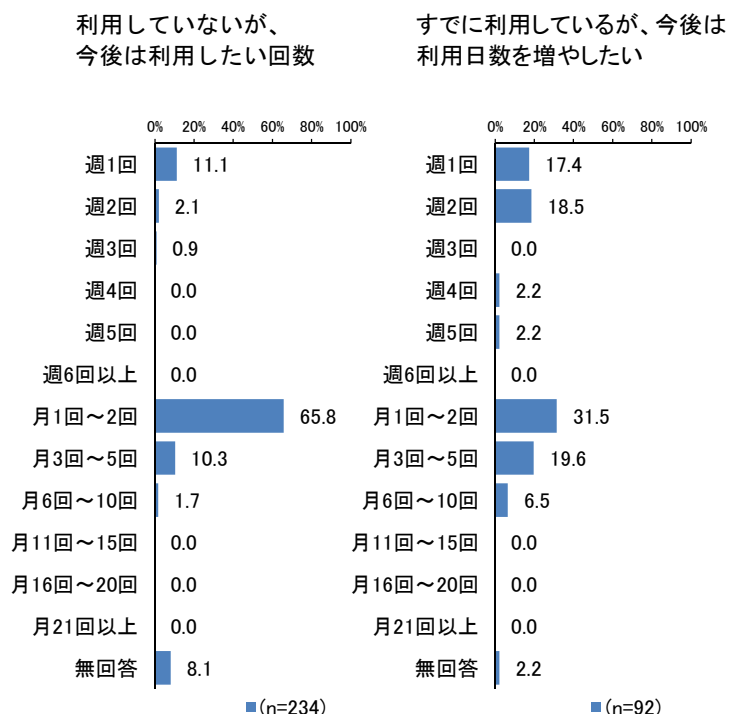


表 年齢別 地域子育て支援拠点事業の利用意向 図 地域子育て支援拠点事業の利用意向日数

	回答者数 (n)	利用していないが、今後は利用したい	すでに利用しているが、今後は利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	無回答
全体	1,184	19.8	7.8	64.9	7.5
0歳児	182	44.5	23.1	30.2	2.2
1歳児	167	24.0	16.2	50.3	9.6
2歳児	221	19.0	8.6	66.1	6.3
3歳児	147	15.6	0.7	74.8	8.8
4歳児	184	12.5	1.1	79.9	6.5
5歳児	263	8.4	0.4	80.2	11.0



(3) 子育て支援事業の認知・利用状況、利用意向

問20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑱の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

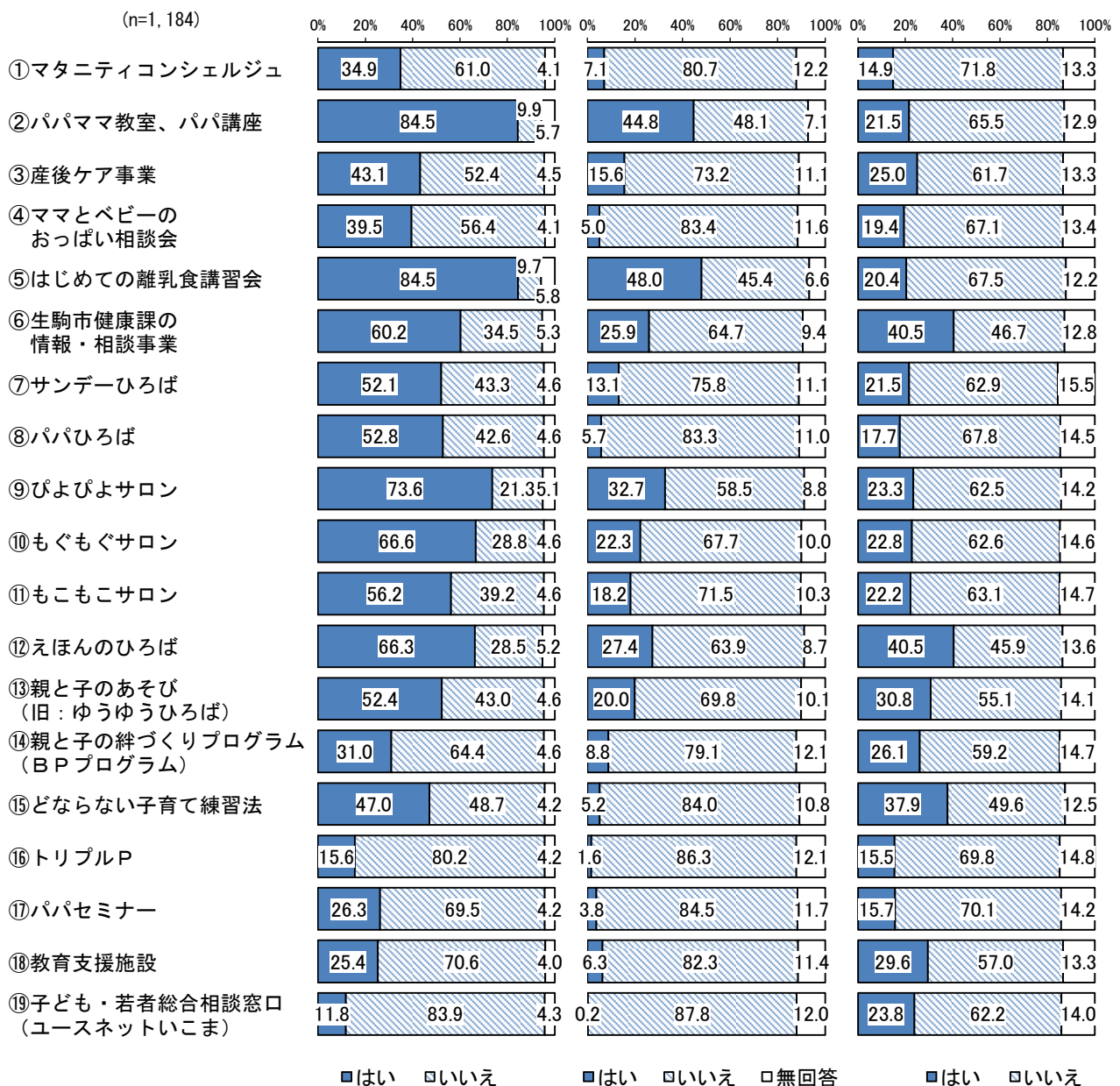
知っている子育て支援事業は、「②パパママ教室、パパ講座」と「⑤はじめての離乳食講習会」が84.5%で最も高く、次いで「⑨ぴよぴよサロン」が73.6%、「⑩もぐもぐサロン」が66.6%、「⑫えほんのひろば」が66.3%となっている。

これまでに利用したことがある事業は、「⑤はじめての離乳食講習会」が48.0%、「②パパママ教室、パパ講座」が44.8%などとなっている。

今後利用したい事業は、「⑥生駒市健康課の情報・相談事業」と「⑫えほんのひろば」がともに40.5%で最も高く、次いで「⑮どならない子育て練習法」が37.9%となっている。

図 子育て支援事業の認知・利用状況、利用意向

<A知っている> <Bこれまでに利用したことがある> <C今後利用したい>



8. 不規則な教育・保育事業や一時預かり等の利用について

(1) 不規則な教育・保育事業の利用状況

問21 宛名のお子さんは現在、日中の定期的な教育・保育事業や病気のため以外に、保護者の用事や不規則の就労等の目的で教育・保育事業を不規則に利用していますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、1年間のおおよその利用日数を（ ）内に数字でご記入ください。

不規則な教育・保育事業の利用状況を見ると、「一時預かり」が9.7%、「その他」が1.6%、「ファミリー・サポート事業」が0.8%、「ベビーシッター」が0.3%となっている。「利用していない」が86.1%となっている。

子どもの年齢別では、1歳児以上は「一時預かり」が1割程度である。

母親の就労状態別では、パートタイムと未就労は「一時預かり」がそれぞれ12.6%、12.9%でフルタイムよりも高い。

一時預かりの利用日数は、「3日～5日」が23.5%でやや高い。

図 不規則な教育・保育事業の利用状況

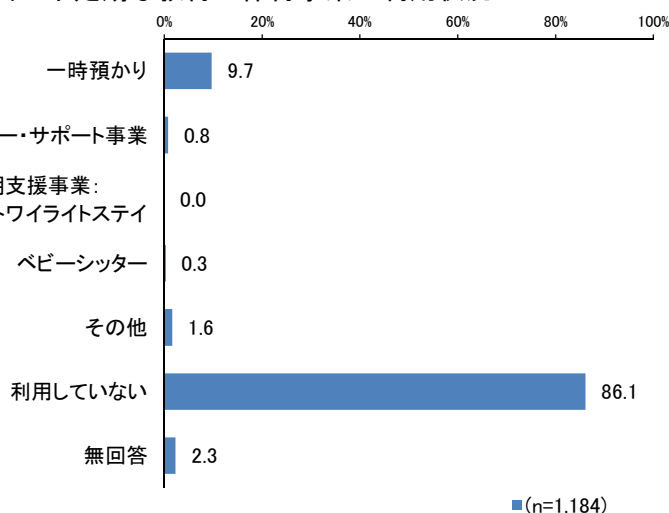
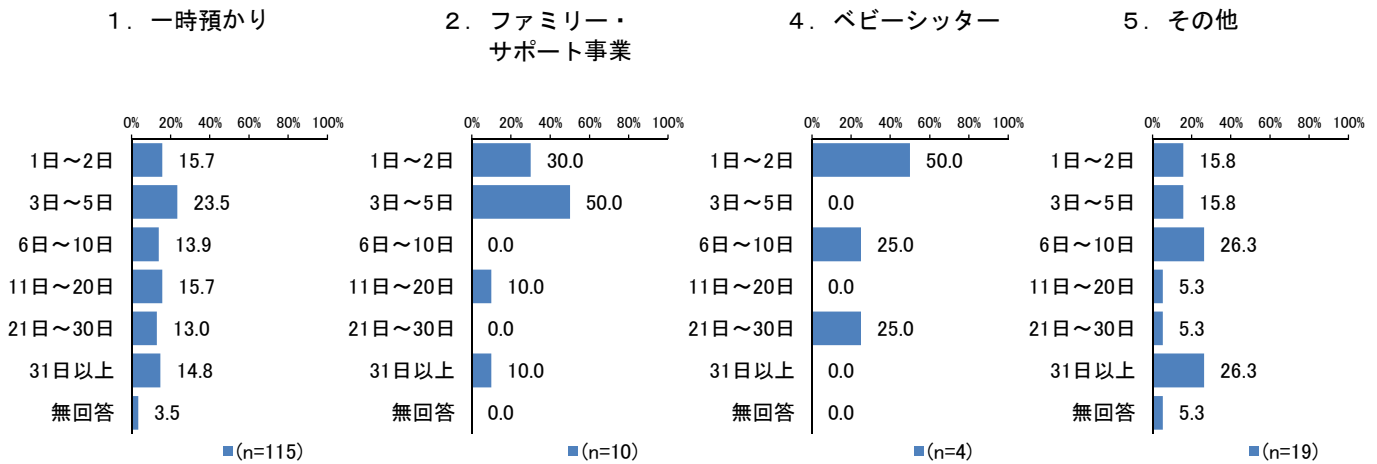


表 年齢別、母親の就労状態別 不規則な教育・保育事業の利用状況

	回答者数 (n)	一時預かり	ファミリー・サポート事業	子育て短期支援事業: ショートステイ、トワイライトステイ	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
全体	1,184	9.7	0.8	-	0.3	1.6	86.1	2.3
0歳児	182	2.2	0.5	-	-	1.1	94.5	1.6
1歳児	167	10.2	3.0	-	-	1.2	83.8	3.6
2歳児	221	10.0	0.5	-	0.9	1.8	86.0	1.8
3歳児	147	10.9	0.7	-	-	2.0	82.3	4.8
4歳児	184	14.1	-	-	0.5	2.2	83.2	1.6
5歳児	263	11.4	0.8	-	0.4	1.5	84.8	1.5
フルタイム	435	4.1	1.4	-	0.7	1.8	90.8	2.5
パートタイム	247	12.6	1.2	-	-	1.6	82.6	2.8
未就労	458	12.9	0.2	-	0.2	1.3	83.8	1.7

図 不定期な教育・保育事業の利用日数



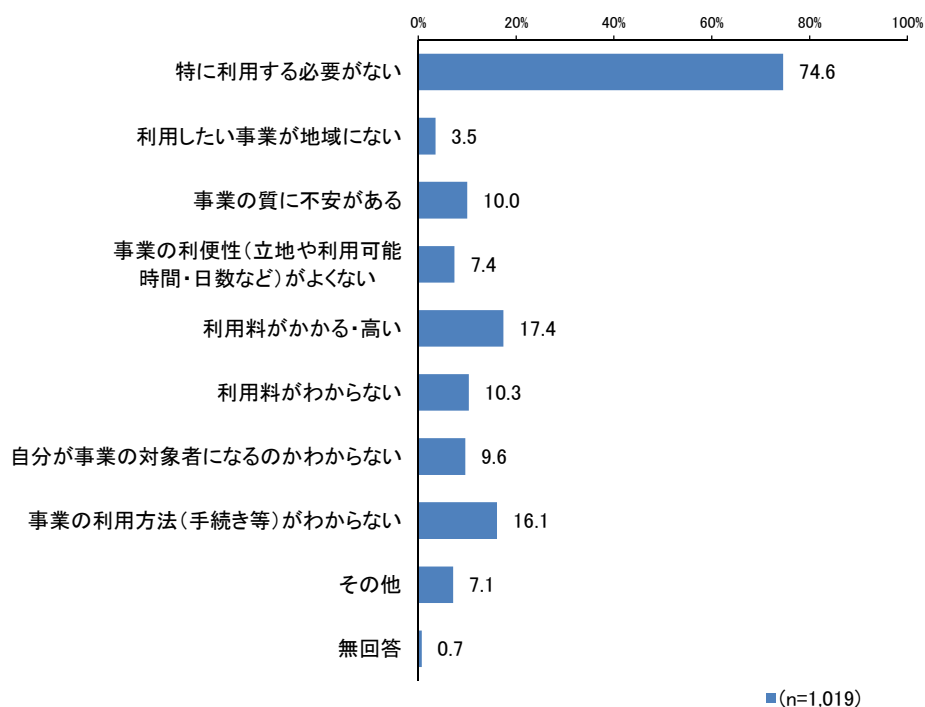
※「3. 子育て短期支援事業：ショートステイ、トワイライトステイ」はn=0のためグラフを省略しています。

(2) 不定期な教育・保育事業を利用していない理由

問21-1 問21で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

不定期な教育・保育事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が74.6%で最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が17.4%、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が16.1%となっている。

図 不定期な教育・保育事業を利用していない理由



(3) 不定期な教育・保育事業の利用意向

問22 宛名のお子さんについて、保護者の用事や不定期の就労等の目的で、年間何日くらい教育・保育事業を利用する必要があると思いますか。

利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を()内に数字でご記入ください。)なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

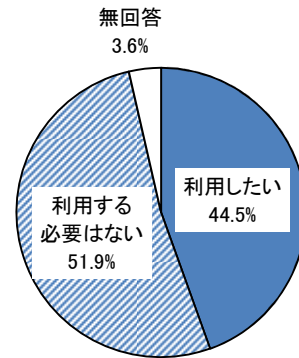
図 不定期な教育・保育事業の利用意向

■利用意向

不定期な教育・保育事業の利用意向をたずねると、「利用したい」が44.5%、「利用する必要はない」が51.9%となっている。

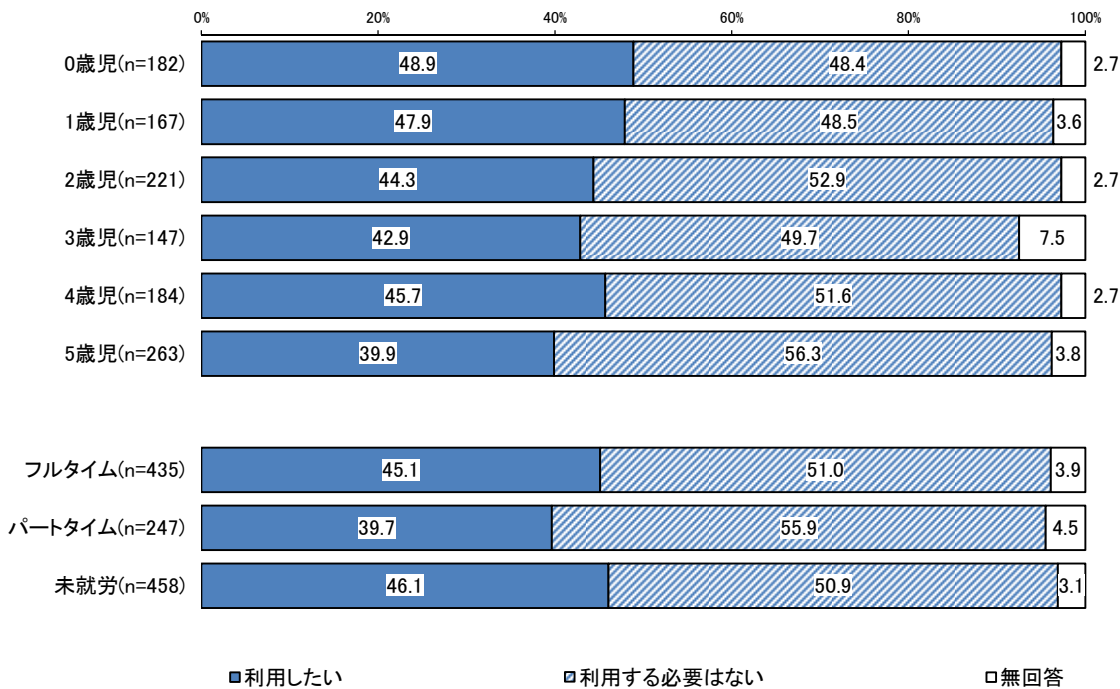
子どもの年齢別では、0歳児、1歳児は「利用したい」がやや高い。

母親の就労状態別では、パートタイムはフルタイム、未就労に比べて「利用したい」が低くなっている。



(n=1,184)

図 年齢別、母親の就労状態別 不定期な教育・保育事業の利用意向



■ 利用目的

利用したい目的は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）」が 67.6%で最も高く、次いで「親や子ども（兄弟姉妹を含む）の通院、冠婚葬祭、学校行事等」が 61.5%、「不定期の就労」が 33.0%となっている。

図 不定期な教育・保育事業の利用目的

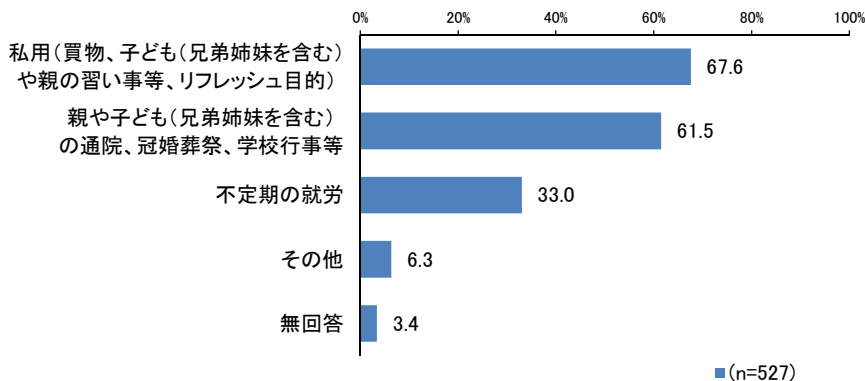


図 不定期な教育・保育事業の利用意向日数

■ 利用意向日数

利用したい日数の合計は、「11日～20日」が 21.4%で最も高く、次いで「6日～10日」が 20.9%、「31日以上」が 19.5%、「3日～5日」が 15.2%、「21日～30日」が 12.1%となっている。平均日数は 26.76日となっている。

利用目的別意向日数は、不定粋の就労は「31日以上」が 21.8%となっている。

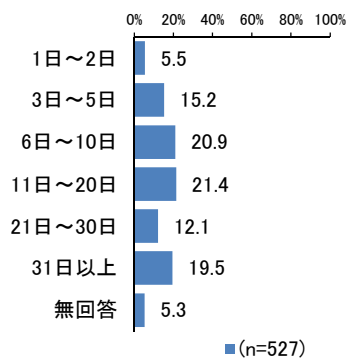
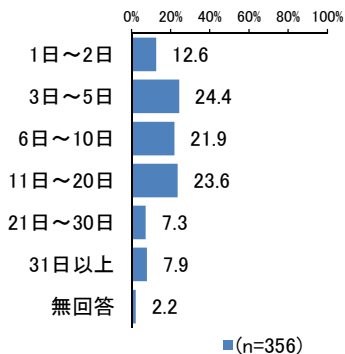
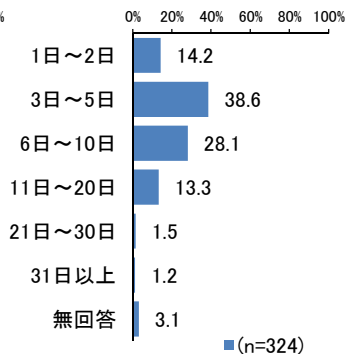


図 不定期な教育・保育事業の利用目的別意向日数

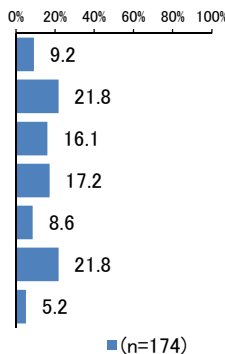
① 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）



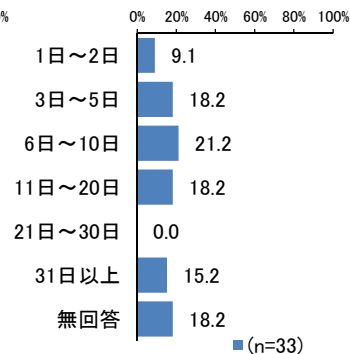
② 親や子ども（兄弟姉妹を含む）の通院、冠婚葬祭、学校行事等



③ 不定期の就労



④ その他



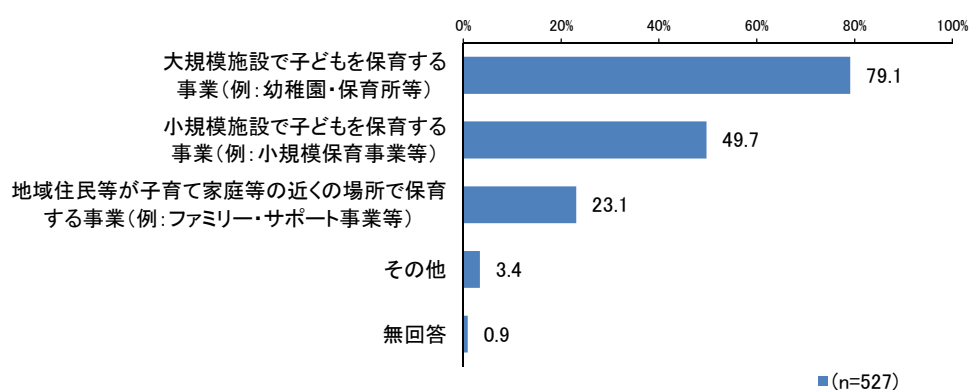
(4) 望ましい不定期な教育・保育事業の事業形態

問22-1 問22で「利用したい」に○をつけた方にかがいます。

問22の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

望ましい不定期な教育・保育事業の事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」が79.1%で最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（例：小規模保育事業等）」が49.7%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート事業等）」が23.1%となっている。

図 望ましい不定期な教育・保育事業の事業形態



(5) 父母以外に子どもを泊りがけでみてもらった経験

問22-2 問22で「利用したい」に○をつけた方にかがいます。
 この1年間に、保護者の用事等により、宛名のお子さんを泊りがけで父母以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含まれます。) あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。

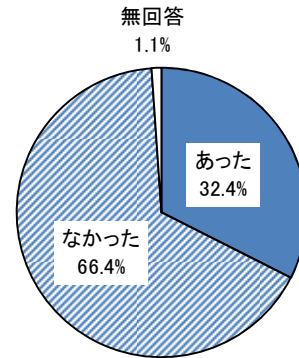
図 父母以外に子どもを泊りがけでみてもらった経験

■ 経験の有無

父母以外に子どもを泊りがけでみてもらった経験は、「あった」が32.4%、「なかった」が66.4%となっている。

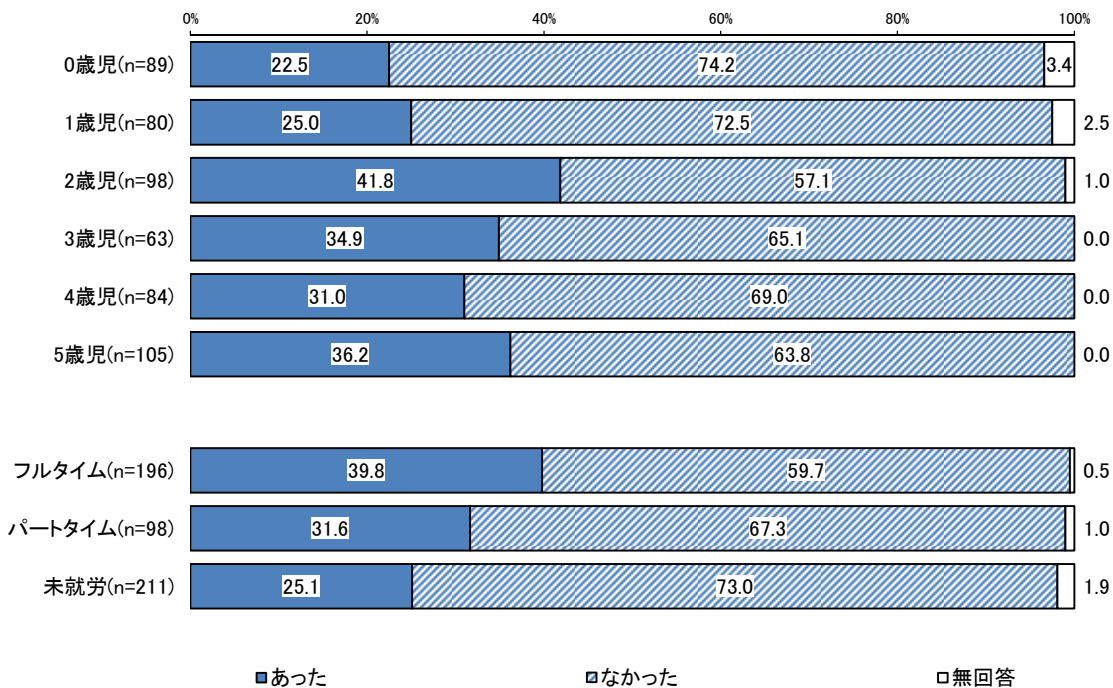
子どもの年齢別では、2歳児は「あった」が41.8%で他の年齢よりも高くなっている。

母親の就労状態別では、フルタイムは「あった」が39.8%で他の就労状態に比べて高い。



(n=527)

図 年齢別、母親の就労状態別 父母以外に子どもを泊りがけでみてもらった経験



■ 対処方法

泊りがけの時の対処方法は、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 87.1%で最も高く、次いで「子どもを同行させた」が 19.9%となっている。

図 父母以外に子どもを泊りがけでみてもらった時の対処方法

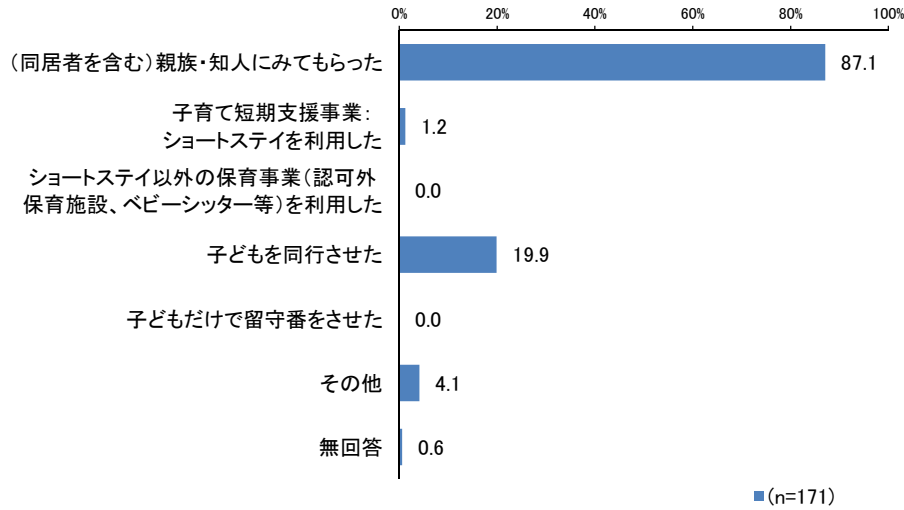
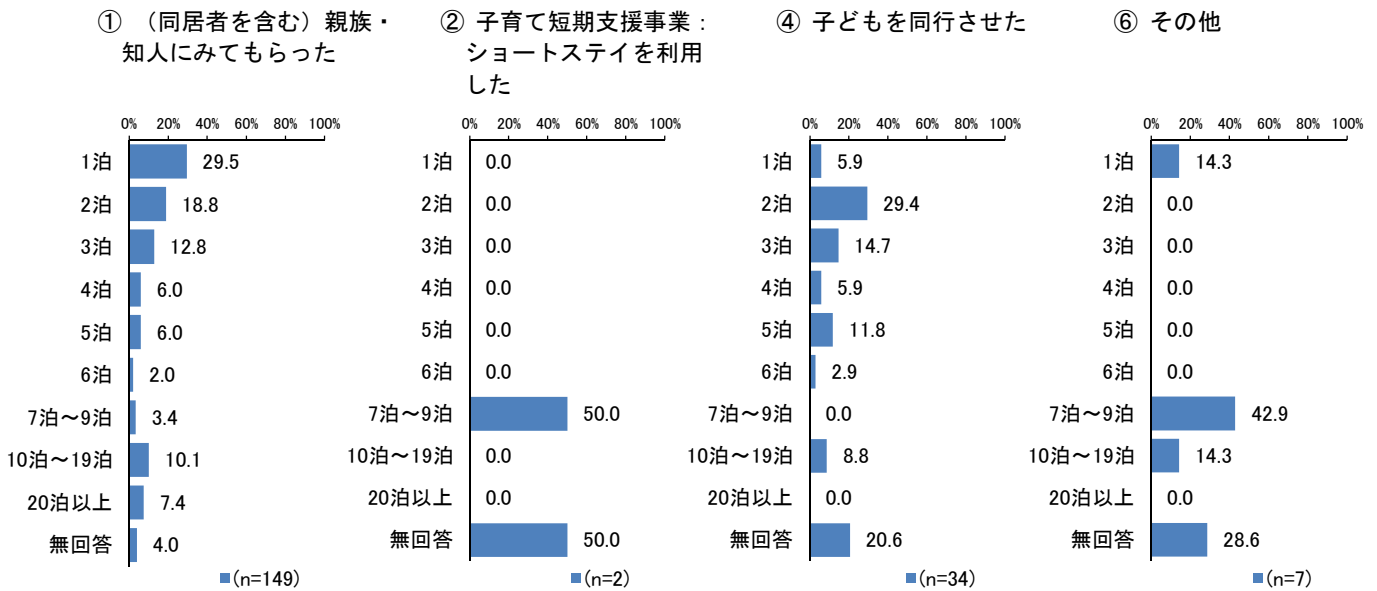


図 父母以外に子どもを泊りがけでみてもらった時の対処日数



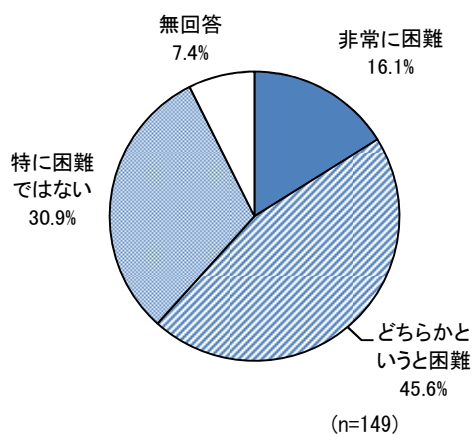
※「③ ショートステイ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した」と「⑤ 子どもだけで留守番をさせた」はn=0のためグラフを省略しています。

(6) 親族・知人に泊りがけでみてもらった際の困難度

問22-3 問22-2で「あった、(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

図 親族・知人に泊りがけでみてもらった際の困難度

親族・知人に泊りがけでみてもらった際の困難度は、「どちらかという困難」が45.6%で最も高く、次いで「特に困難ではない」が30.9%、「非常に困難」が16.1%となっている。



9. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(1) 育児休業の取得状況

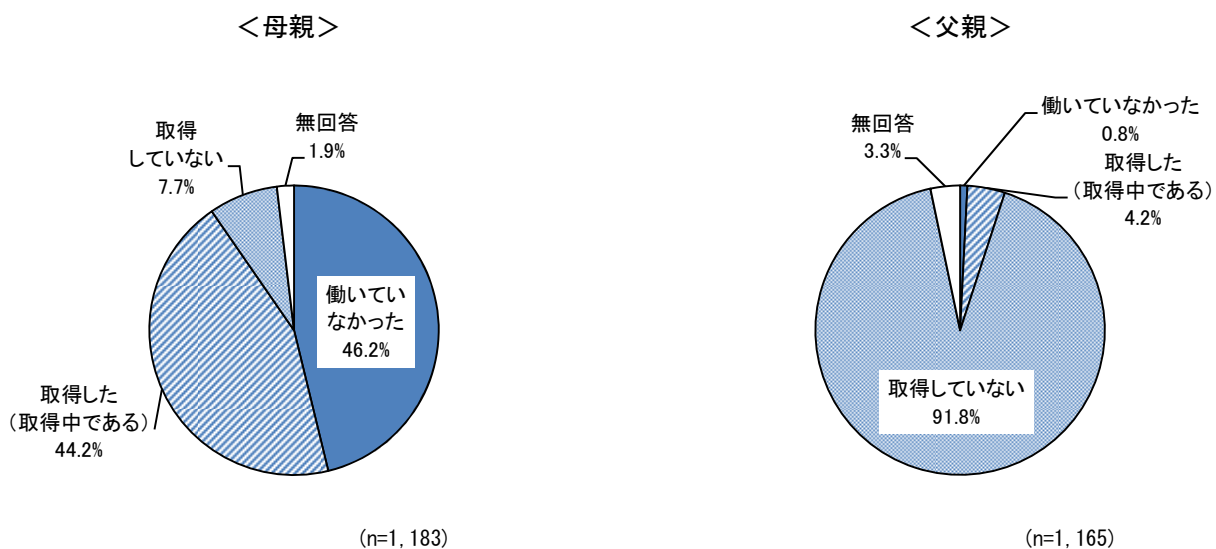
問23 宛名のお子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業（産前産後休暇を除く）を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する（ ）内には数字でご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。※母子家庭・父子家庭の場合は、いずれかにお答えください。

■取得状況

母親では、「働いていなかった」が46.2%、「取得した（取得中である）」が44.2%、「取得していない」が7.7%となっている。

父親では、「取得していない」が91.8%、「取得した（取得中である）」が4.2%、「働いていなかった」が0.8%となっている。

図 育児休業の取得状況

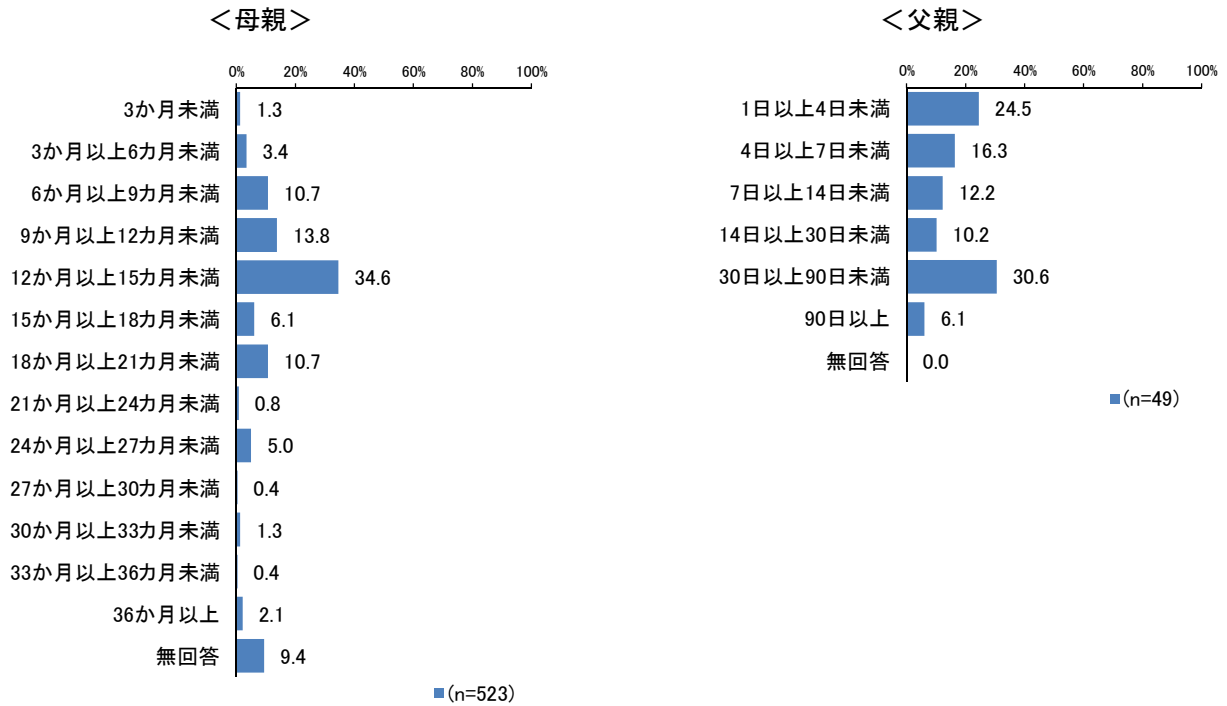


■取得期間

母親では、「12ヶ月以上15ヶ月未満」が34.6%、「9ヶ月以上12ヶ月未満」が13.8%、「6ヶ月以上9ヶ月未満」と「18ヶ月以上21ヶ月未満」がともに10.7%、「15ヶ月以上18ヶ月未満」が6.1%、「24ヶ月以上27ヶ月未満」が5.0%などとなっている。

父親では、「30日以上90日未満」が30.6%、「1日以上4日未満」が24.5%、「4日以上7日未満」が16.3%、「7日以上14日未満」が12.2%、「14日以上30日未満」が10.2%、「90日以上」が6.1%となっている。

図 育児休業の取得期間

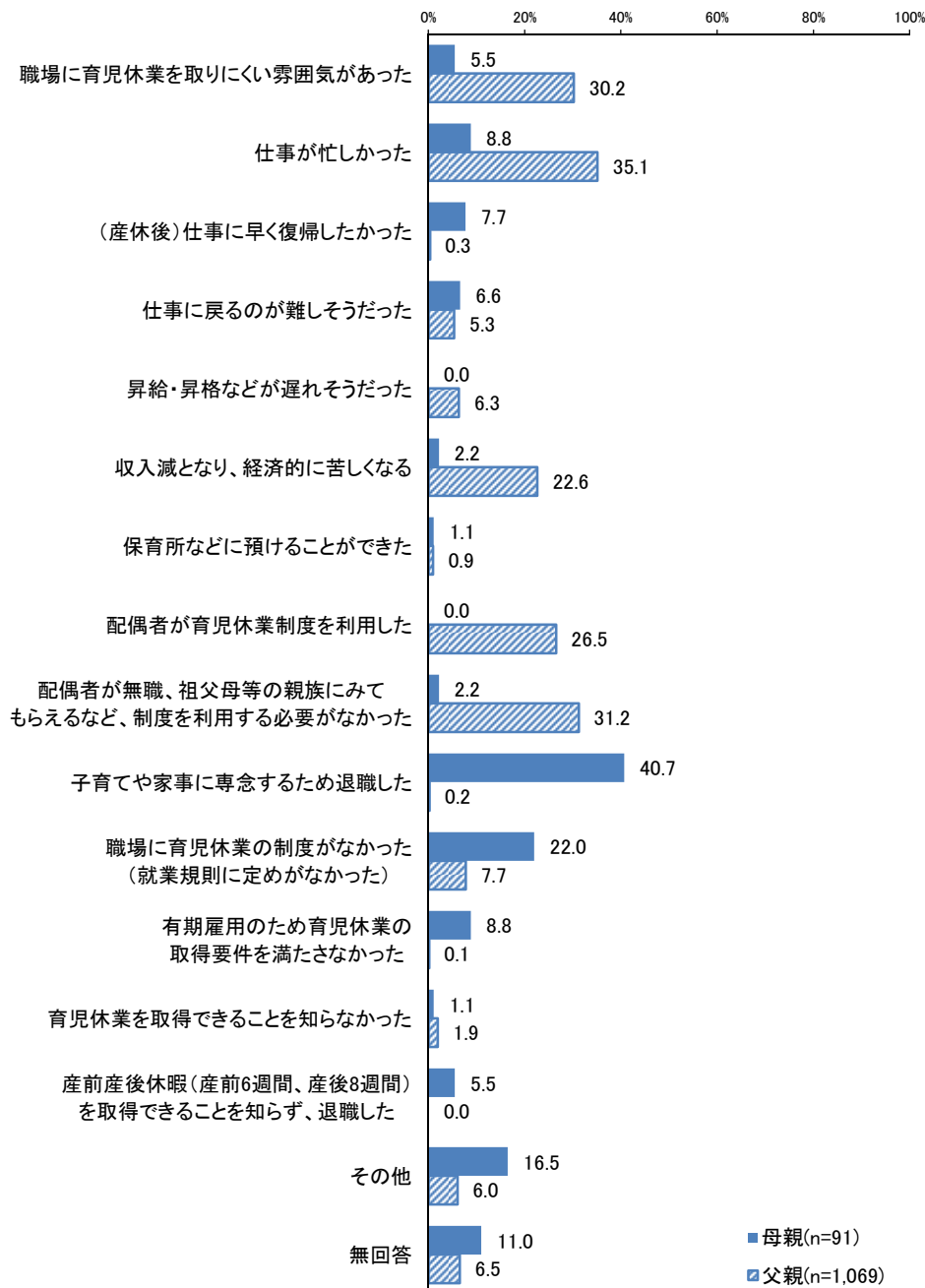


■取得していない理由

女性では、「子育てや家事に専念するため退職した」が40.7%で最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が22.0%、「その他」が16.5%となっている。

男性では、「仕事が忙しかった」が35.1%で最も高く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が31.2%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が30.2%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が22.6%となっている。

図 育児休業を取得していない理由

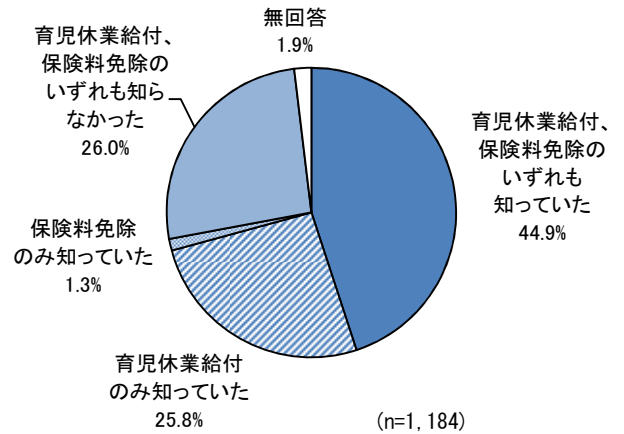


(2) 育児休業の取得に関する制度の認知状況

問24 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業給付金が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

図 育児休業の取得に関する制度の認知状況

育児休業の取得に関する制度の認知状況をみると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が44.9%で最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が26.0%、「育児休業給付のみ知っていた」が25.8%となっている。



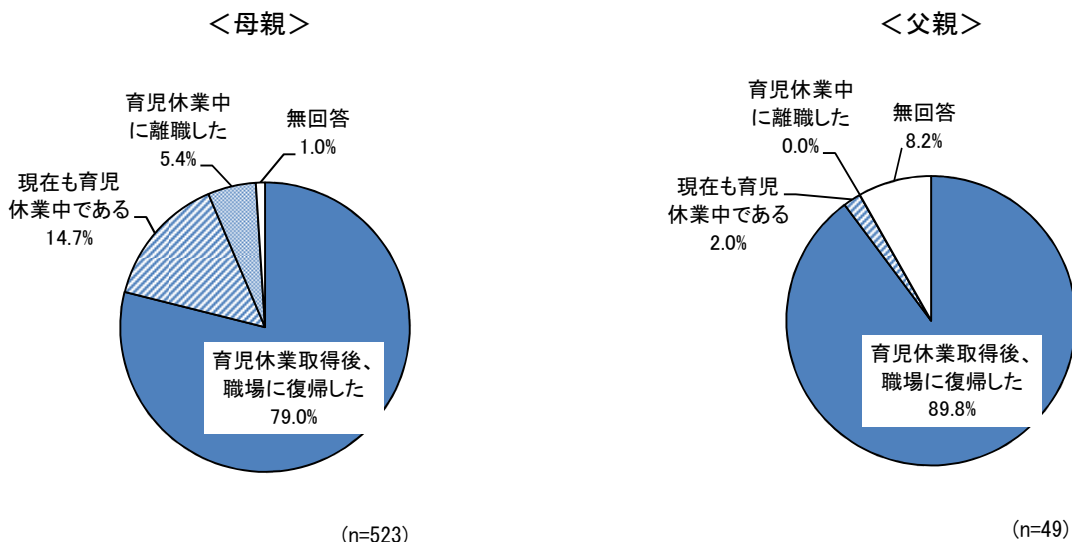
(3) 育児休業取得後の職場復帰状況

問25 問23で母親・父親が「取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

育児休業取得後の職場復帰状況は、母親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が79.0%、「現在も育児休業中である」が14.7%、「育児休業中に離職した」が5.4%となっている。

父親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が89.8%となっている。

図 育児休業取得後の職場復帰状況

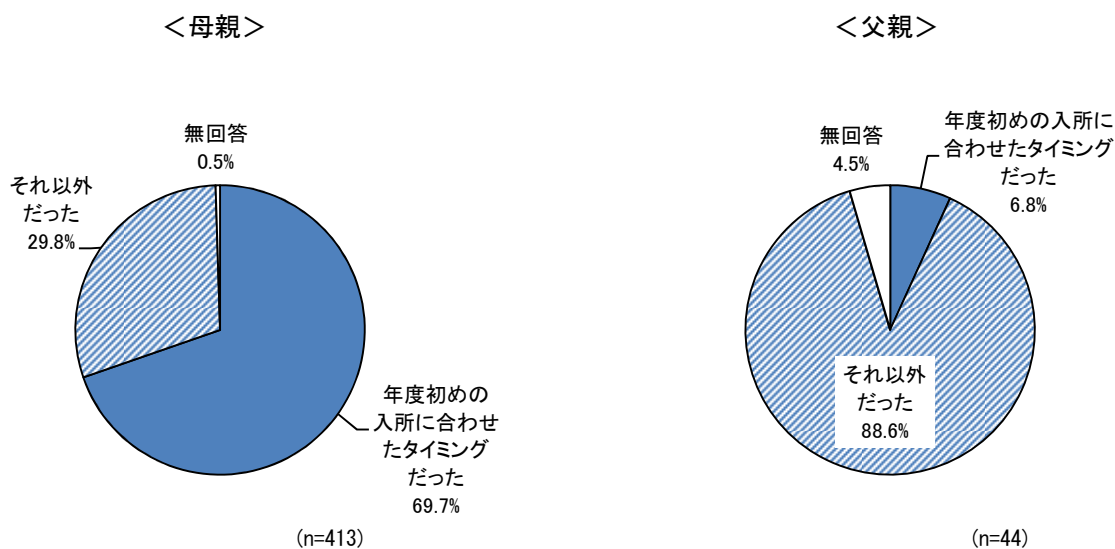


(4) 職場復帰時のタイミング

問25-1 問25で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「育児休業取得後、職場に復帰した」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「育児休業取得後、職場に復帰した」を選択してください。

職場復帰時のタイミングは、母親は、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が69.7%、「それ以外だった」が29.8%となっている。父親は、「それ以外だった」が88.6%、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が6.8%となっている。

図 職場復帰時のタイミング



(5) 育児休業の復帰時期

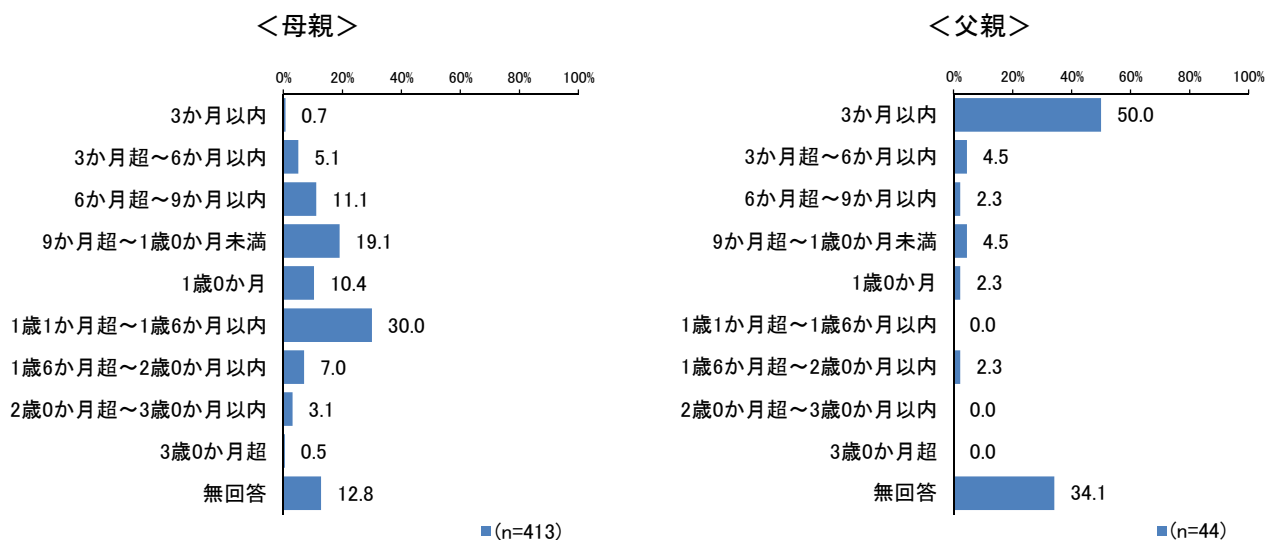
問25-2 問25で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、職場の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

■ 実際の復帰時期

実際の復帰時期は、母親では、「1歳1ヶ月超～1歳6ヶ月以内」が30.0%で最も高く、次いで「9ヶ月超～1歳0ヶ月未満」が19.1%、「6ヶ月超～9ヶ月以内」が11.1%、「1歳0ヶ月」が10.4%となっている。

父親では、「3ヶ月以内」が50.0%、「3ヶ月超～6ヶ月以内」と「9ヶ月超～1歳0ヶ月未満」がともに4.5%などとなっている。

図 育児休業の実際の復帰時期

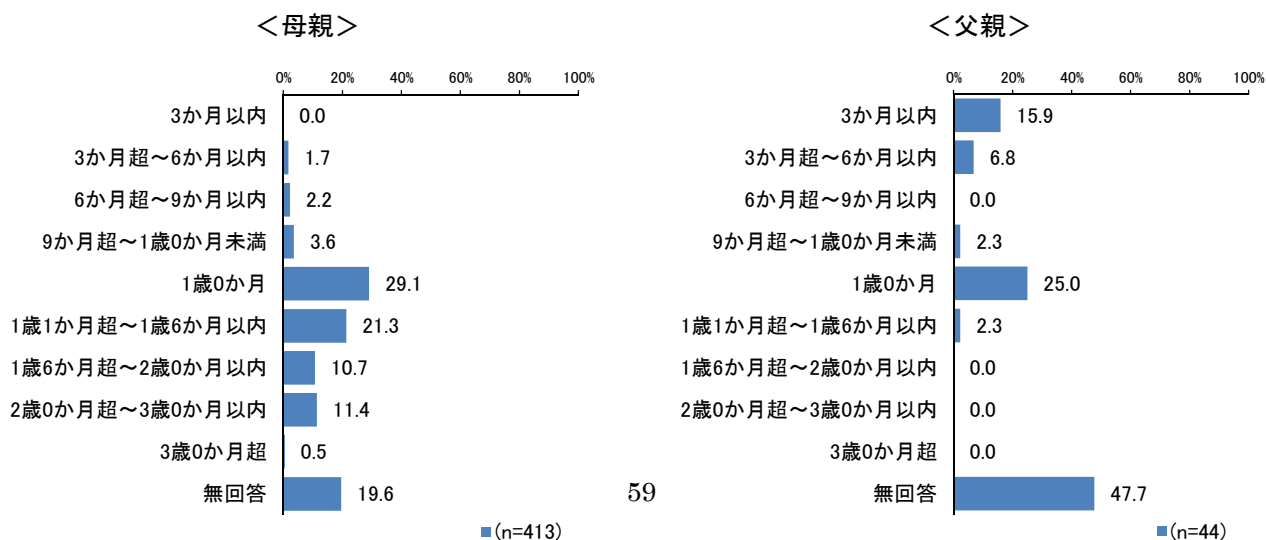


■ 希望の復帰時期

希望の復帰時期は、母親では、「1歳0ヶ月」が29.1%で最も高く、次いで「1歳1ヶ月超～1歳6ヶ月以内」が21.3%、「2歳0ヶ月超～3歳0ヶ月以内」が11.4%、「1歳6ヶ月超～2歳0ヶ月以内」が10.7%などとなっている。

父親では、「1歳0ヶ月」が25.0%、「3ヶ月以内」が15.9%、「3ヶ月超～6ヶ月以内」が6.8%などとなっている。

図 育児休業の希望の復帰時期



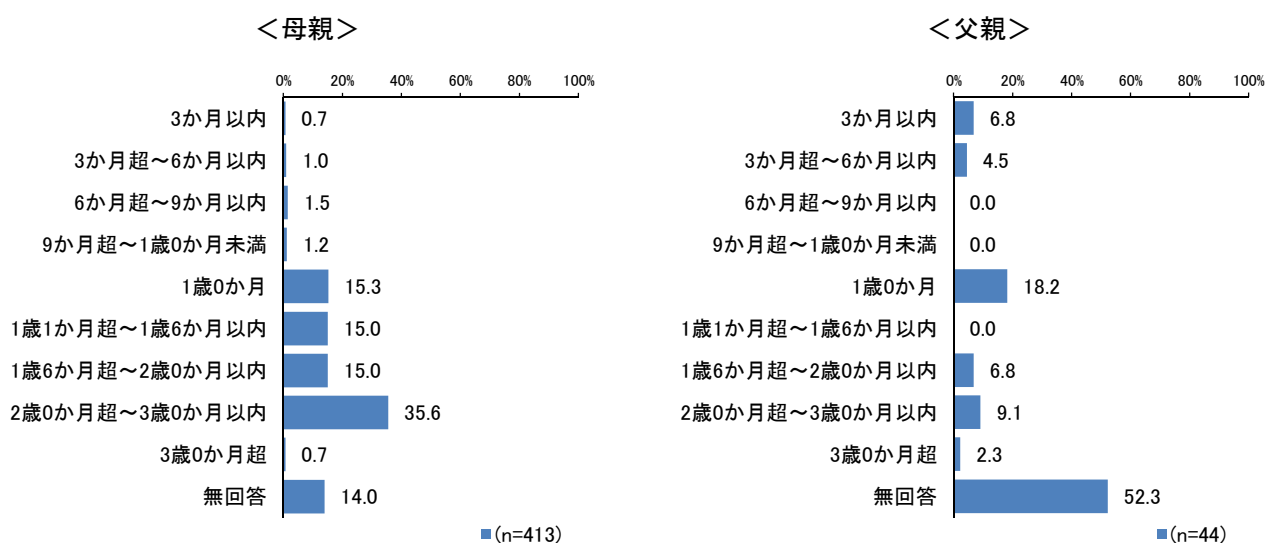
(6) 3歳まで育休制度がある場合に取得したい期間

問25-3 問25で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
 職場に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが
 何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

3歳まで育休制度がある場合に取得したい期間は、母親では「2歳0ヶ月超～3歳0ヶ月以内」が35.6%で最も高く、次いで「1歳0ヶ月」が15.3%、「1歳1ヶ月超～1歳6ヶ月以内」と「1歳6ヶ月超～2歳0ヶ月以内」がともに15.0%などとなっている。

父親では「1歳0ヶ月」が18.2%、「2歳0ヶ月超～3歳0ヶ月以内」が9.1%、「3ヶ月以内」と「1歳6ヶ月超～2歳0ヶ月以内」がともに6.8%などとなっている。

図 3歳まで育休制度がある場合に取得したい期間



(7) 希望の時期に復帰しなかった理由

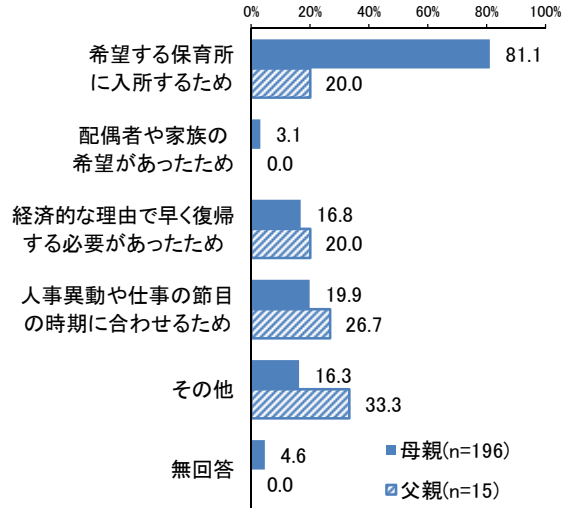
問25-4 希望の時期に復帰しなかった理由についてうかがいます。

■希望の時期より早く復帰した理由

希望の時期より早く復帰した理由は、母親では「希望する保育所に入所するため」が81.1%で最も高く、次いで「人事異動や仕事の節目の時期に合わせるため」が19.9%、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が16.8%となっている。

父親では「その他」が33.3%、「人事異動や仕事の節目の時期に合わせるため」が26.7%、「希望する保育所に入所するため」と「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」がともに20.0%となっている。

図 希望の時期に復帰しなかった理由

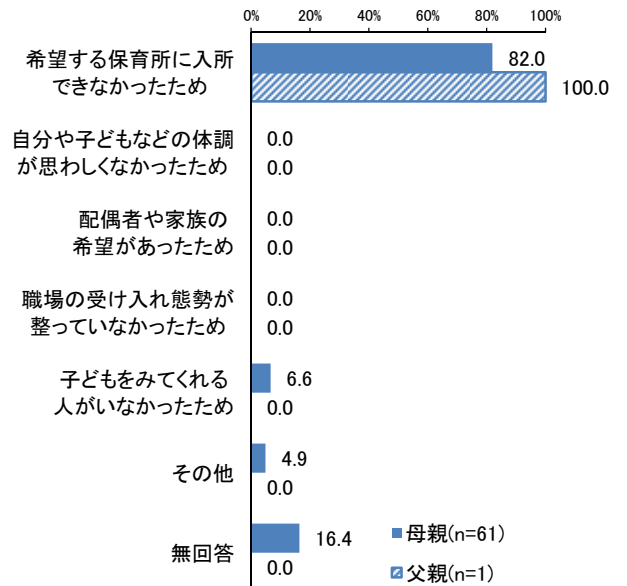


■希望の時期より遅く復帰した理由

希望の時期より遅く復帰した理由は、母親では「希望する保育所に入所できなかったため」が82.0%で最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」が6.6%となっている。

父親では、「希望する保育所に入所できなかったため」が100.0% (1人) となっている。

図 希望の時期より遅く復帰した理由



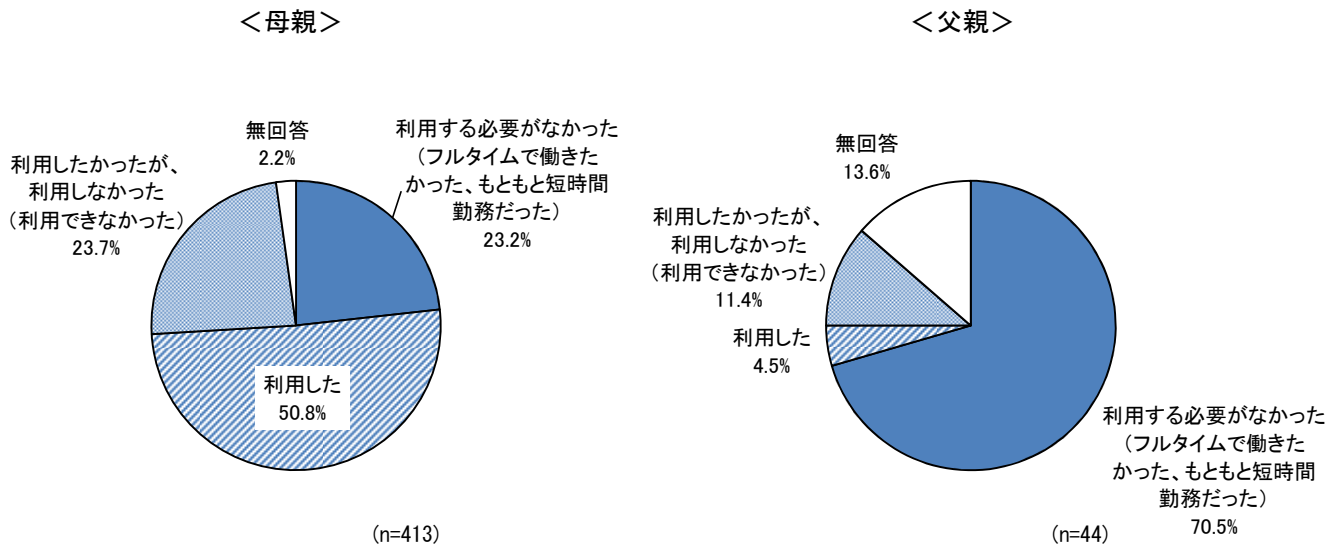
(8) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況

問25-5 問25で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。育児休業から職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況は、母親では「利用した」が50.8%で最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が23.7%、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が23.2%となっている。

父親では、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が70.5%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が11.4%、「利用した」が4.5%となっている。

図 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況



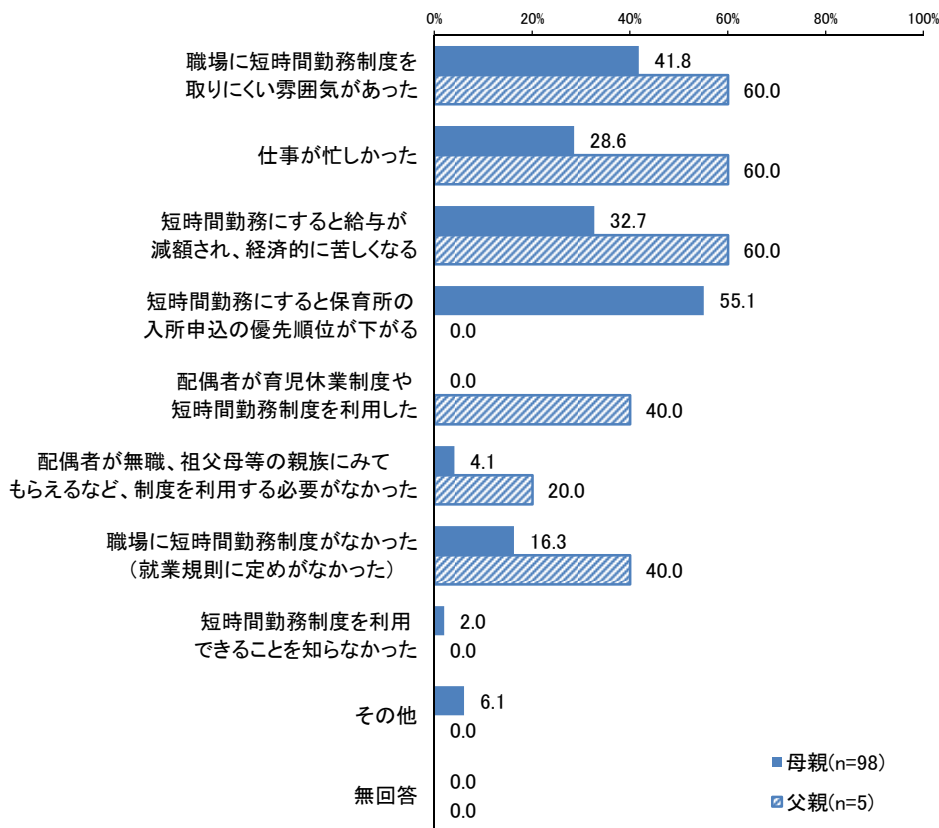
(9) 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由

問25-6 問25-5で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にかがいます。
 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は、母親では「短時間勤務にすると保育所の入所申込の優先順位が下がる」が55.1%で最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が41.8%、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が32.7%、「仕事が忙しかった」が28.6%、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が16.3%となっている。

父親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」がいずれも60.0%（3人）で最も高く、次いで「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」と「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」がともに40.0%（2人）、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」20.0%（1人）となっている。

図 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由



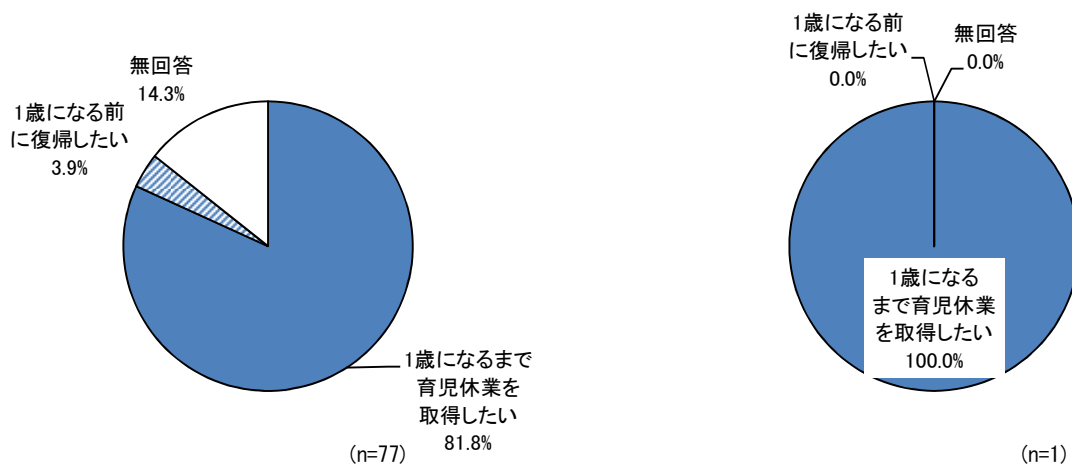
(10) 1歳時に必ず利用できる教育・保育事業がある場合の育児休業取得意向

問25-7 問25で「現在も育児休業中である」に○をつけた方にかがいます。
宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる教育・保育事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる教育・保育事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1歳になったときに必ず預けられる教育・保育事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得したいかについては、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が81.8%、「1歳になる前に復帰したい」が3.9%となっている。

父親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が100.0%（1人）となっている。

図 1歳時に必ず利用できる教育・保育事業がある場合の育児休業取得意向
<母親> <父親>



10. 小学校就学後の過ごし方について

(1) 小学校就学後の放課後の過ごし方

問26 宛名のお子さんについて、小学校就学後の放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。学年別に、それぞれ希望する1週当たりのおおよその日数を数字でご記入ください。なお、「放課後児童クラブ（学童保育）」については希望時間（何時まで）も数字でご記入ください。時間は、例：18時のように24時間制でご記入ください。

小学校就学後の放課後の過ごさせ方を学年別にみると、「自宅」で過ごさせたい（1週当たり1日以上）割合は、学年による大きな違いはみられないが、「自宅」で過ごさせたい場合の週当たり平均日数は、高学年になるほど少なくなる傾向である。

「習いごと（ピアノ教室、スイミング、学習塾など）」は、過ごさせたい（1週当たり1日以上）割合、過ごさせたい場合の週当たり平均日数ともに高学年になるほど割合が高くなり、日数が多くなる傾向である。

「放課後児童クラブ（学童保育）」は、「習いごと（ピアノ教室、スイミング、学習塾など）」とは逆に、高学年になるほど過ごさせたい（1週当たり1日以上）割合が低くなり、過ごさせたい場合の週当たり平均日数が少なくなる傾向である。

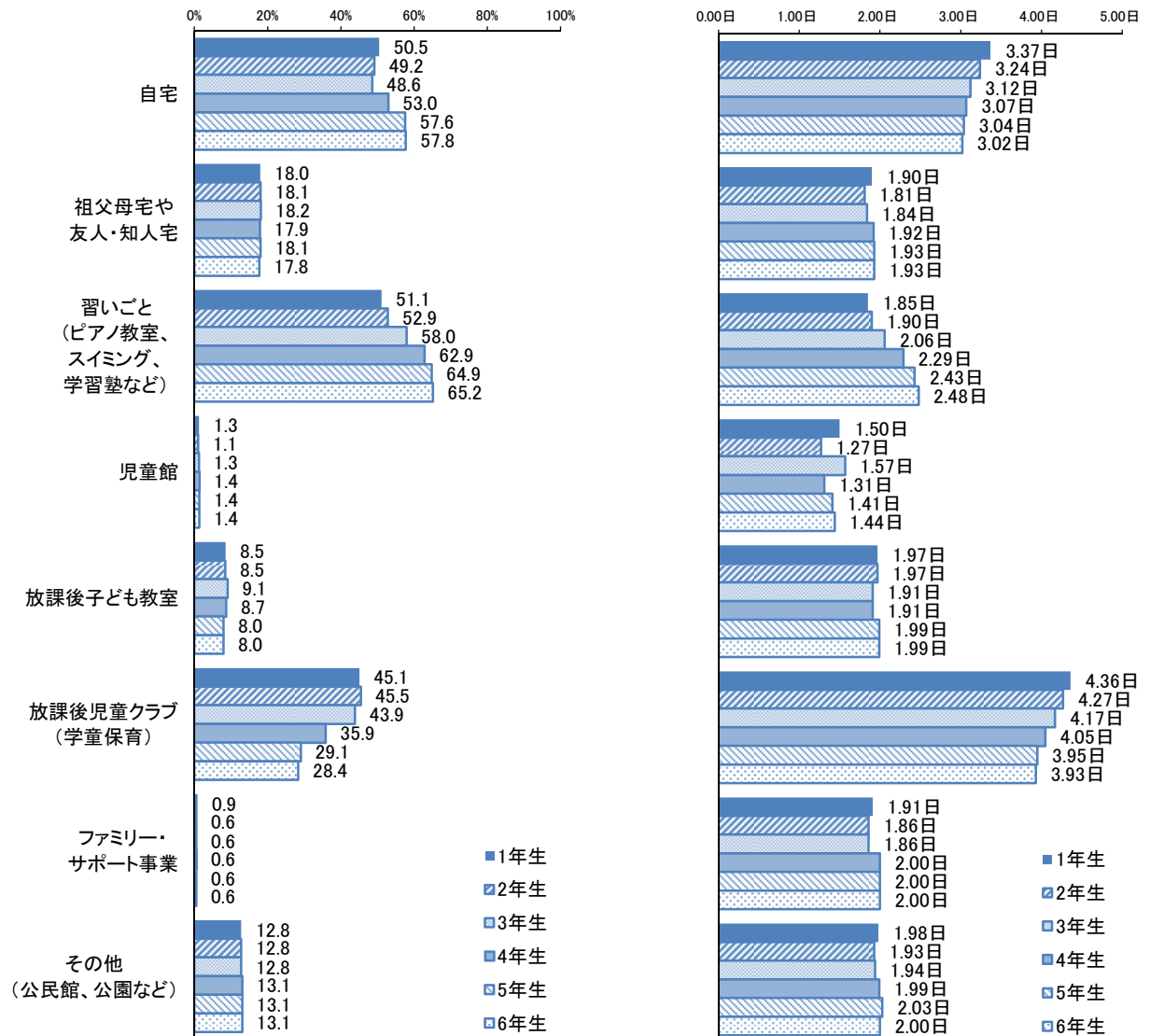
その他の場所は、学年による顕著な違いはみられない。

希望終了時刻は、いずれの学年も「17時台」と「18時台」がそれぞれ30%台で合わせると70%となっている。

図 小学校就学後の放課後の過ごし方

<過ごさせたい(1週当たり1日以上)割合>

<過ごさせたい場合の週当たり平均日数>



(n=1,184)

表 放課後児童クラブ(学童保育)の希望終了時刻

	回答者数(n)	14時より前	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時以降	無回答
1年生	534	-	-	0.6	3.6	38.8	36.3	18.0	0.4	-	-	2.4
2年生	539	-	-	0.4	3.3	39.3	36.2	17.6	0.4	-	-	2.8
3年生	520	-	-	0.4	2.7	38.3	36.3	19.2	0.4	-	-	2.7
4年生	425	-	-	0.7	2.1	37.4	35.8	20.5	0.7	-	-	2.8
5年生	344	-	-	0.3	2.6	39.2	33.7	20.6	0.6	-	-	2.9
6年生	336	-	-	0.3	2.7	39.9	33.3	20.5	0.6	-	-	2.7

(2) 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の学童保育の利用意向

問27 問26で「放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、小学校就学後の土曜日と日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期休暇中に放課後児童クラブ（学童保育）の利用を希望しますか。それぞれについて当てはまる番号の欄に○をつけてください。また、「利用したい」に○をつけた方はそれぞれの希望時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は、例：18時のように24時間制でご記入ください。

小学校就学後の放課後の過ごし方で「放課後児童クラブ（学童保育）」を選んだ人の土曜日と日曜日・祝日、長期休暇中それぞれの利用希望をみると、学年にかかわらず長期休暇中は約9割が希望しており、土曜日は約3割、日曜日・祝日は1割弱となっている。

それぞれの利用希望時間では、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中とも開始時刻は「8時台」が約5割を占めている。終了時刻は、土曜日と長期休暇中は「17時台」「18時台」を合わせて6割～7割となっている。日曜日・祝日は、土曜日と長期休暇中に比べて「19時台」の割合がやや高い。いずれも学年による違いはほとんどみられない。

図 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の学童保育の利用意向

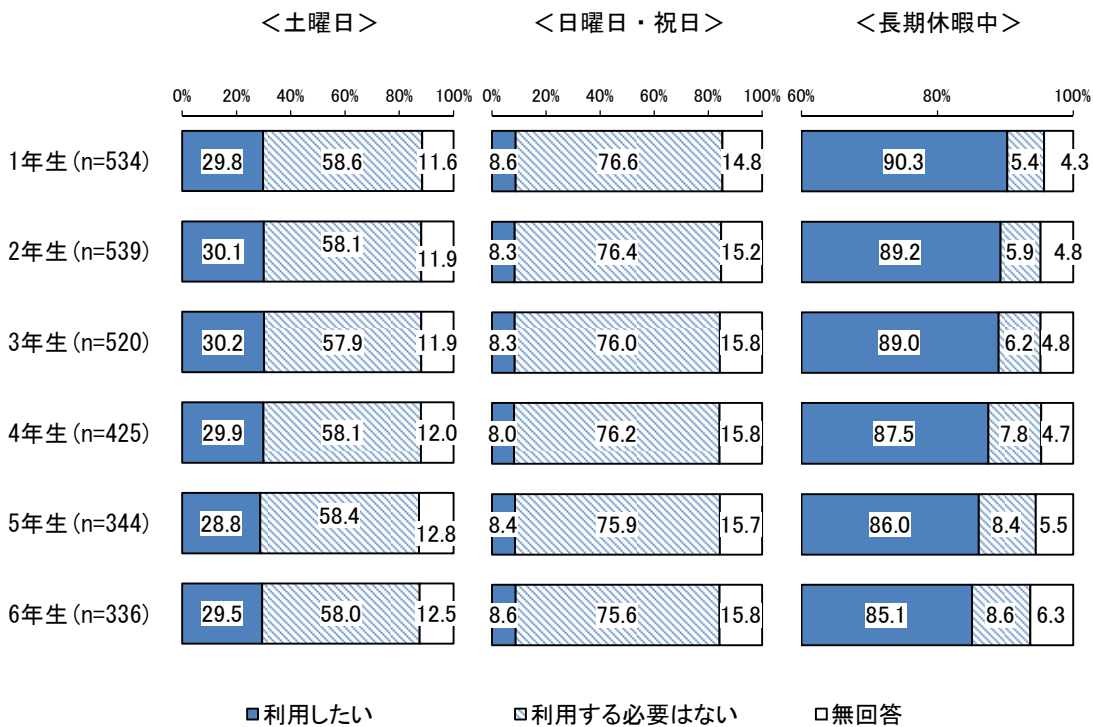


表 放課後児童クラブ（学童保育）の希望開始時刻（土曜日）

	回答者数 (n)	6時より前	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時以降	無回答
1年生	159	-	-	17.0	50.3	27.7	-	-	1.3	3.8
2年生	162	-	-	17.3	49.4	27.8	0.6	-	1.9	3.1
3年生	157	-	-	17.2	50.3	26.8	0.6	-	1.9	3.2
4年生	127	-	-	17.3	50.4	26.0	0.8	-	2.4	3.1
5年生	99	-	-	14.1	52.5	28.3	-	-	3.0	2.0
6年生	99	-	-	14.1	51.5	29.3	-	-	3.0	2.0

表 放課後児童クラブ（学童保育）の希望終了時刻（土曜日）

	回答者数 (n)	14時より前	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時以降	無回答
1年生	159	1.9	1.9	5.0	3.8	35.2	34.0	15.1	0.6	-	-	2.5
2年生	162	1.9	2.5	5.6	4.9	34.6	33.3	14.8	0.6	-	-	1.9
3年生	157	1.9	2.5	7.0	3.8	33.1	33.1	15.9	0.6	-	-	1.9
4年生	127	1.6	3.1	5.5	3.9	32.3	31.5	18.1	1.6	-	-	2.4
5年生	99	2.0	2.0	6.1	3.0	33.3	31.3	18.2	2.0	-	-	2.0
6年生	99	2.0	2.0	6.1	3.0	33.3	32.3	17.2	2.0	-	-	2.0

表 放課後児童クラブ（学童保育）の希望開始時刻（日曜日・祝日）

	回答者数 (n)	6時より前	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時以降	無回答
1年生	46	-	-	19.6	58.7	17.4	-	-	-	4.3
2年生	45	-	-	20.0	57.8	13.3	2.2	-	-	6.7
3年生	43	-	-	20.9	53.5	16.3	2.3	-	-	7.0
4年生	34	-	-	17.6	61.8	14.7	2.9	-	-	2.9
5年生	29	-	-	17.2	62.1	17.2	-	-	-	3.4
6年生	29	-	-	17.2	62.1	17.2	-	-	-	3.4

表 放課後児童クラブ（学童保育）の希望終了時刻（日曜日・祝日）

	回答者数 (n)	14時より前	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時以降	無回答
1年生	46	2.2	-	4.3	2.2	28.3	34.8	23.9	2.2	-	-	2.2
2年生	45	2.2	-	4.4	2.2	28.9	31.1	24.4	2.2	-	-	4.4
3年生	43	4.7	-	4.7	4.7	25.6	30.2	23.3	2.3	-	-	4.7
4年生	34	5.9	-	8.8	2.9	23.5	26.5	23.5	5.9	-	-	2.9
5年生	29	6.9	-	6.9	3.4	20.7	31.0	20.7	6.9	-	-	3.4
6年生	29	6.9	-	6.9	3.4	24.1	27.6	20.7	6.9	-	-	3.4

表 放課後児童クラブ（学童保育）の希望開始時刻（長期休暇中）

	回答者数 (n)	6時より前	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時以降	無回答
1年生	482	-	-	12.7	59.3	25.3	0.6	-	0.2	1.9
2年生	481	-	-	12.9	58.4	25.8	0.8	-	0.2	1.9
3年生	463	-	-	13.2	58.1	25.5	1.1	-	0.2	1.9
4年生	372	-	-	13.2	55.4	28.0	1.3	-	0.3	1.9
5年生	296	-	-	13.2	55.1	28.0	1.4	-	0.3	2.0
6年生	286	-	-	13.3	54.9	28.0	1.4	-	0.3	2.1

表 放課後児童クラブ（学童保育）の希望終了時刻（長期休暇中）

	回答者数 (n)	14時より前	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時以降	無回答
1年生	482	0.6	0.4	1.0	4.1	41.5	35.7	15.1	0.2	-	-	1.2
2年生	481	0.6	0.4	1.0	4.2	42.0	35.1	15.2	0.2	-	-	1.2
3年生	463	0.4	0.4	1.1	3.5	40.8	36.1	16.2	0.2	-	-	1.3
4年生	372	0.3	0.5	1.1	4.0	40.6	34.4	17.2	0.5	-	-	1.3
5年生	296	-	0.3	1.0	4.4	40.2	34.5	17.6	0.7	-	-	1.4
6年生	286	-	-	1.0	4.5	40.6	34.3	17.5	0.7	-	-	1.4

11. 幼稚園及び小中学校の規模について

(1) 市立の幼稚園・小中学校の小規模化に対する考え方

問28 少子化に伴い、市立の幼稚園及び小中学校の子ども数が減少しており、1学年1クラスの幼稚園及び小中学校があり、今後、小規模な幼稚園や小中学校が増加していくことが予想されます。市立の幼稚園及び小中学校が小規模化していくことについてどう思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

図 市立の幼稚園・小中学校の小規模化に対する考え方

市立の幼稚園・小中学校の小規模化に対する考え方をみると、『望ましい』（「望ましい」と「どちらかといえば望ましい」の合計）が29.2%、『望ましくない』（「望ましくない」と「どちらかといえば望ましくない」の合計）が41.5%となっており、『望ましくない』が約4割、『望ましい』が約3割、「わからない」が26.9%となっている。

子どもの年齢別では、1歳児は「わからない」の回答割合が他の年齢よりも高い分、『望ましくない』『望ましい』の回答割合が他の年齢よりやや低くなっている程度で年齢による顕著な違いはみられない。

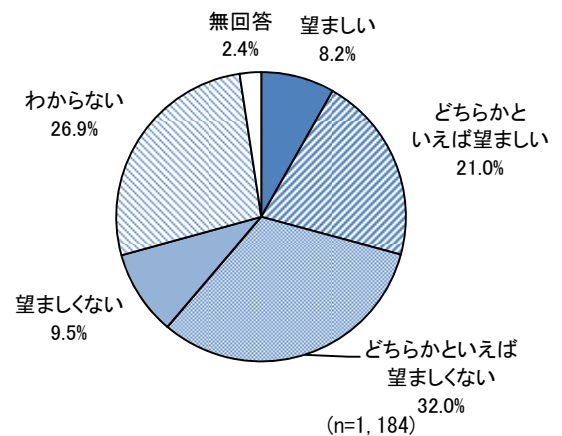
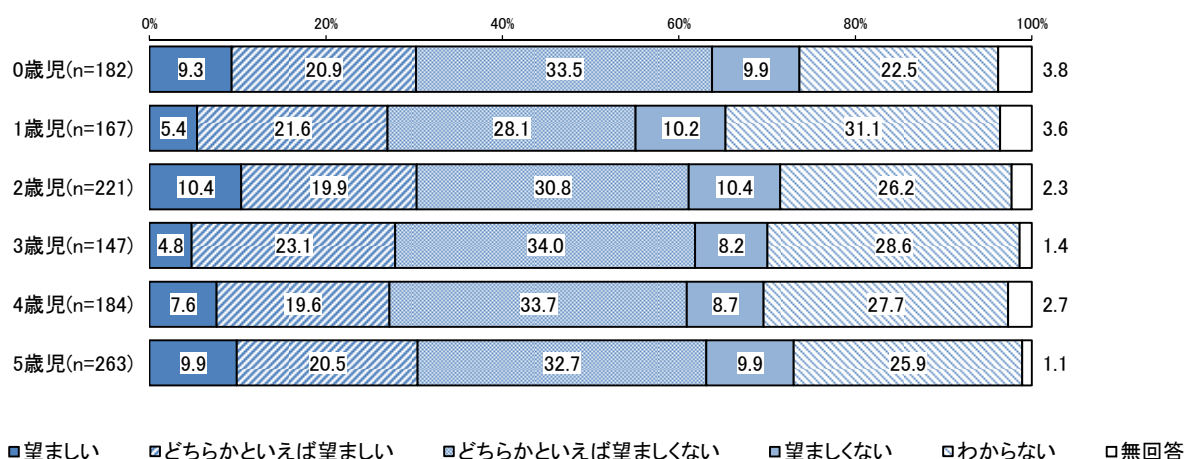


図 年齢別 市立の幼稚園・小中学校の小規模化に対する考え方

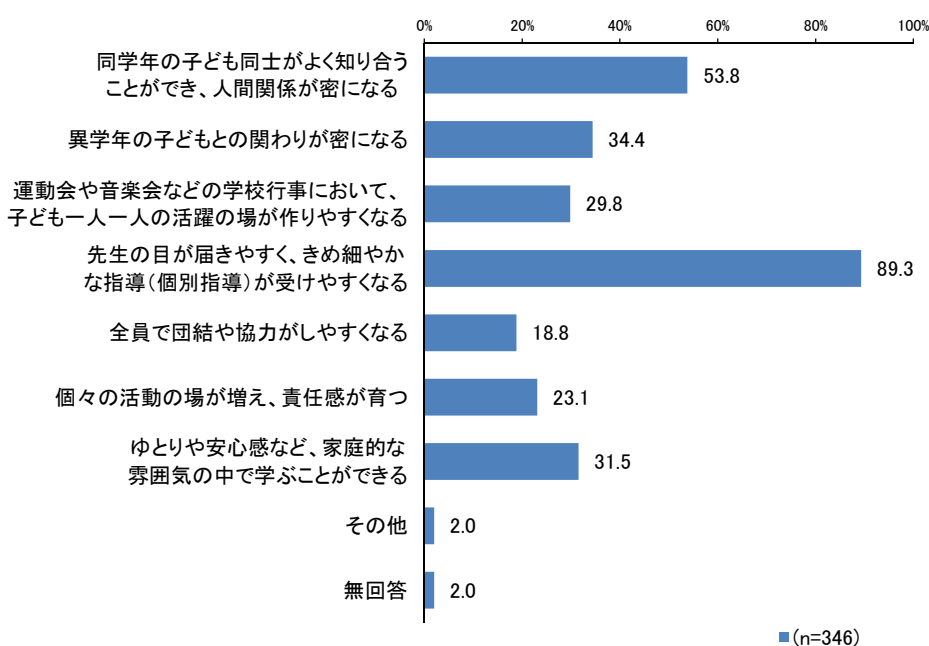


(2) 市立の幼稚園・小中学校の小規模化が望ましいと思う理由

問28-1 問28で「望ましい」または「どちらかといえば望ましい」に○をつけた方にうかがいます。その理由は何ですか。当てはまる番号のうち主なもの3つまでに○をつけてください。

市立の幼稚園・小中学校の小規模化が望ましいと思う理由をたずねると、「先生の目が届きやすく、きめ細やかな指導（個別指導）が受けやすくなる」が89.3%で最も高く、次いで「同学年の子ども同士がよく知り合うことができ、人間関係が密になる」が53.8%、「異学年の子どもとの関わりが密になる」が34.4%、「ゆとりや安心感など、家庭的な雰囲気の中で学ぶことができる」が31.5%となっている。

図 市立の幼稚園・小中学校の小規模化が望ましいと思う理由

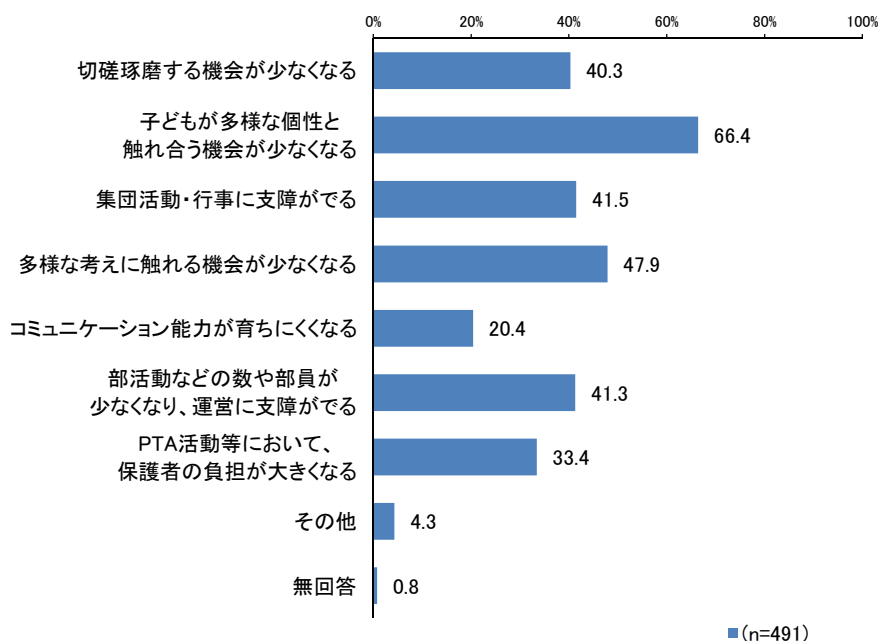


(3) 市立の幼稚園・小中学校の小規模化が望ましくないと思う理由

問28-2 問28で「どちらかといえば望ましくない」または「望ましくない」に○をつけた方にうかがいます。その理由は何ですか。当てはまる番号のうち主なものを3つまでに○をつけてください。

市立の幼稚園・小中学校の小規模化が望ましくないと思う理由をたずねると、「子どもが多様な個性と触れ合う機会が少なくなる」が66.4%で最も高く、次いで「多様な考えに触れる機会が少なくなる」が47.9%、「集団活動・行事に支障がでる」が41.5%、「部活動などの数や部員が少なくなり、運営に支障がでる」が41.3%、「切磋琢磨する機会が少なくなる」が40.3%となっている。

図 市立の幼稚園・小中学校の小規模化が望ましくないと思う理由



12. 子育て全般について

(1) 生駒市における子育ての環境や支援への満足度

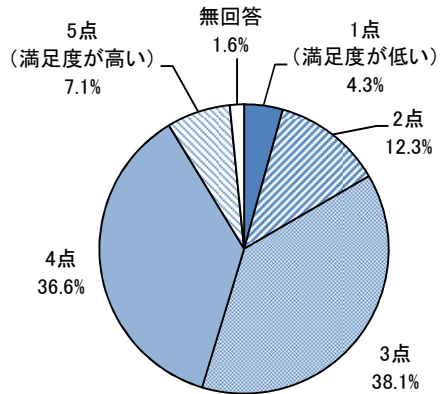
問29 生駒市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

図 生駒市における子育ての環境や支援への満足度

生駒市における子育ての環境や支援への満足度を5点満点でたずねたところ、「3点」が38.1%、「4点」が36.6%、「2点」が12.3%となっている。平均は3.30である。

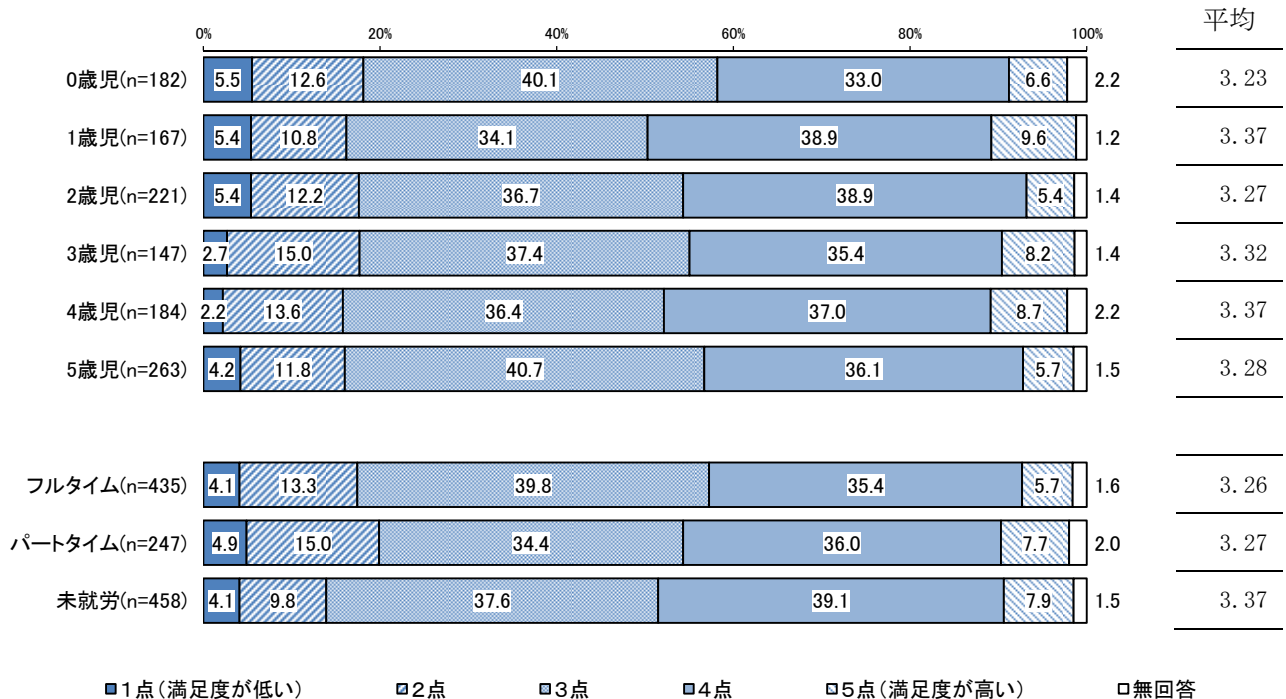
子どもの年齢別では、平均をみると1歳児と4歳児がやや高くなっている。

母親の就労状態別では、未就労の平均がやや高い。



(n=1,184)

図 年齢別、母親の就労状態別 生駒市における子育ての環境や支援への満足度



(2) 子育てに対する気持ち

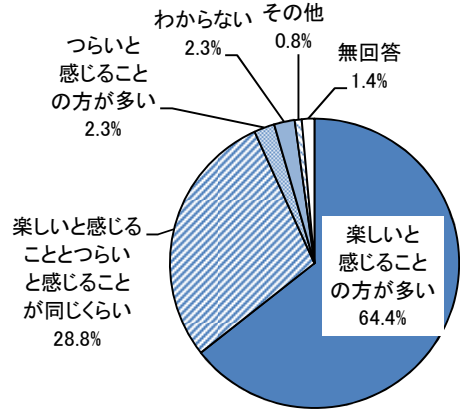
問30 子育てについて、今のお気持ちに一番近いものとして当てはまる番号1つに○をつけてください。

図 子育てに対する気持ち

子育てに対する今の気持ちをたずねると、「楽しいと感じることの方が多い」が64.4%で最も高く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が28.8%、「つらいと感じることの方が多い」と「わからない」がともに2.3%となっている。

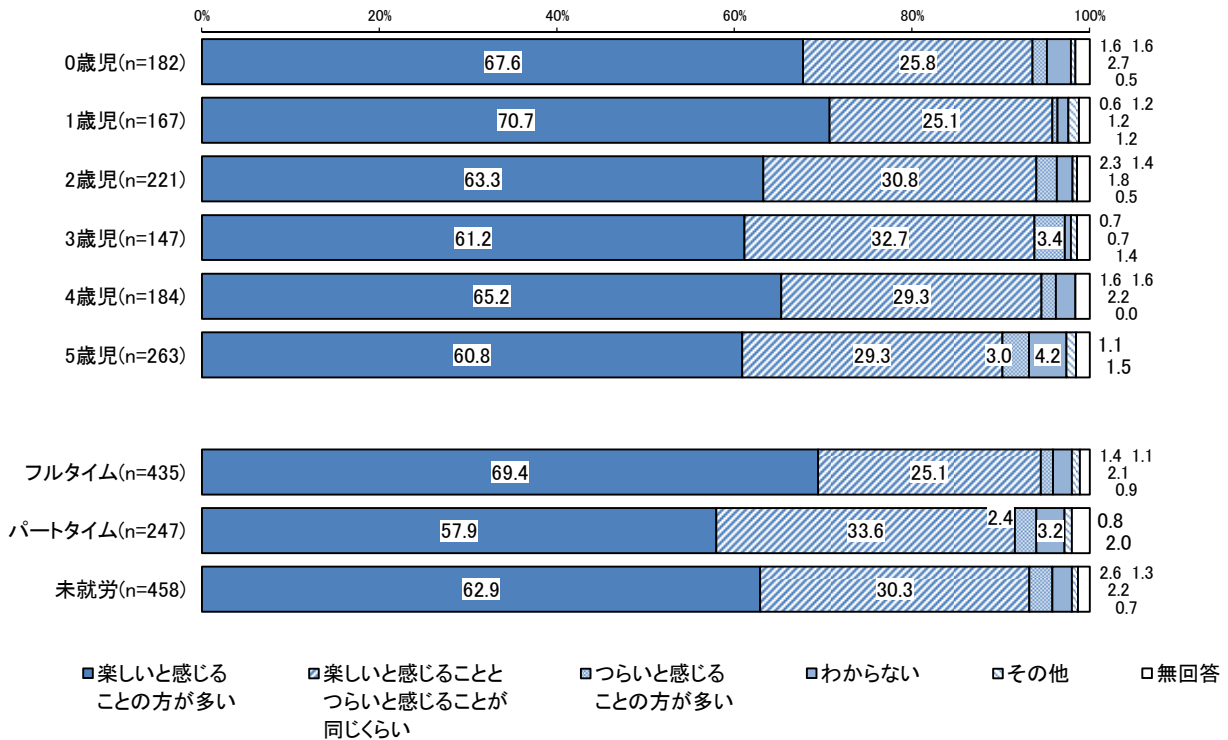
子どもの年齢別では、3歳児は「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」(32.7%)と「つらいと感じることの方が多い」(3.4%)の合計が36.1%で他の年齢に比べてやや高い。

母親の就労状態別では、パートタイムは「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」(33.6%)と「つらいと感じることの方が多い」(2.4%)の合計が36.0%で他の就労状態に比べてやや高い。



(n=1,184)

図 年齢別、母親の就労状態別 子育てに対する気持ち



Ⅲ. 小学生調査の結果

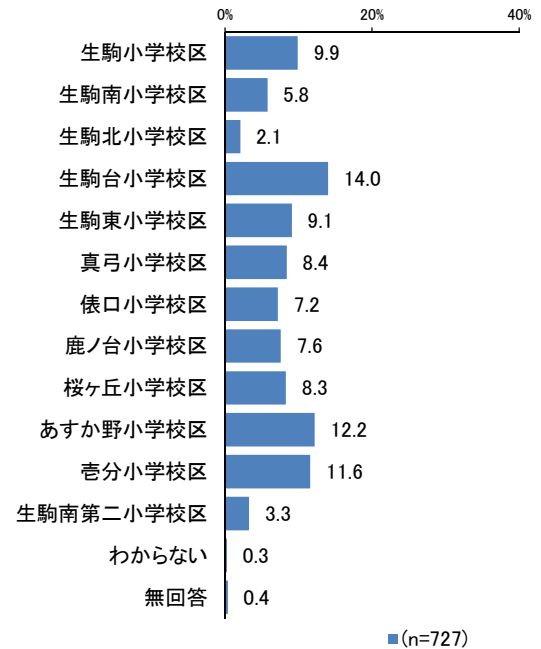
1. 住まいの地域について

(1) 住まいの地域

問1 お住まいの地域として当てはまる番号1つに○をつけてください。

図 住まいの地域

住まいの地域は、「生駒台小学校区」が14.0%で最も高く、次いで「あすか野小学校区」が12.2%、「壱分小学校区」が11.6%、「生駒小学校区」が9.9%、「生駒東小学校区」が9.1%、「真弓小学校区」が8.4%、「桜ヶ丘小学校区」が8.3%、「鹿ノ台小学校区」が7.6%、「俵口小学校区」が7.2%、「生駒南小学校区」が5.8%、「生駒南第二小学校区」が3.3%、「生駒北小学校区」が2.1%となっている。



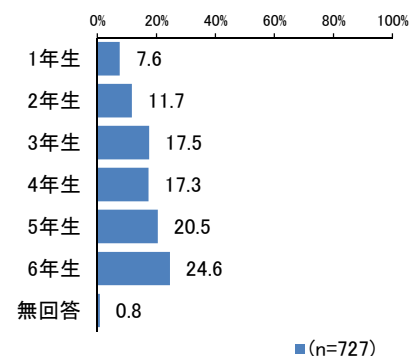
2. 子どもと家族の状況について

(1) 子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの生年月を()内に数字でご記入ください。

図 子どもの年齢

子どもの年齢は、「6年生」が24.6%で最も高く、次いで「5年生」が20.5%、「3年生」が17.5%、「4年生」が17.3%、「2年生」が11.7%、「1年生」が7.6%となっている。



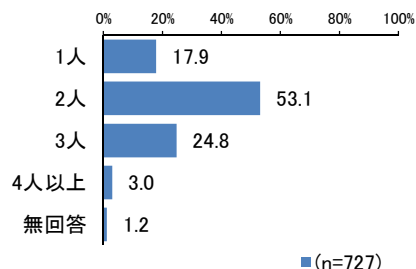
(2) きょうだいの人数と末子の年齢

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を（ ）内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月月をご記入ください。

■きょうだいの人数

きょうだいの人数は、「2人」が53.1%で最も高く、次いで「3人」が24.8%、「1人」が17.9%、「4人以上」が3.0%となっている。2人が5割強を占めている。

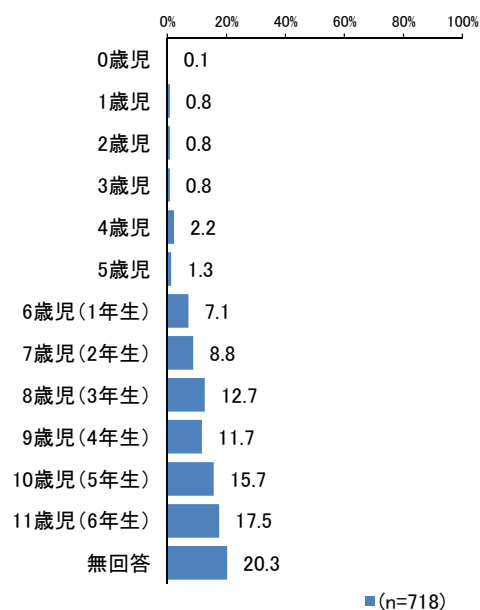
図 きょうだいの人数



■末子の年齢

2人以上の子どもがいる場合の末子の年齢は、「11歳児(6年生)」が17.5%で最も高く、次いで「10歳児(5年生)」が15.7%、「8歳児(3年生)」が12.7%、「9歳児(4年生)」が11.7%などとなっている。

図 末子の年齢

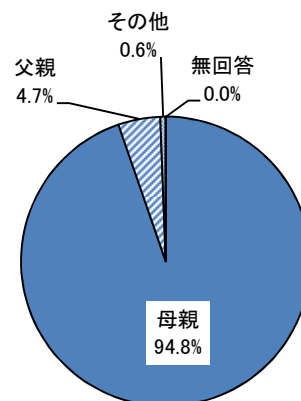


(3) 回答者の子どもとの関係

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

回答者の子どもとの関係は、「母親」が94.8%、「父親」が4.7%で、母親が9割以上となっている。

図 回答者の子どもとの関係



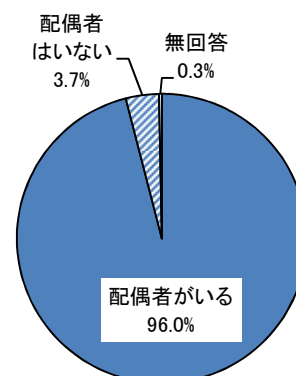
(n=727)

(4) 回答者の配偶者の有無

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶者についてお答えください。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

回答者の配偶者の有無をみると、「配偶者がいる」が96.0%、「配偶者はいない」が3.7%となっている。

図 回答者の配偶者の有無



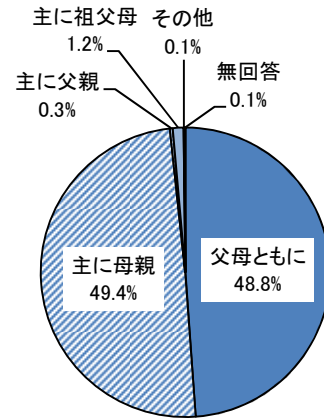
(n=727)

(5) 子どもの子育てを主に行っている人

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。
お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

子どもの子育てを主に行っている人は、「主に母親」が49.4%で最も高く、わずかの差で「父母ともに」が48.8%、「主に祖父母」が1.2%、「主に父親」が0.3%となっている。

図 子どもの子育てを主に行っている人



(n=727)

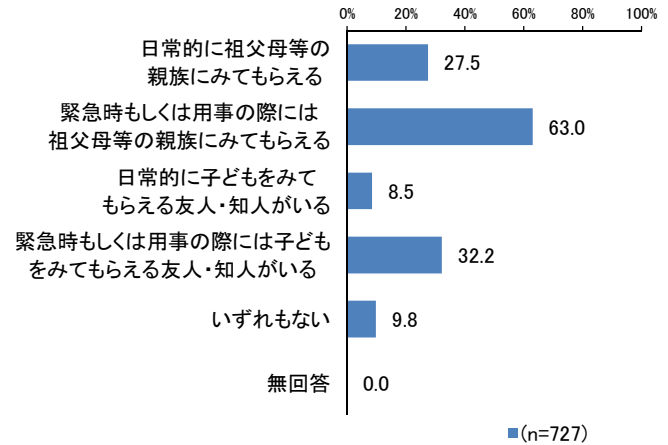
3. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

図 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

子どもをみてもらえる親族・知人の有無をたずねると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が63.0%で最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が32.2%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が27.5%となっている。「いずれもない」が9.8%となっている。

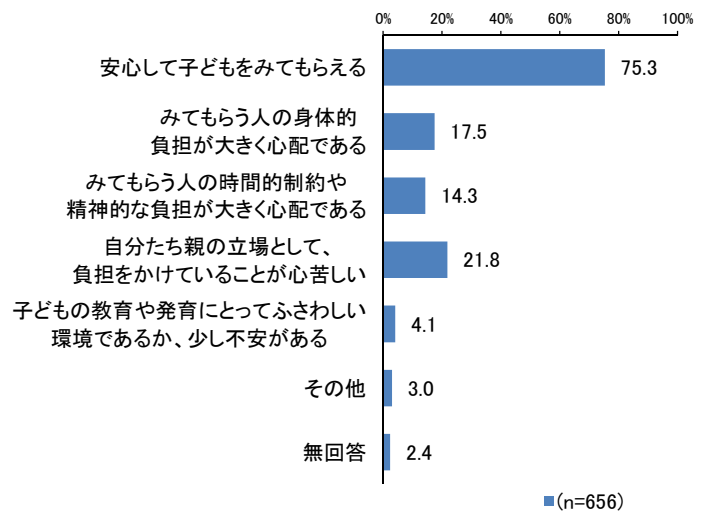


(2) 親族や友人・知人に子どもをみてもらっている状況

問7-1 問7で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族や友人・知人に宛名のお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

図 親族や友人・知人に子どもをみてもらっている状況

親族や友人・知人に子どもをみてもらっている状況をたずねると、「安心して子どもをみてもらえる」が75.3%で最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が21.8%、「みてもらう人の身体的負担が大きく心配である」が17.5%、「みてもらう人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である」が14.3%となっている。安心して子どもを預けている人が7割強、子どもを預けることに心配や不安を感じている人が1~2割という状況である。



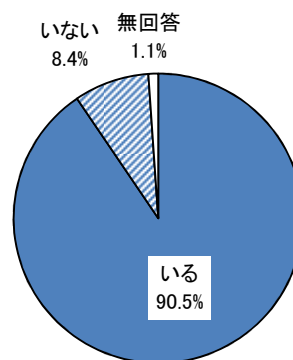
(3) 子どもの子育てについて気軽に相談できる人・場所の有無

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

図 子どもの子育てについて気軽に相談できる人の有無

■相談できる人

子どもの子育てについて気軽に相談できる人は、「いる」が90.5%、「いない」が8.4%となっている。

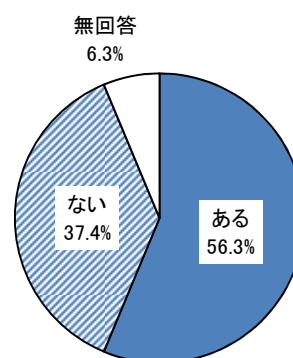


(n=727)

図 子どもの子育てについて気軽に相談できる場所の有無

■相談できる場所

子どもの子育てについて気軽に相談できる場所は、「ある」が56.3%、「ない」が37.4%となっており、4割近くが子育てを気軽に相談できる場所がないと答えている。



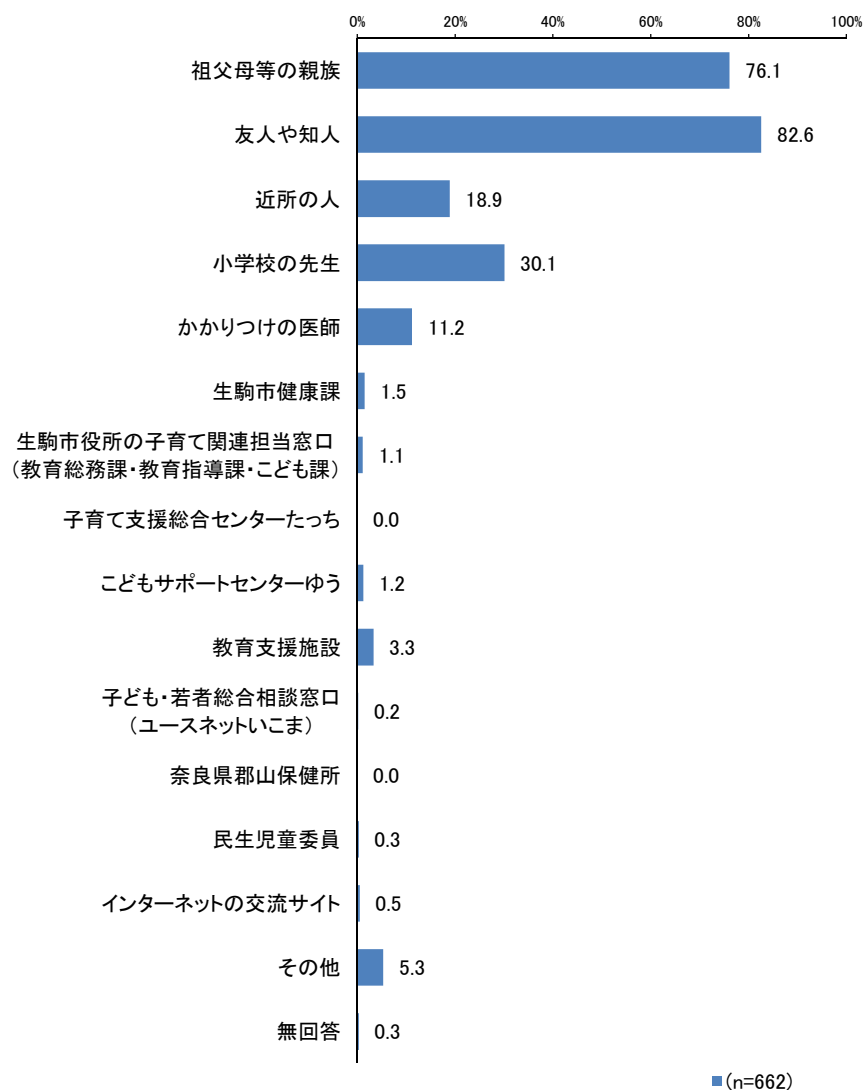
(n=727)

(4) 子どもの子育てについて気軽に相談できる人・場所

問8-1 問8で「相談できる人がいる」「相談できる場所がある」に○をつけた方にうかがいます。
 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもの子育てについて気軽に相談できる人・場所は、「友人や知人」が 82.6%で最も高く、次いで「祖父母等の親族」が 76.1%、「小学校の先生」が 30.1%となっている。公的機関の窓口などはいずれも 5%以下である。

図 子どもの子育てについて気軽に相談できる人・場所



4. 保護者の就労状況について

(1) 保護者の就労状況

問9 宛名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。①～⑧の項目ごとに当てはまる番号1つに○をつけてください。③④は（ ）内に数字でご記入ください。※母子家庭・父子家庭の場合は、いずれかにお答えください。※保護者が父母でない場合は、主にお子さんをみていらっしゃる方についてお答えください。

■ 就労の有無

母親の就労の有無は、「就労している（育休等を含む）」が71.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が23.7%、「就労したことがない」が3.2%、「学生（専門学校生・大学生・大学院生等）」が0.1%となっている。

父親の就労の有無は、「就労している（育休等を含む）」が97.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.4%となっている。

子どもの年齢別に母親の就労の有無をみると、1年生は「就労している」が、2年生以上に比べて10ポイント以上低い。

図 保護者の就労の有無

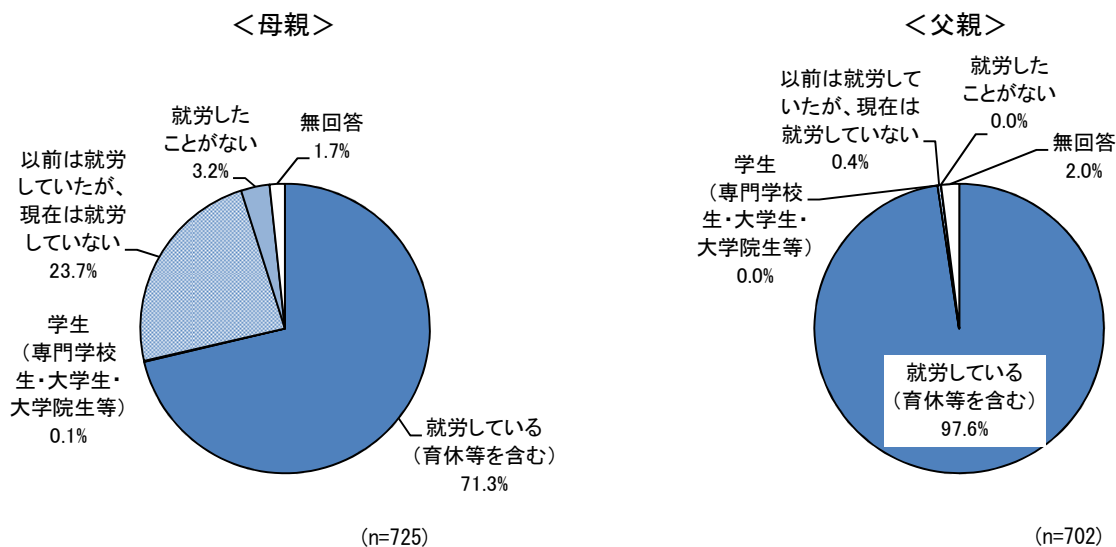
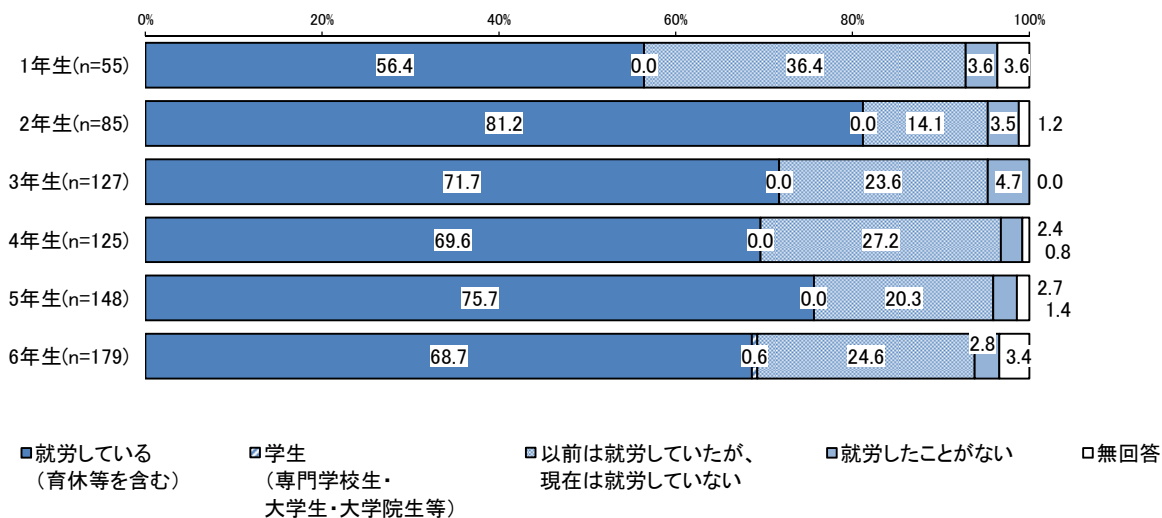


図 年齢別 母親の就労の有無

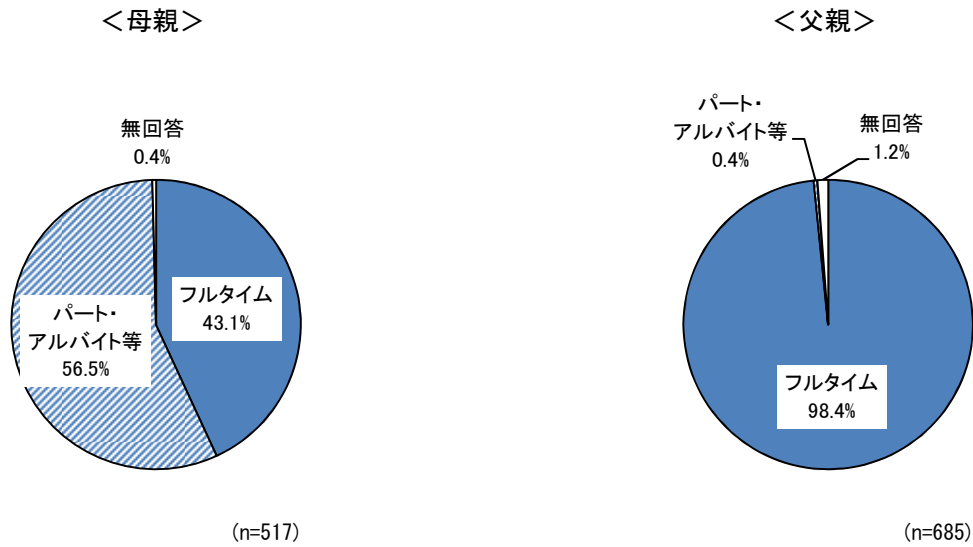


■就労形態

母親の就労形態は、「フルタイム」が 43.1%、「パート・アルバイト等」が 56.5%となっている。パート・アルバイト等が5割を超えている。

父親の就労形態は、「フルタイム」が 98.4%、「パート・アルバイト等」が 0.4%となっている。

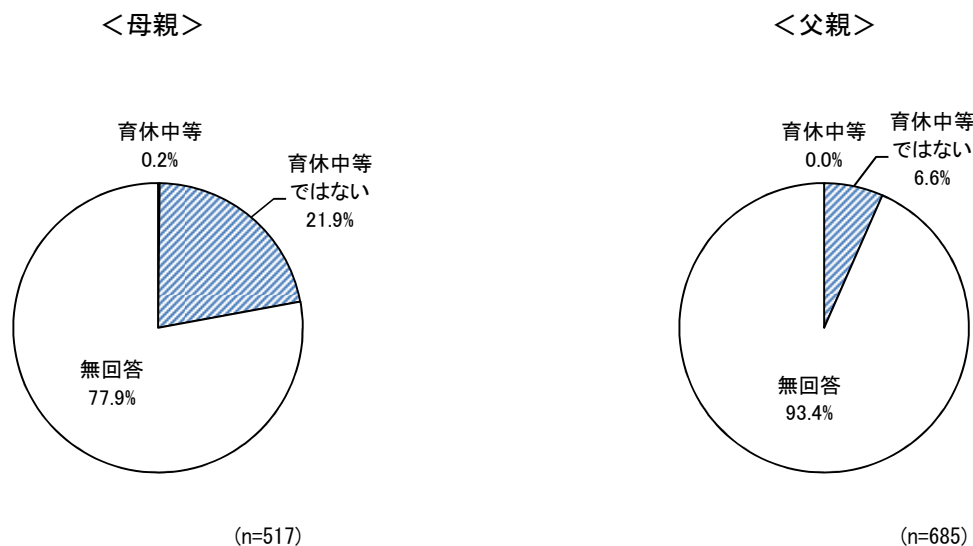
図 保護者の就労形態



■就労形態／育休有無

母親の育休の有無は、「育休中等」が 0.2%、「育休中等ではない」が 21.9%となっている。父親の育休の有無は、「育休中等」が 0.0%、「育休中等ではない」が 6.6%となっている。

図 保護者の就労形態／育休有無

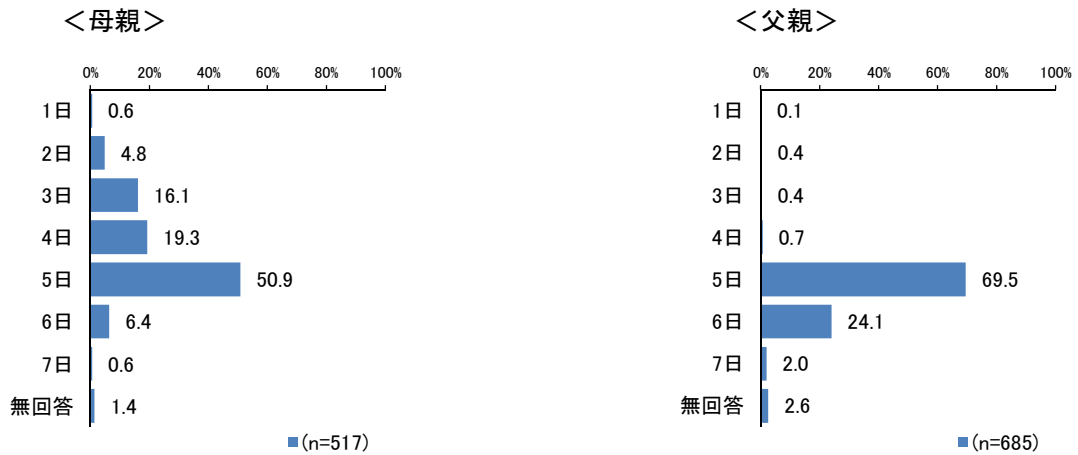


■1週間当たりの就労日数

母親の1週間の就労日数は、「5日」が50.9%で、「4日」が19.3%、「3日」が16.1%となっている。

父親の1週間の就労日数は、「5日」が69.5%、「6日」が24.1%、「7日」が2.0%となっている。

図 保護者の1週間当たりの就労日数

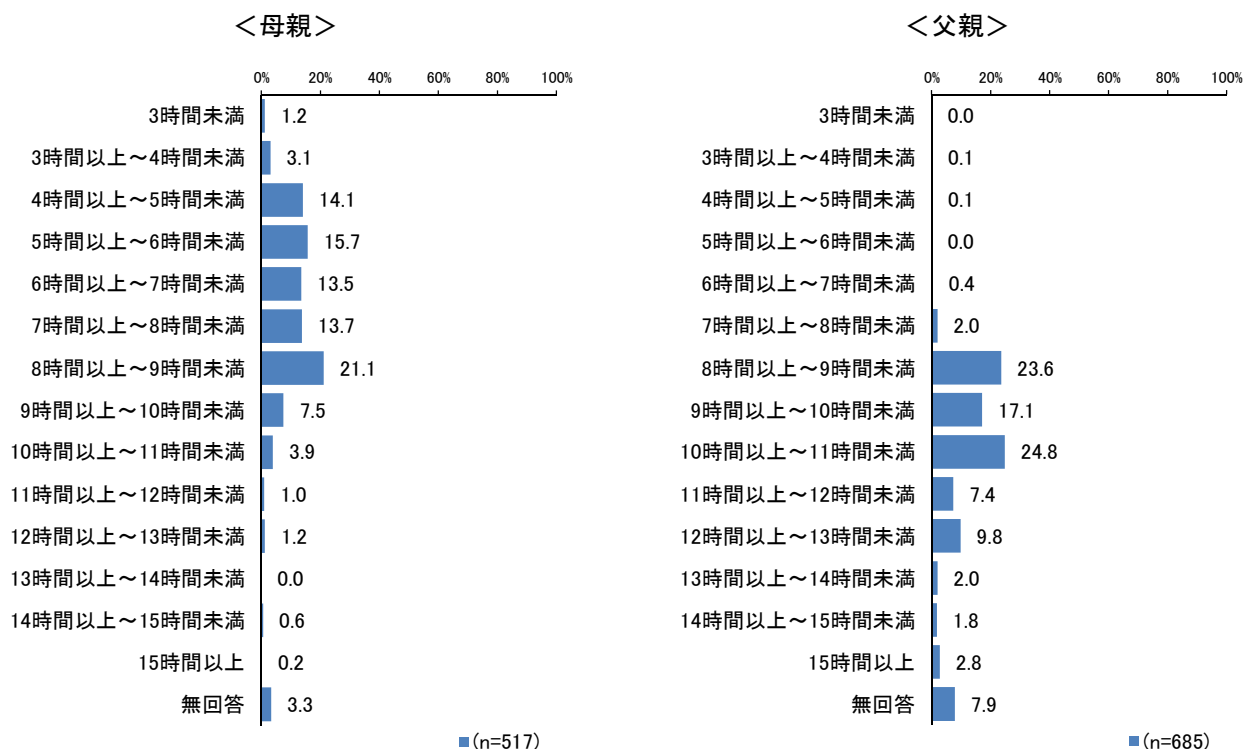


■1日当たりの残業時間を含む就労時間

母親の1日当たりの残業時間を含む就労時間は、「8時間以上～9時間未満」が21.1%で最も高く、次いで「5時間以上～6時間未満」が15.7%、「4時間以上～5時間未満」が14.1%、「7時間以上～8時間未満」が13.7%、「6時間以上～7時間未満」が13.5%、「9時間以上～10時間未満」が7.5%、10時間以上が6.9%となっている。

父親の1日当たりの残業時間を含む就労時間は、「10時間以上～11時間未満」が24.8%で最も高く、次いで「8時間以上～9時間未満」が23.6%、「9時間以上～10時間未満」が17.1%、「12時間以上～13時間未満」が9.8%、「11時間以上～12時間未満」が7.4%、13時間以上が6.6%、4時間未満が0.1%となっている。

図 保護者の1日当たりの残業時間を含む就労時間

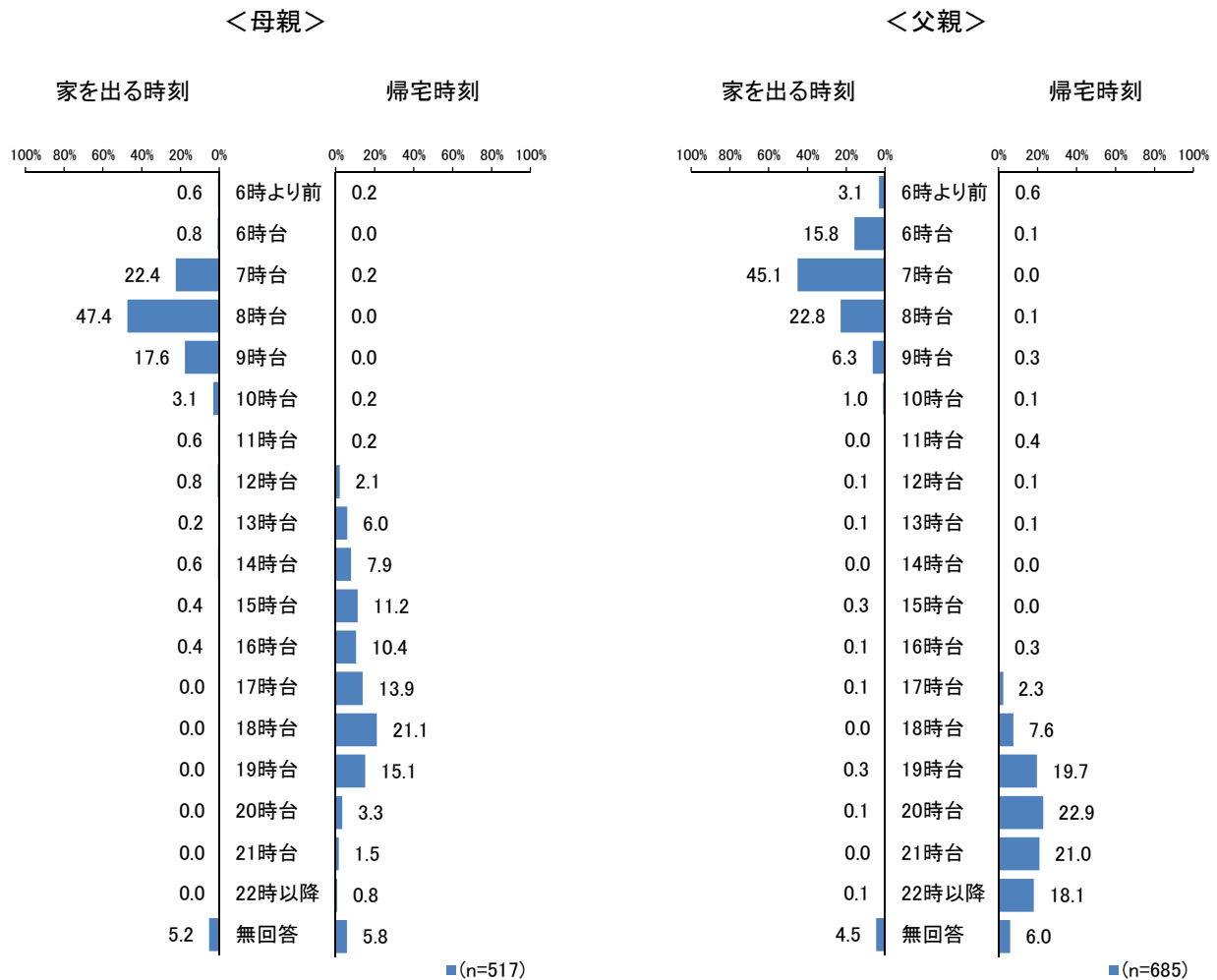


■就労時間帯

母親の家を出る時刻は、「8時台」が47.4%で最も高く、次いで「7時台」が22.4%、「9時台」が17.6%となっている。帰宅時刻は、「18時台」が21.1%で最も高く、次いで「19時台」が15.1%、「17時台」が13.9%、「15時台」が11.2%、「16時台」が10.4%、20時以降が5.6%となっている。

父親の家を出る時刻は、「7時台」が45.1%で最も高く、次いで「8時台」が22.8%、「6時台」が15.8%、「9時台」が6.3%、「6時より前」が3.1%となっている。帰宅時刻は、「20時台」が22.9%で最も高く、次いで「21時台」が21.0%、「19時台」が19.7%、「22時以降」が18.1%となっている。

図 保護者の就労時間帯

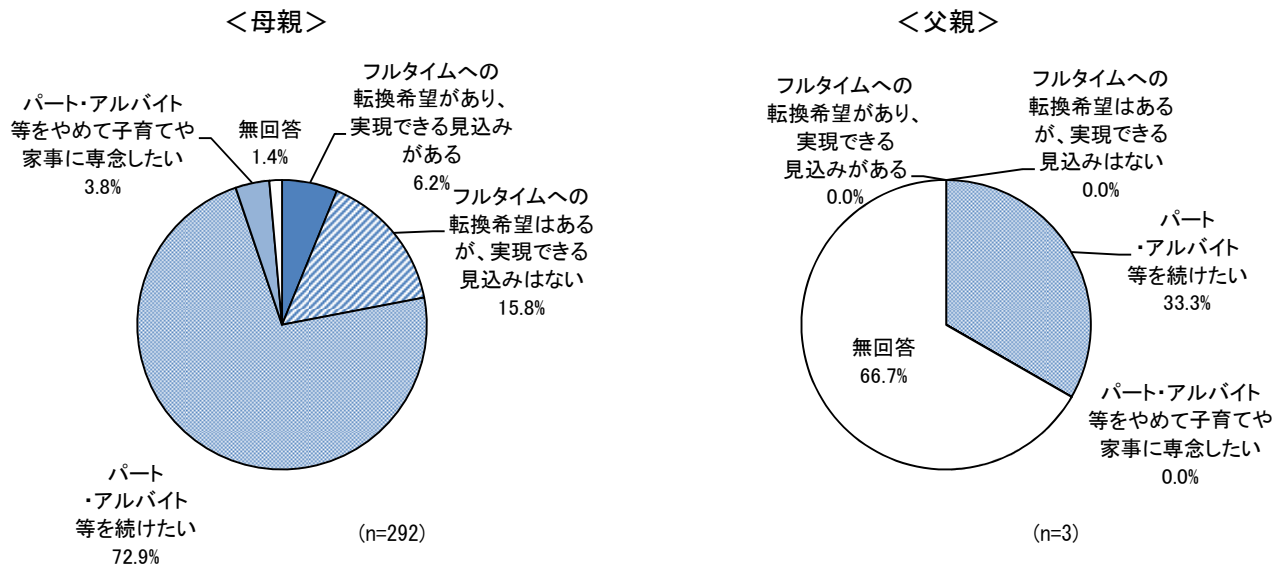


■パートタイムからの転換意向

パート・アルバイト等で就労している母親に転換意向をたずねると、「パート・アルバイト等続けたい」が72.9%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が15.8%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が6.2%、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が3.8%となっている。

パート・アルバイト等で就労している父親に転換意向をたずねると、「パート・アルバイト等続けたい」が1人となっている。

図 パートタイムで働く保護者の転換意向



■就労（修学）意向

就労していない母親に就労（修学）意向をたずねると、「就労又は修学したい」が65.3%、「就労又は修学したくない」が25.5%となっている。

就労していない父親に就労（修学）意向をたずねると、「就労又は修学したくない」が1人となっている。

図 働いていない保護者の就労（修学）意向

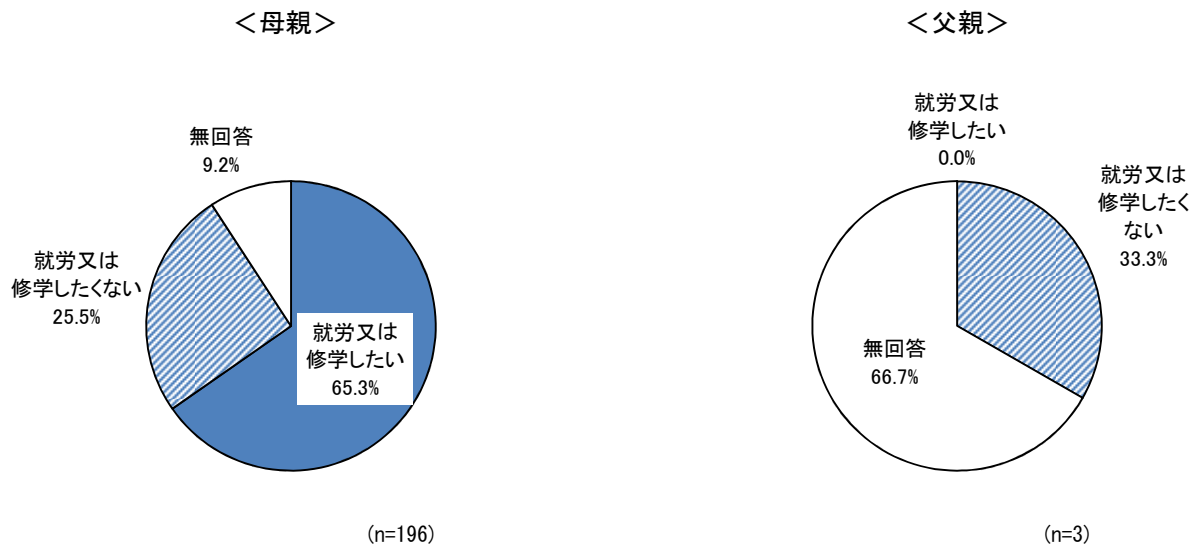


図 就労（修学）を希望する保護者が希望する就労（修学）形態

<母親>

■希望の就労（修学）形態

就労（修学）意向のある母親の希望の就労（修学）形態は、「パート・アルバイト等（フルタイム以外での就労）」が90.6%と9割を超えており、「フルタイム」が3.9%、「専門学校生・大学生・大学院生等」が1.6%となっている。

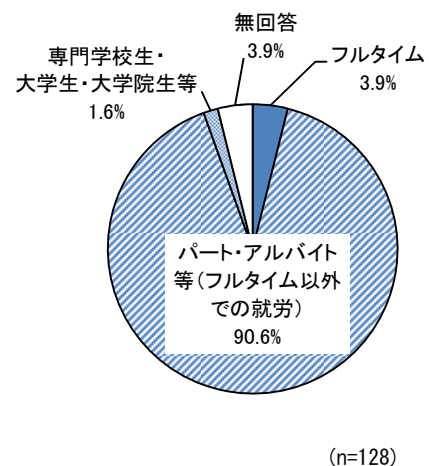


図 就労（修学）を希望する保護者が希望する就労（修学）時期
<母親>

■希望の就労（修学）時期

就労又は修学希望のある母親の希望の就労（修学）時期は、「1年より先、一番下の子どもが（ 歳）になった頃」が51.6%、「すぐにでも、もしくは1年以内」が43.0%となっている。

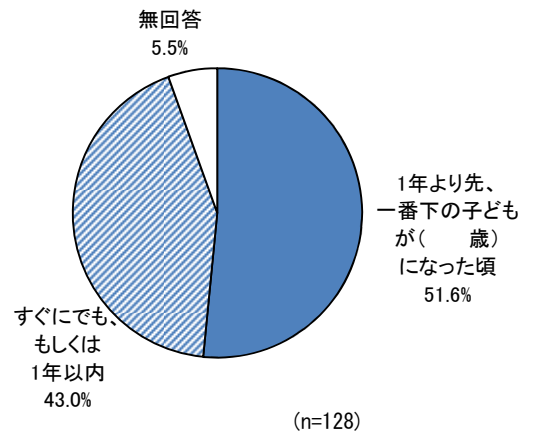
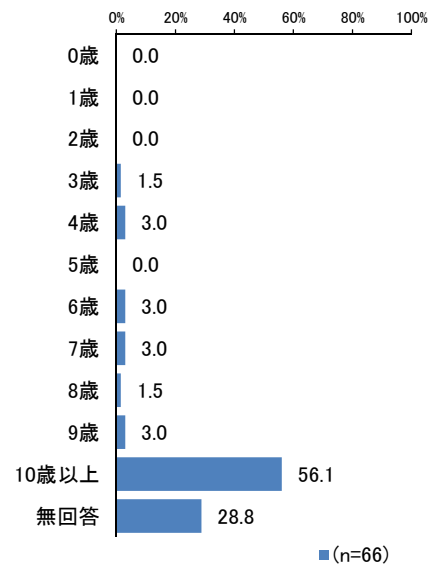


図 就労（修学）を希望する保護者が希望する就労（修学）時期の末子の年齢
<母親>

「1年より先、一番下の子どもが（ 歳）になった頃」と回答した母親の希望の時期をみると、「10歳以上」が56.1%で最も高く5割を超えている。次いで、「4歳」、「6歳」、「7歳」、「9歳」がいずれも3.0%、「3歳」と「8歳」がともに1.5%となっている。



5. 放課後の過ごし方について

(1) 現在の放課後の過ごし方

問10 宛名のお子さんの現在の平日の放課後（小学校終了後）の過ごし方で一番多いものについて、時間帯ごとに当てはまるものを下の枠内の選択肢の中からそれぞれ1つ選んで表に番号をご記入ください。

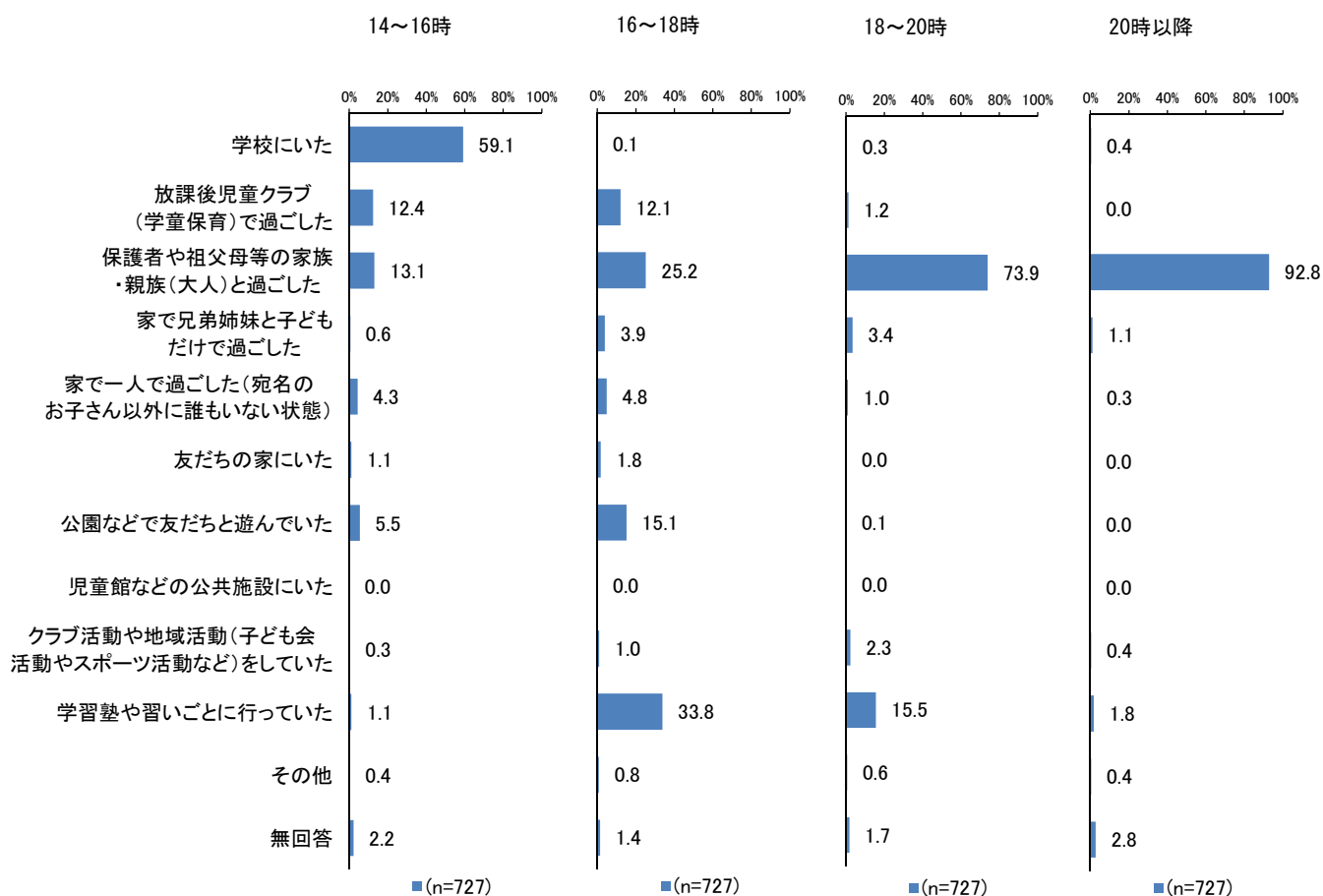
現在の放課後の過ごし方は、14時～16時では、「学校にいた」が59.1%で最も高く、次いで「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごした」が13.1%、「放課後児童クラブ（学童保育）で過ごした」が12.4%となっている。

16時～18時では、「学習塾や習いごとに行っていた」が33.8%で最も高く、次いで「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごした」が25.2%、「公園などで友だちと遊んでいた」が15.1%、「放課後児童クラブ（学童保育）で過ごした」が12.1%となっている。

18～20時では、「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごした」が73.9%で最も高く、次いで「学習塾や習いごとに行っていた」が15.5%となっている。

20時以降では、「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごした」が92.8%を占めている。

図 現在の放課後の過ごし方



(2) 希望する放課後の過ごし方

問11 宛名のお子さんについて、平日の放課後（小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたかった・過ごさせたいと思いますか。学年別に、それぞれ希望する1週当たりのおおよその日数を数字でご記入ください。「放課後児童クラブ（学童保育）」については、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は、例：18時のように24時間制でご記入ください。
※宛名のお子さんが設問の学年に当てはまらない場合も「希望」としてご記入ください。

平日の放課後に希望する過ごし方は、就学前児童の結果と同様の傾向がみられている。

「自宅」で過ごさせたい（1週当たり1日以上）割合は、学年による大きな違いはみられないが、「自宅」で過ごさせたい場合の週当たり平均日数は、高学年になるほど少なくなる傾向である。

「学習塾や習いごと」は、過ごさせたい（1週当たり1日以上）割合、過ごさせたい場合の週当たり平均日数ともに高学年になるほど割合が高くなり、日数が多くなる傾向である。

「放課後児童クラブ（学童保育）」は、逆に、高学年になるほど過ごさせたい（1週当たり1日以上）割合が低くなり、過ごさせたい場合の週当たり平均日数が少なくなる傾向である。

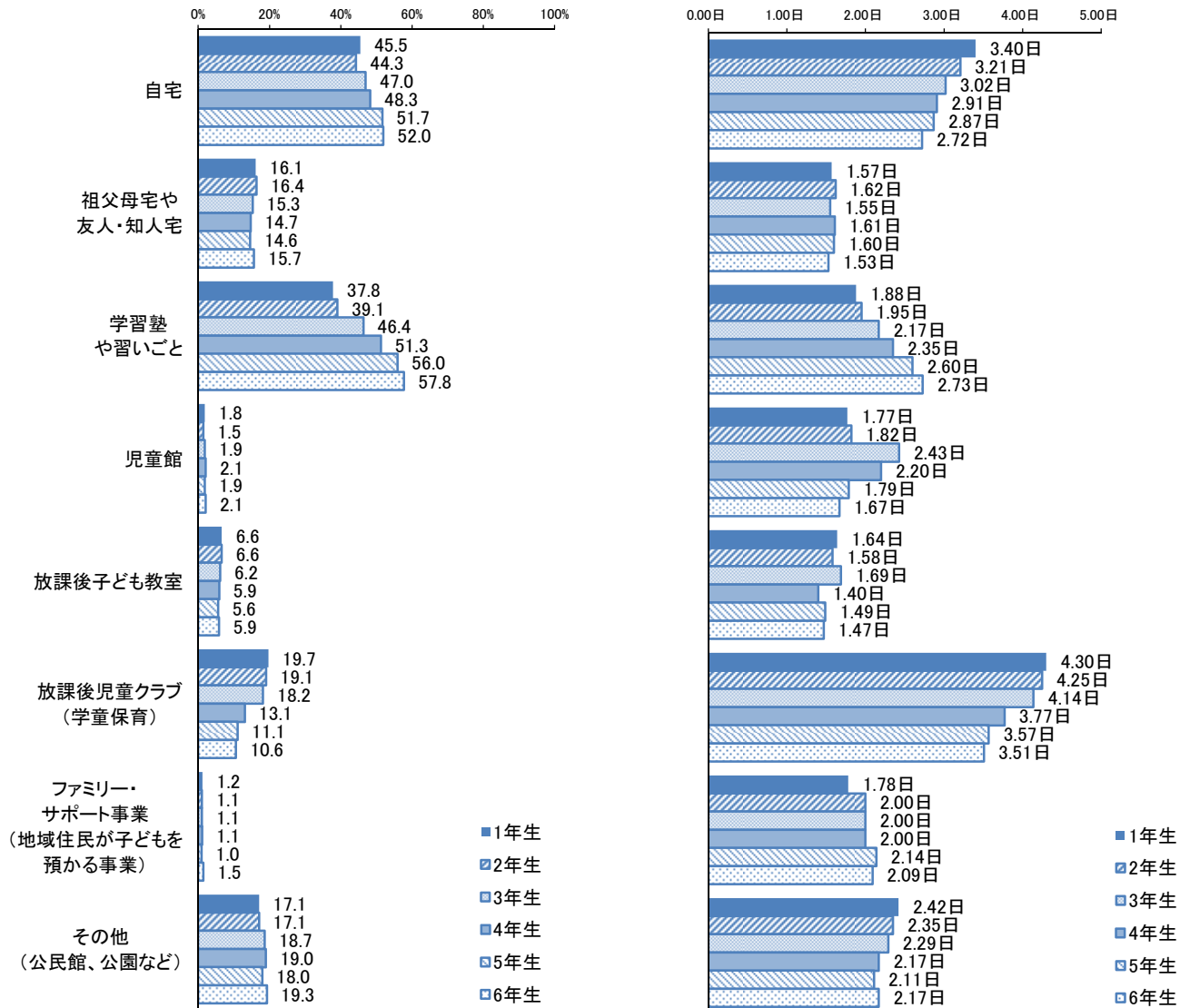
就学前児童の結果と異なる点は、「学習塾や習いごと」（就学前児童調査では「習いごと（ピアノ教室、スイミング、学習塾など）」）「放課後児童クラブ（学童保育）」で過ごさせたい（1週当たり1日以上）と回答する割合が、小学生の方が低いことである。

子どもの年齢別に希望終了時刻をみると、いずれの学年も「17時台」が最も高い。次いで「18時台」「19時台」となっている。「18時台」「19時台」を希望する割合は、高学年よりも低学年の方が高くなっている。

図 希望する放課後の過ごし方

<過ごさせたい(1週当たり1日以上)割合>

<過ごさせたい場合の週当たり平均日数>



(n=727)

表 放課後児童クラブ(学童保育)の希望終了時刻

	回答者数 (n)	14時より前	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時以降	無回答
1年生	143	-	-	-	4.2	58.7	19.6	14.7	1.4	-	-	1.4
2年生	139	-	-	-	2.9	61.9	19.4	13.7	1.4	-	-	0.7
3年生	132	-	-	-	0.8	63.6	19.7	13.6	1.5	-	-	0.8
4年生	95	-	-	-	1.1	69.5	15.8	10.5	2.1	-	-	1.1
5年生	81	-	-	-	1.2	75.3	14.8	6.2	1.2	-	-	1.2
6年生	77	-	-	-	1.3	76.6	11.7	7.8	1.3	-	-	1.3

(3) 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の学童保育の利用意向

問12 問11で「放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期休暇中に放課後児童クラブ（学童保育）の利用を希望しますか。それぞれについて当てはまる番号の欄に○をつけてください。また、「利用したい」に○をつけた方は利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は、例：18時のように24時間制でご記入ください。

平日の放課後の過ごし方で「放課後児童クラブ（学童保育）」を選んだ人の土曜日と日曜日・祝日、長期休暇中それぞれの利用希望をみると、就学前児童の結果と同様の傾向がみられている。

学年にかかわらず長期休暇中はほとんどの人が希望しており、土曜日、日曜日・祝日の希望は低い。長期休暇中の希望割合は学年による違いはほとんどみられないが、土曜日、日曜日・祝日は低学年は高学年よりも希望する割合がやや高くなっている。

それぞれの利用希望時間では、土曜日、長期休暇中とも開始時刻は「8時台」が6～7割を占めている。（日曜日・祝日は回答者が少ないためコメントは省略する）終了時刻は、土曜日と長期休暇中は「17時台」「18時台」を合わせて6割～8割となっている。

図 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の学童保育の利用意向

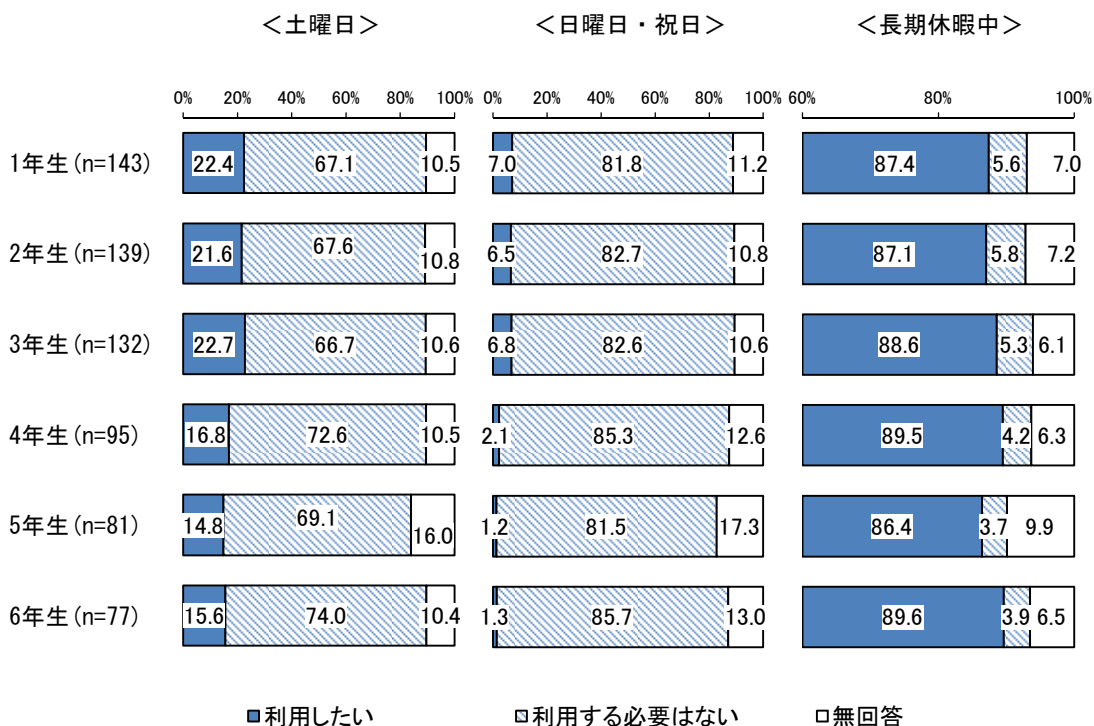


表 放課後児童クラブ（学童保育）の希望開始時刻（土曜日）

	回答者数 (n)	6時より前	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時以降	無回答
1年生	32	-	-	3.1	62.5	31.3	3.1	-	-	-
2年生	30	-	-	-	66.7	33.3	-	-	-	-
3年生	30	-	-	-	63.3	30.0	3.3	-	3.3	-
4年生	16	-	-	-	56.3	31.3	12.5	-	-	-
5年生	12	-	-	-	50.0	33.3	16.7	-	-	-
6年生	12	-	-	-	58.3	25.0	16.7	-	-	-

表 放課後児童クラブ（学童保育）の希望終了時刻（土曜日）

	回答者数 (n)	14時より前	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時以降	無回答
1年生	32	-	3.1	6.3	6.3	46.9	28.1	6.3	3.1	-	-	-
2年生	30	-	3.3	3.3	6.7	40.0	36.7	6.7	3.3	-	-	-
3年生	30	-	3.3	10.0	6.7	36.7	33.3	6.7	3.3	-	-	-
4年生	16	-	-	18.8	18.8	37.5	18.8	6.3	-	-	-	-
5年生	12	-	-	16.7	16.7	33.3	25.0	8.3	-	-	-	-
6年生	12	-	-	25.0	8.3	33.3	25.0	8.3	-	-	-	-

表 放課後児童クラブ（学童保育）の希望開始時刻（日曜日・祝日）

	回答者数 (n)	6時より前	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時以降	無回答
1年生	10	-	-	-	70.0	20.0	10.0	-	-	-
2年生	9	-	-	-	77.8	22.2	-	-	-	-
3年生	9	-	-	-	77.8	11.1	11.1	-	-	-
4年生	2	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-
5年生	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
6年生	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-

表 放課後児童クラブ（学童保育）の希望終了時刻（日曜日・祝日）

	回答者数 (n)	14時より前	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時以降	無回答
1年生	10	-	-	20.0	-	40.0	30.0	-	10.0	-	-	-
2年生	9	-	-	11.1	-	44.4	33.3	-	11.1	-	-	-
3年生	9	-	-	22.2	-	44.4	22.2	-	11.1	-	-	-
4年生	2	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
5年生	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
6年生	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

表 放課後児童クラブ（学童保育）の希望開始時刻（長期休暇中）

	回答者数 (n)	6時 より前	6時 台	7時 台	8時 台	9時 台	10時 台	11時 台	12時 以降	無回答
1年生	125	-	-	7.2	66.4	24.8	0.8	-	0.8	-
2年生	121	-	-	5.8	66.9	26.4	-	-	0.8	-
3年生	117	-	-	4.3	68.4	25.6	0.9	-	0.9	-
4年生	85	-	-	5.9	70.6	23.5	-	-	-	-
5年生	70	-	-	7.1	71.4	21.4	-	-	-	-
6年生	69	-	-	4.3	75.4	20.3	-	-	-	-

表 放課後児童クラブ（学童保育）の希望終了時刻（長期休暇中）

	回答者数 (n)	14時 より前	14時 台	15時 台	16時 台	17時 台	18時 台	19時 台	20時 台	21時 台	22時 以降	無回答
1年生	125	0.8	1.6	2.4	1.6	52.0	24.8	16.0	0.8	-	-	-
2年生	121	0.8	-	1.7	1.7	55.4	25.6	14.0	0.8	-	-	-
3年生	117	-	-	1.7	2.6	60.7	22.2	12.0	0.9	-	-	-
4年生	85	-	-	4.7	3.5	63.5	15.3	12.9	-	-	-	-
5年生	70	1.4	-	1.4	1.4	71.4	15.7	8.6	-	-	-	-
6年生	69	1.4	-	1.4	1.4	71.0	14.5	10.1	-	-	-	-

6. 病気の際の対応について

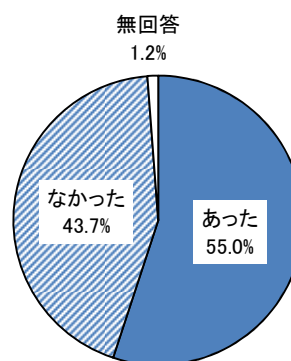
(1) 病気やけがで学校等を休んだ経験

問13 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで教育・保育事業が利用できなかったこと（学校を休んだり、放課後児童クラブ（学童保育）が利用できなかったこと）はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

図 病気やけがで学校等を休んだ経験

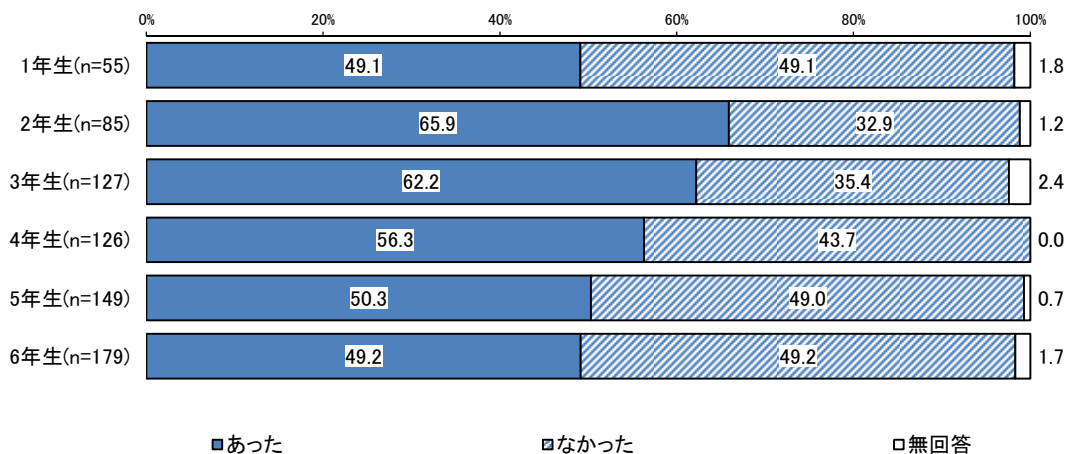
子どもが病気やけがで学校等を休んだ経験の有無をたずねると、「あった」が55.0%、「なかった」が43.7%となっている。

子どもの年齢別にみると、1年生と6年生は「あった」と「なかった」が同じ割合である。その他の学年は「あった」の方が高く、特に2年生は「あった」が65.9%で他の学年よりも高くなっている。



(n=727)

図 年齢別 病気やけがで学校等を休んだ経験



(2) 病気やけがで学校等を休んだ時の対応

問13-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。

子どもが病気やけがで学校等を休んだ時の対応をたずねると、「休みをとった」が60.5%で最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が34.0%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が24.8%となっている。

「休みをとった」の内訳は、「父親がとった」が20.7%、「母親がとった」が95.9%となっている。

対処方法別の対応日数をみると、就学前児童と同様に、父親が休みをとった時よりも母親が休みをとった時の方が日数が多い傾向である。

図 病気やけがで学校等を休んだ時の対応

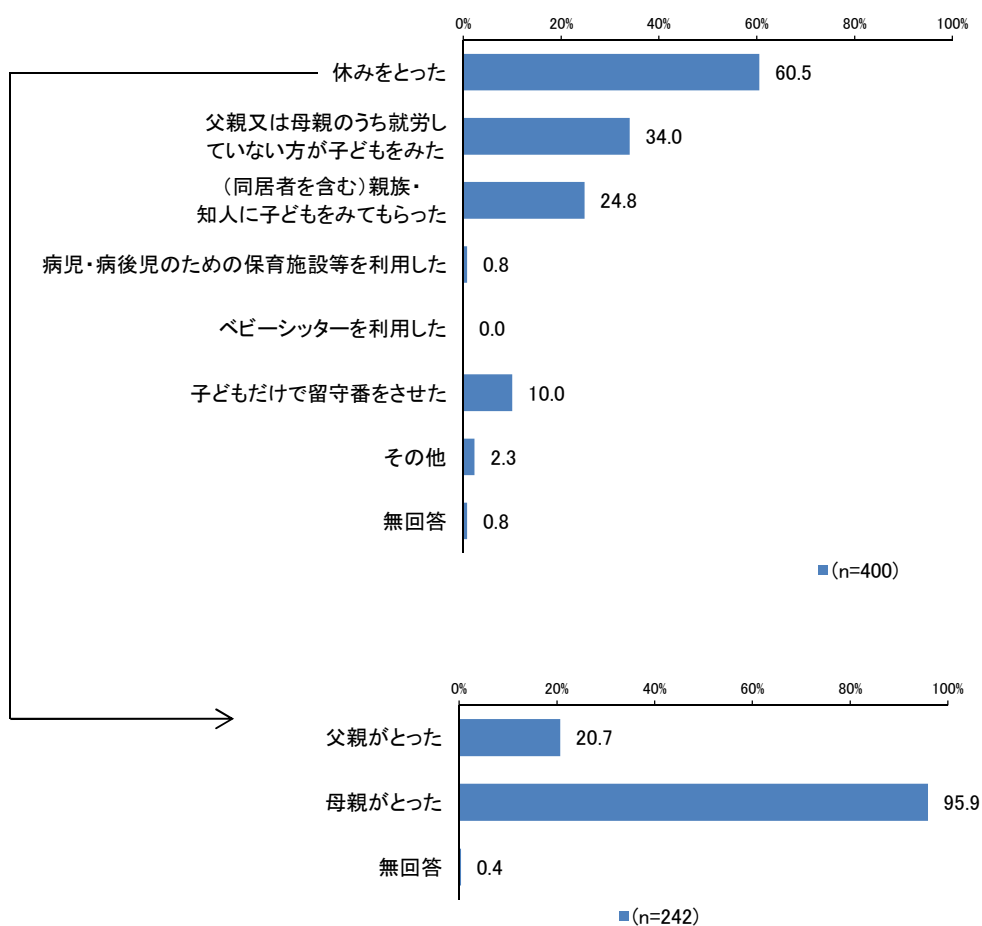
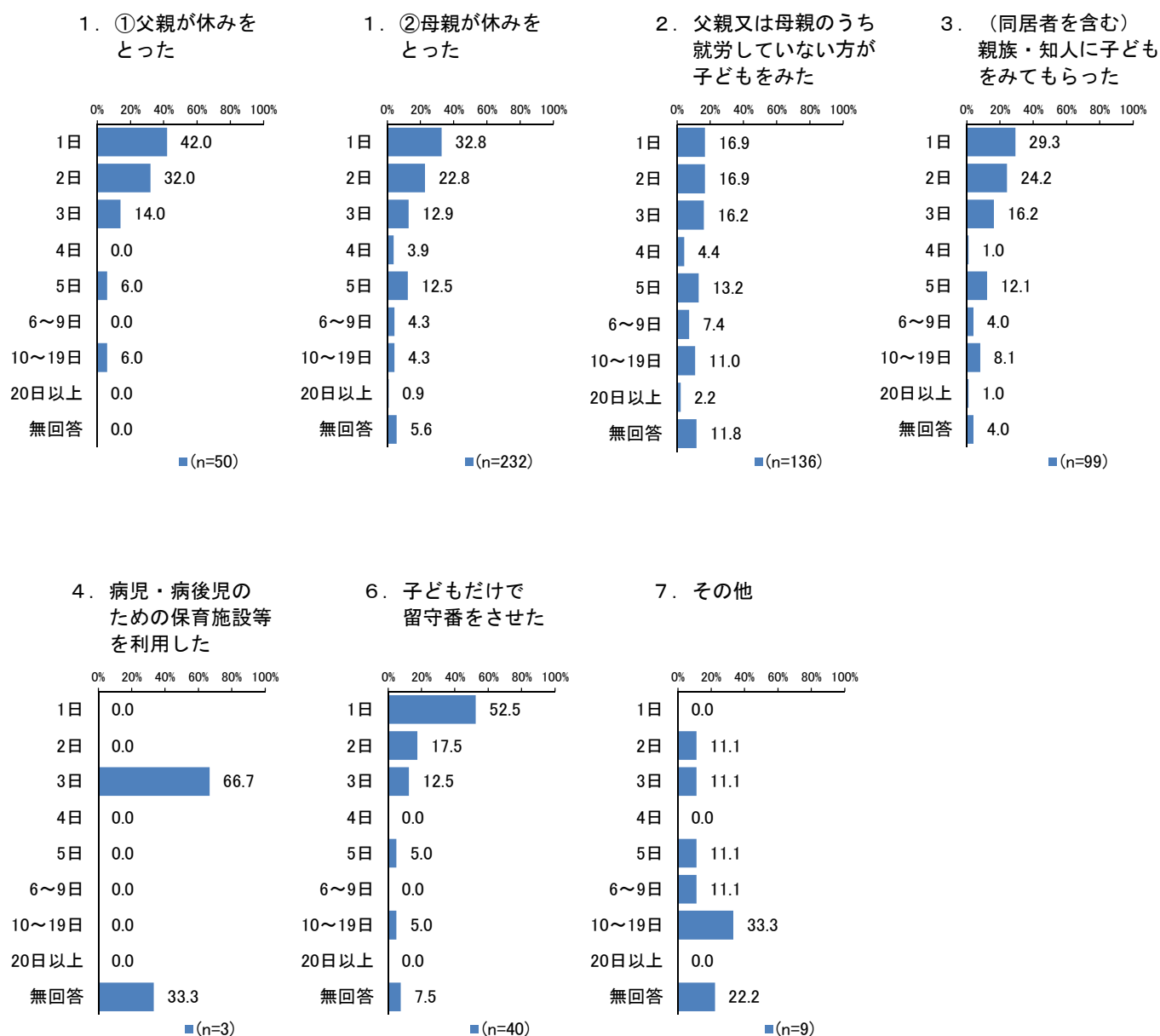


図 病気やけがで学校等を休んだ時の対応日数



※「5. ベビーシッターを利用した」はn=0のためグラフを省略しています。

(3) 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか

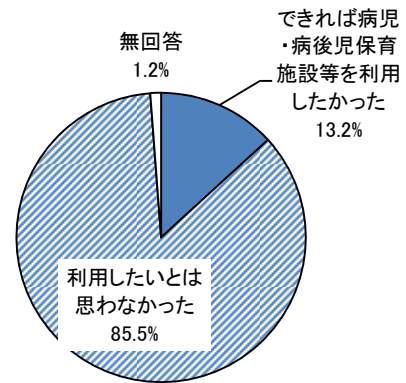
問13-2 問13-1で「休みをとった」に○をつけた方にうかがいます。
 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
 当てはまる番号1つに○をつけ、利用したかった日数についても()内に数字でご記入
 ください。なお、病児・病後児のための保育施設等の利用には、一定の利用者負担が発生し、
 利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

図 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか

子どもが病気やけがで学校等を休んだ時に休みをとった方に、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったかとたずねたところ、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」が13.2%、「利用したいとは思わなかった」が85.5%となっている。

子どもの年齢別にみると、2年生は「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」が21.1%で他の学年よりも高くなっている。

母親の就労状態別にみると、フルタイムとパートタイムで違いはみられない。



(n=242)

図 年齢別、母親の就労状態別

「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか

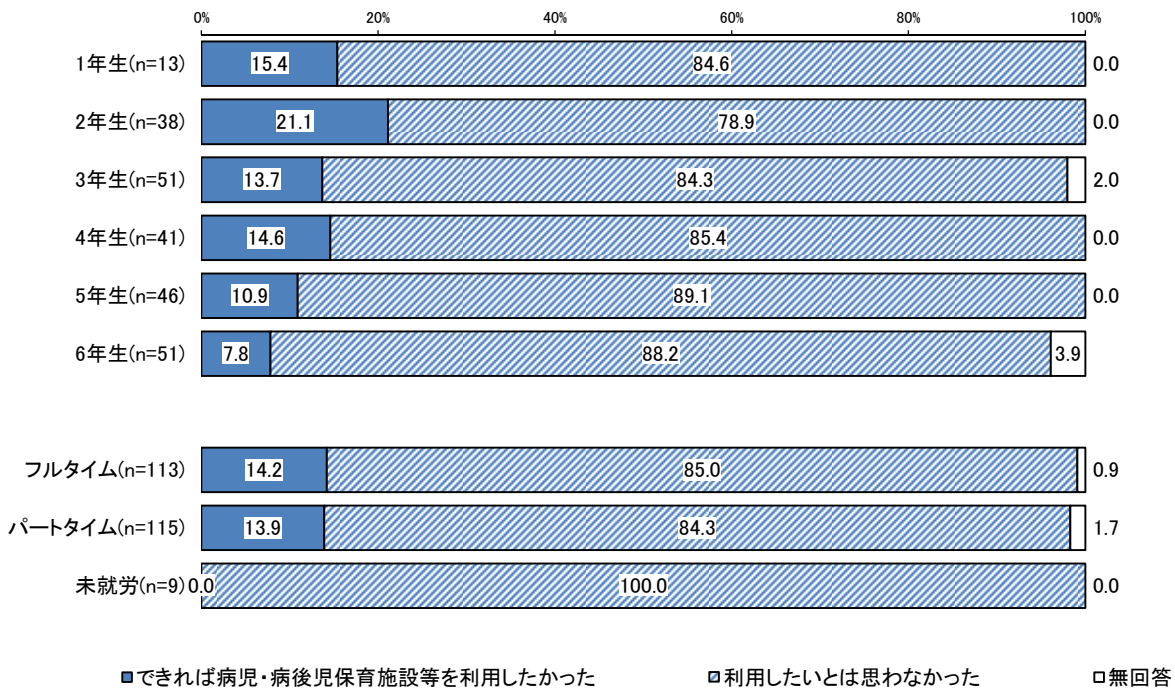
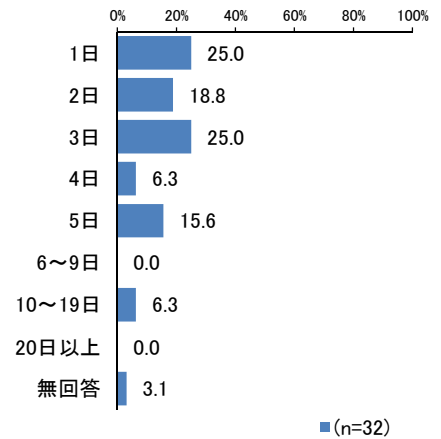


図 病児・病後児のための保育施設等を利用したい日数

「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したかった」日数は、「1日」と「3日」がともに25.0%で最も高く、次いで「2日」が18.8%、「5日」が15.6%となっている。

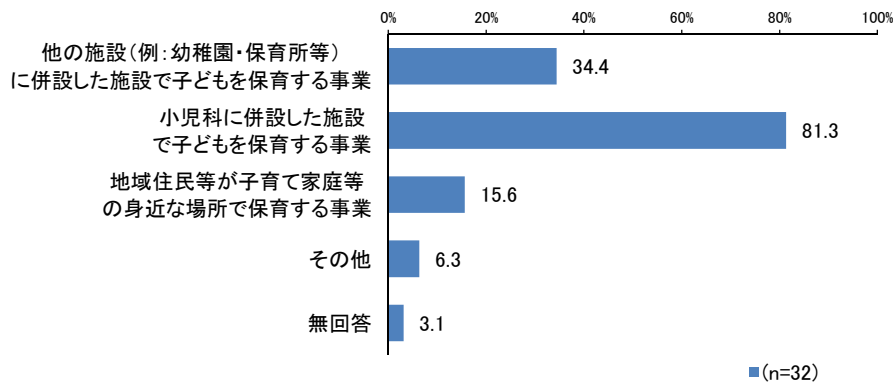


(4) 望ましい病児・病後児保育施設等の事業形態

問13-3 問13-2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」に○をつけた方にうかがいます。
 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

望ましい病児・病後児保育施設等の事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が81.3%で最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が34.4%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が15.6%となっている。

図 望ましい病児・病後児保育施設等の事業形態

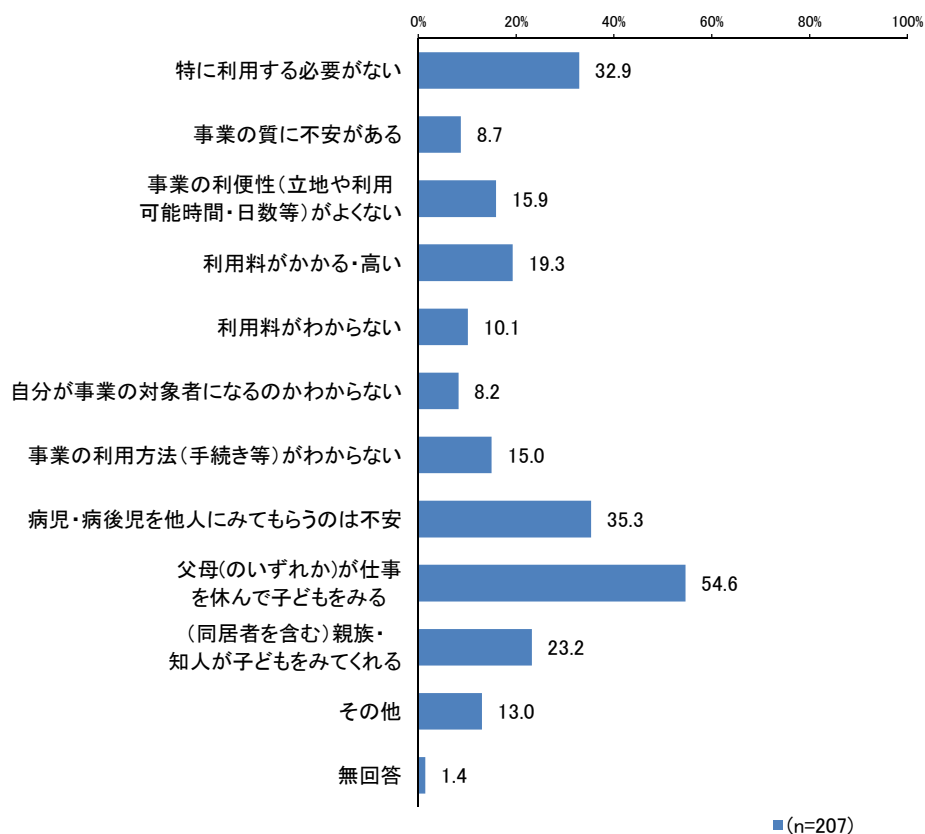


(5) 病児・病後児のための保育施設等を利用したいとは思わない理由

問13-4 問13-2で「利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児のための保育施設等を利用したいとは思わない理由は、「父母(のいずれか)が仕事を休んで子どもをみる」が54.6%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が35.3%、「特に利用する必要がない」が32.9%、「(同居者を含む)親族・知人が子どもをみてくれる」が23.2%となっている。

図 病児・病後児のための保育施設等を利用したいとは思わない理由



(6) 「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたかった」と思ったか

問13-5 問13-1で「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」「病児・病後児のための保育施設等を利用した」「ベビーシッターを利用した」「子どもだけで留守番をさせた」「その他」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたかった」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、それぞれの日数のうち仕事を休んで子どもをみたかった日数についても()内に数字でご記入ください。

図 「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたかった」と思ったか

「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたかった」と思ったかとたずねると、「できれば仕事を休んで子どもをみたかった」が51.8%、「仕事を休んで子どもをみることは非常に難しい」が22.3%となっている。

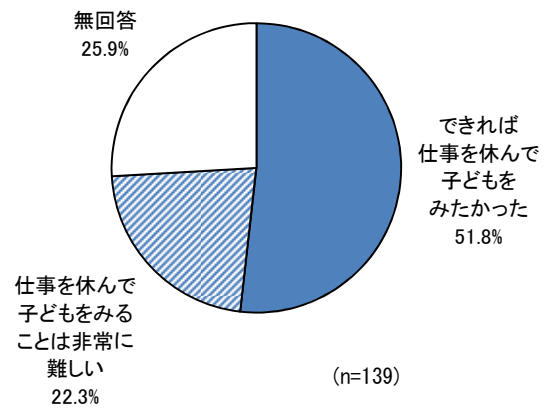
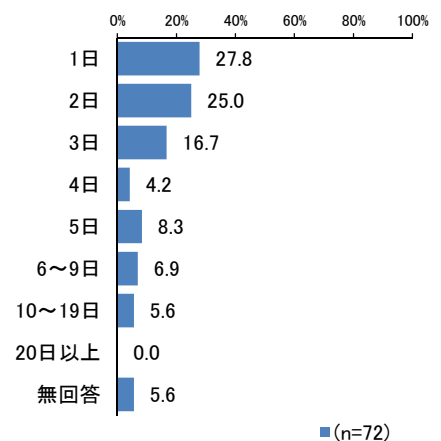


図 「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたかった」と思った日数

「できれば仕事を休んで子どもをみたかった」日数は、「1日」が27.8%、「2日」が25.0%、「3日」が16.7%となっている。

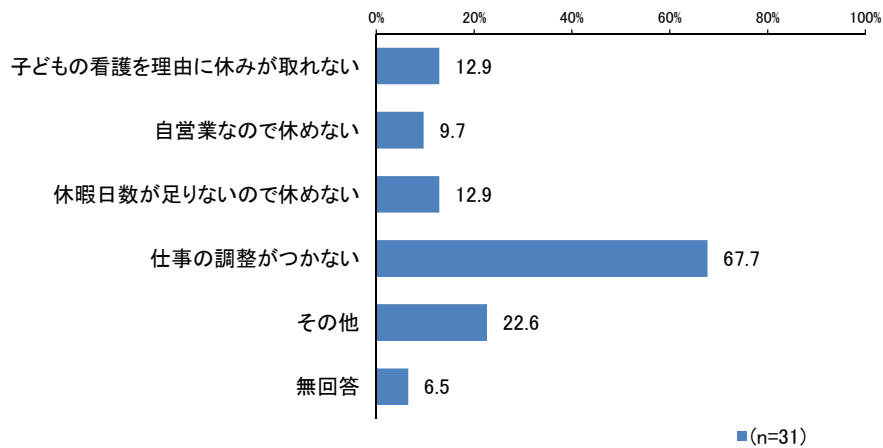


(7) 「仕事を休んで子どもをみることは非常に難しい」と思う理由

問13-6 問13-5で「仕事を休んで子どもをみることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「仕事を休んで子どもをみることは非常に難しい」と思う理由は、「仕事の調整がつかない」が67.7%で最も高く、「子どもの看護を理由に休みが取れない」と「休暇日数が足りないので休めない」がともに12.9%、「自営業なので休めない」が9.7%となっている。

図 「仕事を休んで子どもをみることは非常に難しい」と思う理由



7. 地域子育て支援事業の利用状況について

(1) 子育て支援事業の認知・利用状況、利用意向

問14 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。

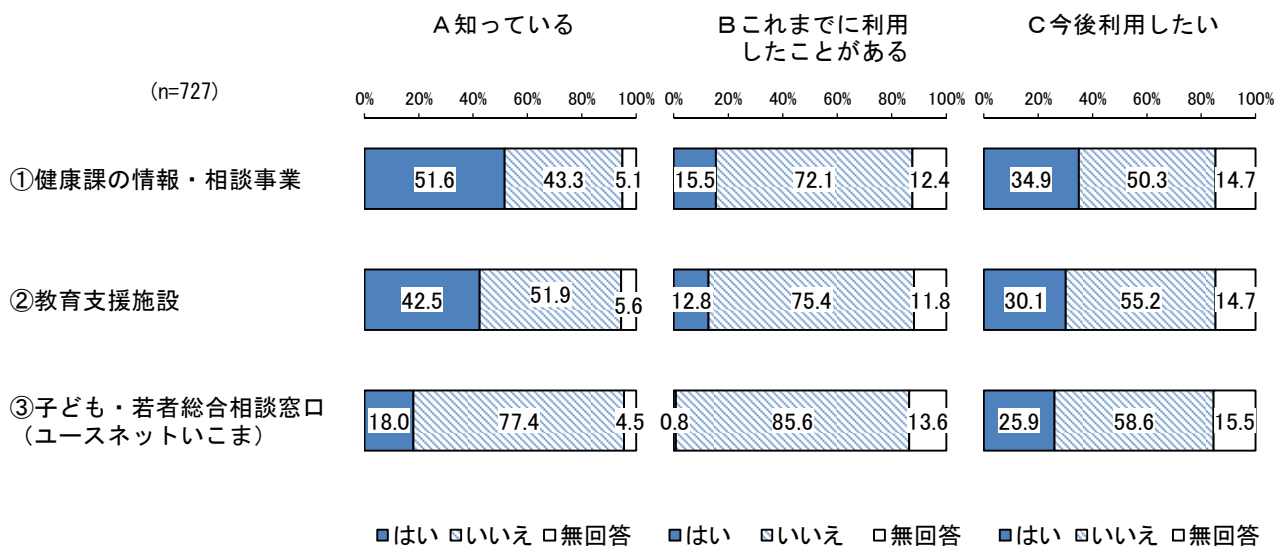
①～③の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

知っている子育て支援事業は、「①健康課の情報・相談事業」で51.6%、「②教育支援施設」で42.5%、「③子ども・若者総合相談窓口（ユースネットいこま）」で18.0%となっている。

これまでに利用したことがある事業は、「①健康課の情報・相談事業」で15.5%、「②教育支援施設」で12.8%となっています。

今後利用したい事業は、「①健康課の情報・相談事業」で34.9%、「②教育支援施設」で30.1%、「③子ども・若者総合相談窓口（ユースネットいこま）」で25.9%となっている。

図 子育て支援事業の認知・利用状況、利用意向



8. 不規則な教育・保育事業や一時預かり等の利用について

(1) 不規則な教育・保育事業の利用状況

問15 宛名のお子さんは現在、日中の定期的な教育・保育事業や病気のため以外に、保護者の用事や不規則の就労等の目的で教育・保育事業を不規則に利用していますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、1年間のおおよその利用日数を（ ）内に数字でご記入ください。

不規則な教育・保育事業の利用状況をみると、「利用していない」が95.2%で最も高く、次いで「その他」が1.0%、「ファミリー・サポート事業」が0.6%となっている。

図 不規則な教育・保育事業の利用状況

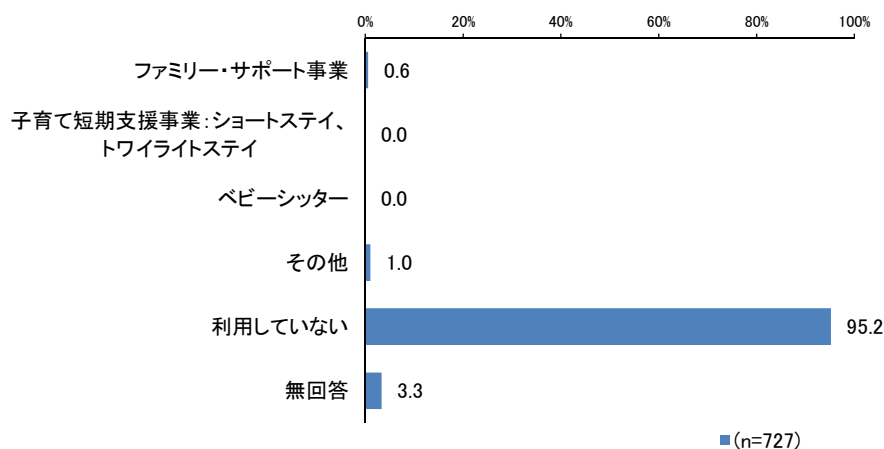
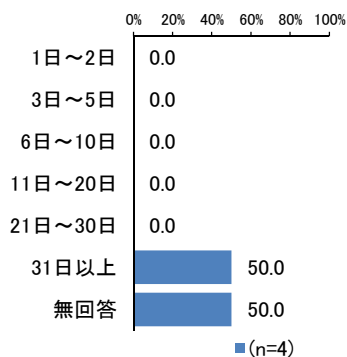
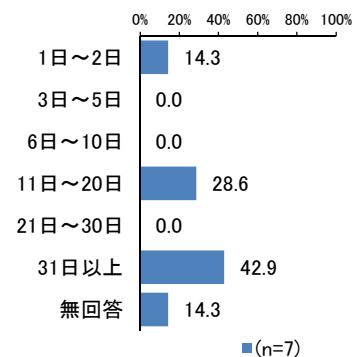


図 不規則な教育・保育事業の利用日数

1. ファミリー・サポート事業



4. その他



※「2. 子育て短期支援事業:ショートステイ、トワイライトステイ」と「3. ベビーシッター」はn=0のためグラフを省略しています。

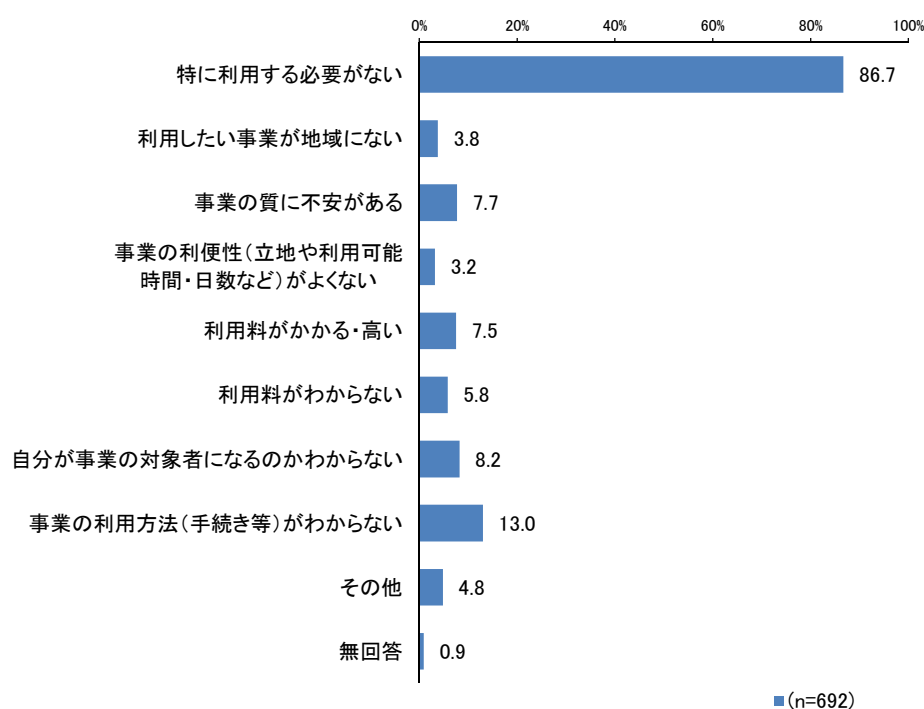
(2) 不定期的な教育・保育事業を利用していない理由

問15-1 問15で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

不定期的な教育・保育事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が86.7%で9割近くとなっている。それ以外の理由としては、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が13.0%、「自分が事業の対象者になるのかわからない」が8.2%、「事業の質に不安がある」が7.7%、「利用料がかかる・高い」が7.5%、「利用料がわからない」が5.8%、「その他」が4.8%、「利用したい事業が地域にない」が3.8%、「事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない」が3.2%となっている。

図 不定期的な教育・保育事業を利用していない理由



(3) 不定期な教育・保育事業の利用意向

問16 宛名のお子さんについて、保護者の用事や不定期の就労等の目的で、年間何日くらい教育・保育事業を利用する必要があると思いますか。

利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を()内に数字でご記入ください。)なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

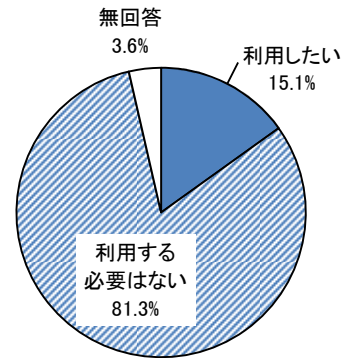
図 不定期な教育・保育事業の利用意向

■利用意向

不定期な教育・保育事業の利用意向をたずねると、「利用したい」が15.1%、「利用する必要はない」が81.3%となっている。

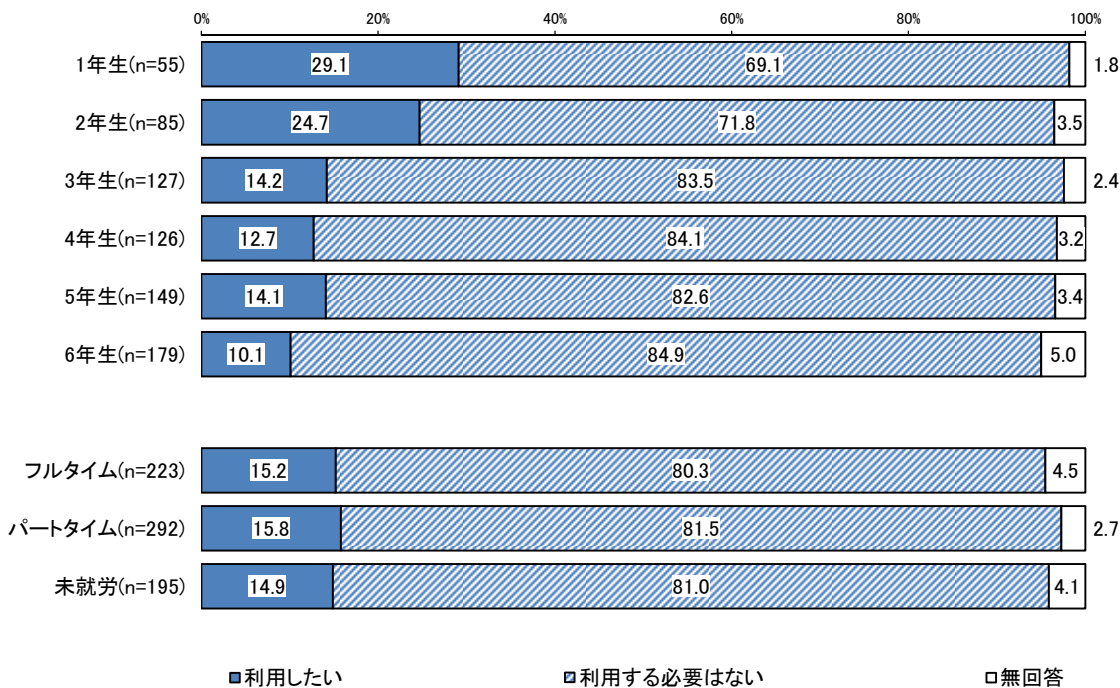
子どもの年齢別にみると、1年生と2年生は「利用したい」がそれぞれ29.1%、24.7%であるが、3年生以上は10%台である。

母親の就労状態別にみると、就労状態による違いはみられない。



(n=727)

図 年齢別、母親の就労状態別 不定期な教育・保育事業の利用意向



■利用目的

利用したい目的は、「親や子ども（兄弟姉妹を含む）の通院、冠婚葬祭、学校行事等」が 54.5%で最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）」が 44.5%、「不定期の就労」が 30.0%となっている。

図 不定期な教育・保育事業の利用目的

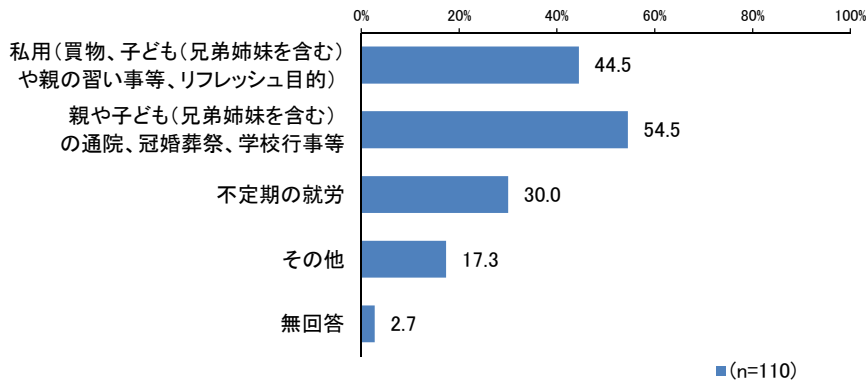


図 不定期な教育・保育事業の利用意向日数

■利用意向日数

利用したい日数の合計は、「6日～10日」が 24.5%、「11日～20日」が 18.2%、「3日～5日」が 14.5%、「31日以上」が 12.7%、「1日～2日」が 10.9%、「21日～30日」が 9.1%となっている。平均日数は 21.34 日となっている。

利用目的別意向日数をみると、私用、親や子どもの通院、冠婚葬祭、学校行事等、不定期の就労ともに「3日～5日」または「6日～10日」を挙げた人が 5～6割となっている。

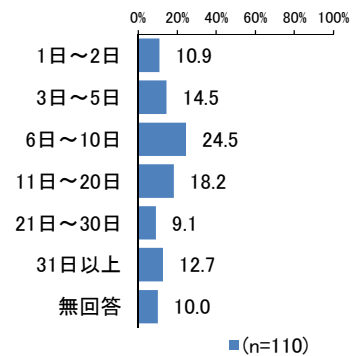
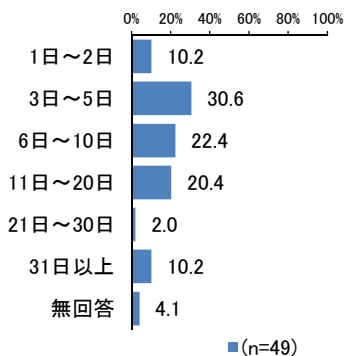
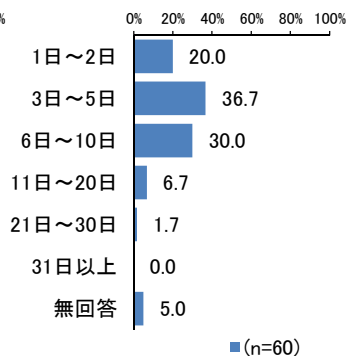


図 不定期な教育・保育事業の利用目的別意向日数

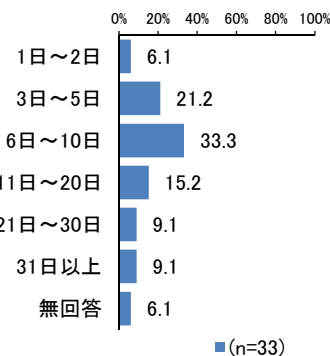
①私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）



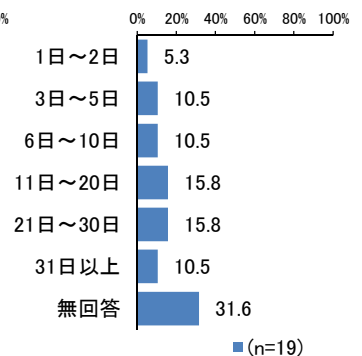
②親や子ども（兄弟姉妹を含む）の通院、冠婚葬祭、学校行事等



③不定期の就労



④その他



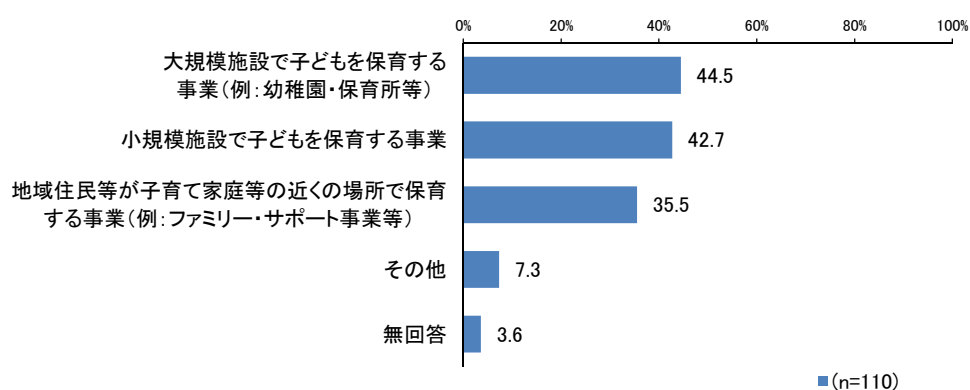
(4) 望ましい不定期的教育・保育事業の事業形態

問16-1 問16で「利用したい」に○をつけた方にかがいます。

問16の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

望ましい不定期的教育・保育事業の事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」が44.5%で最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が42.7%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート事業等）」が35.5%となっている。

図 望ましい不定期的教育・保育事業の事業形態



(5) 父母以外に子どもを泊りがけでみてもらった経験

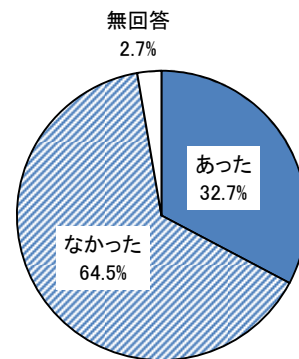
問16-2 問16で「利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
 この1年間に、保護者の用事等により、宛名のお子さんを泊りがけで父母以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます。) あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。

図 父母以外に子どもを泊りがけでみてもらった経験

父母以外に子どもを泊りがけでみてもらった経験は、「あった」が32.7%、「なかった」が64.5%となっている。

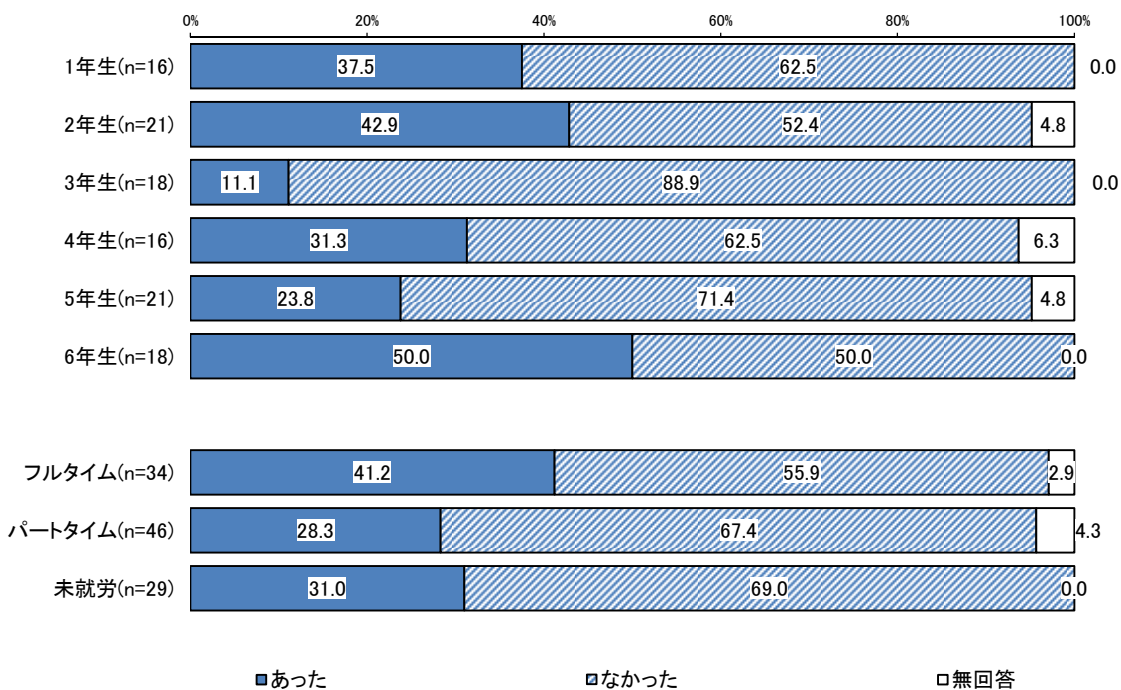
子どもの年齢別にみると、3年生は「あった」が11.1%で他の学年より低く、6年生は50.0%で他の学年より高くなっている。

母親の就労状態別にみると、フルタイムは「あった」が41.2%で他の就労状態に比べて10ポイント以上高い。



(n=110)

図 年齢別、母親の就労状態別 父母以外に子どもを泊りがけでみてもらった経験



■ 対処方法

泊りがけの時の対処方法は、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 75.0%で最も高く、次いで「子どもを同行させた」が 19.4%、「その他」が 8.3%、「子どもだけで留守番をさせた」が 5.6%となっている。

泊りがけでみてもらった時の対処日数は、親族・知人にみてもらった場合では「2泊」が 37.0%で最も高い一方で、「10泊～19泊」「20泊以上」を合わせると 22.2%となっている。

図 父母以外に子どもを泊りがけでみてもらった時の対処方法

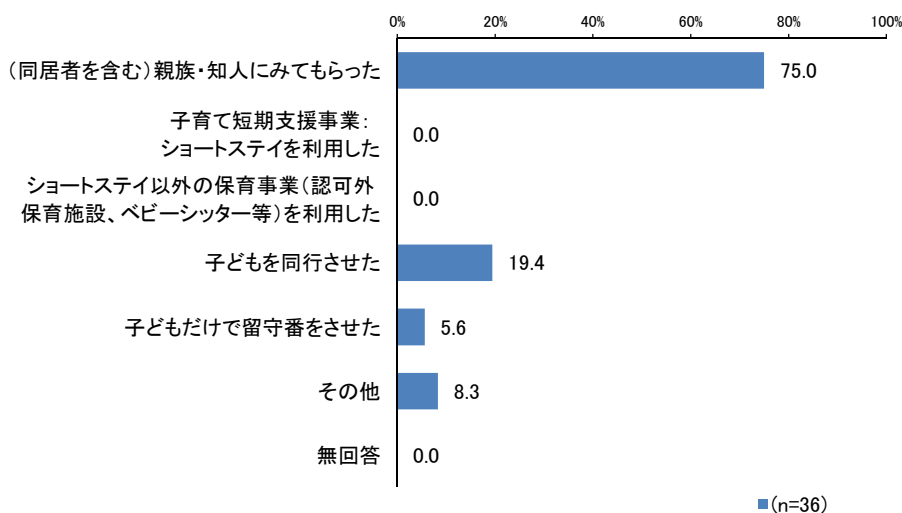
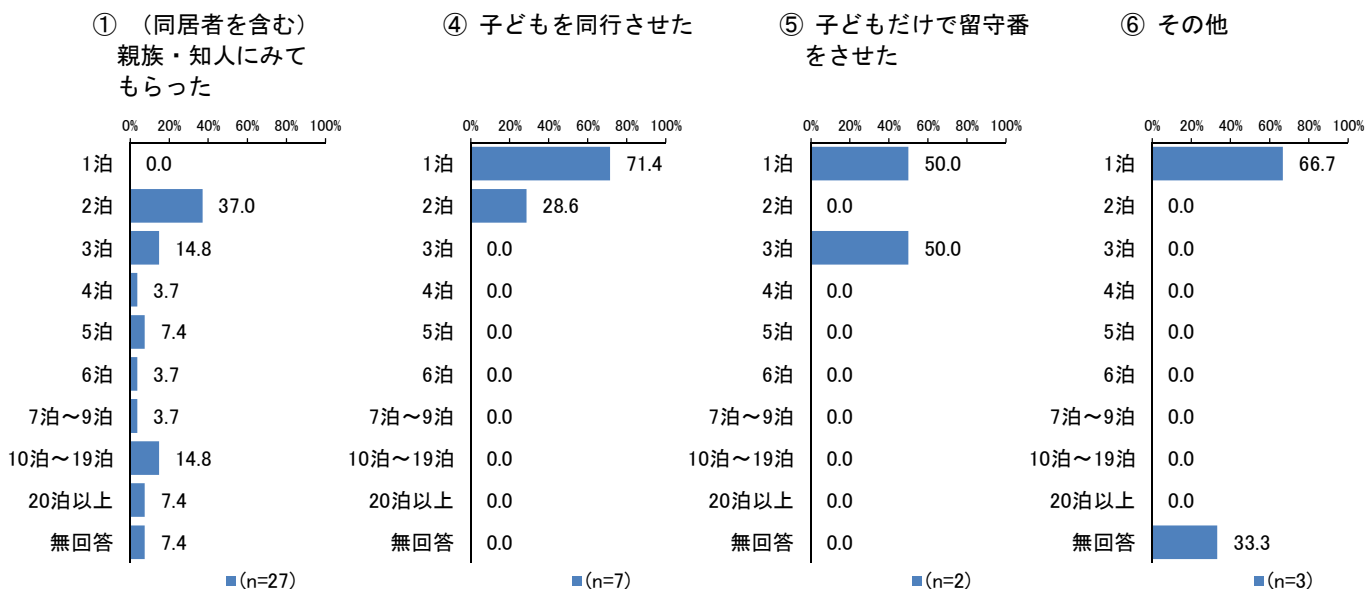


図 父母以外に子どもを泊りがけでみてもらった時の対処日数



※「② 子育て短期支援事業：ショートステイを利用した」と「③ ショートステイ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した」はn=0のためグラフを省略しています。

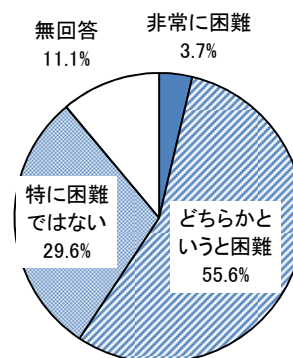
(6) 親族・知人に泊りがけでみてもらった際の困難度

問16-3 問16-2で「あった、(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にかがいます。

その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

図 親族・知人に泊りがけでみてもらった際の困難度

親族・知人に泊りがけでみてもらった際の困難度は、「どちらかという困難」が55.6%で最も高く、次いで「特に困難ではない」が29.6%、「非常に困難」が3.7%となっている。



(n=27)

9. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(1) 育児休業の取得状況

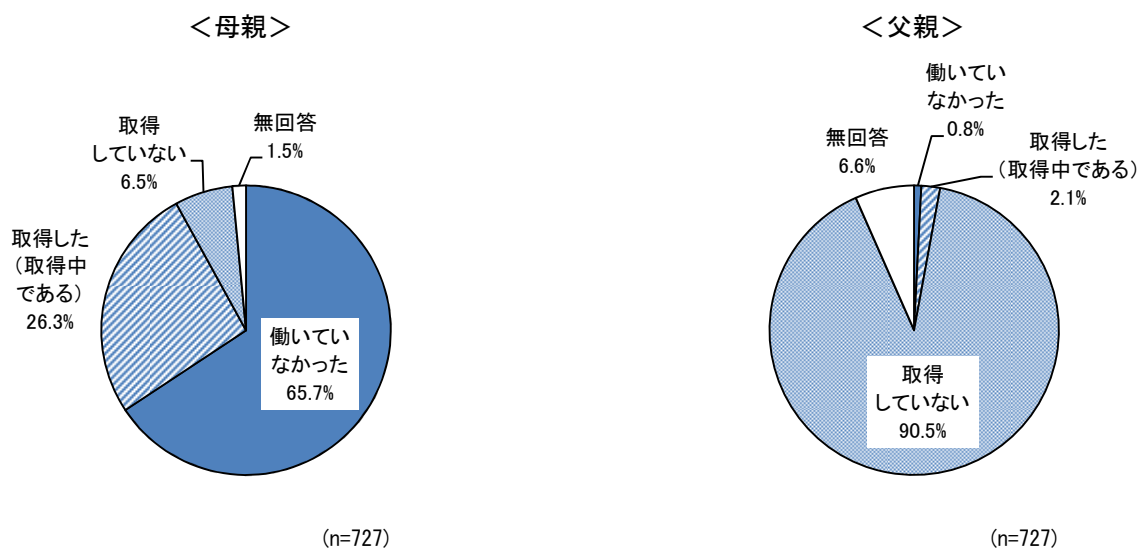
問17 宛名のお子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業（産前産後休暇を除く）を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する（ ）内には数字でご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。※母子家庭・父子家庭の場合は、いずれかにお答えください。

■取得状況

母親では、「働いていなかった」が65.7%、「取得した（取得中である）」が26.3%、「取得していない」が6.5%となっている。

父親では、「取得していない」が90.5%、「取得した（取得中である）」が2.1%、「働いていなかった」が0.8%となっている。

図 育児休業の取得状況

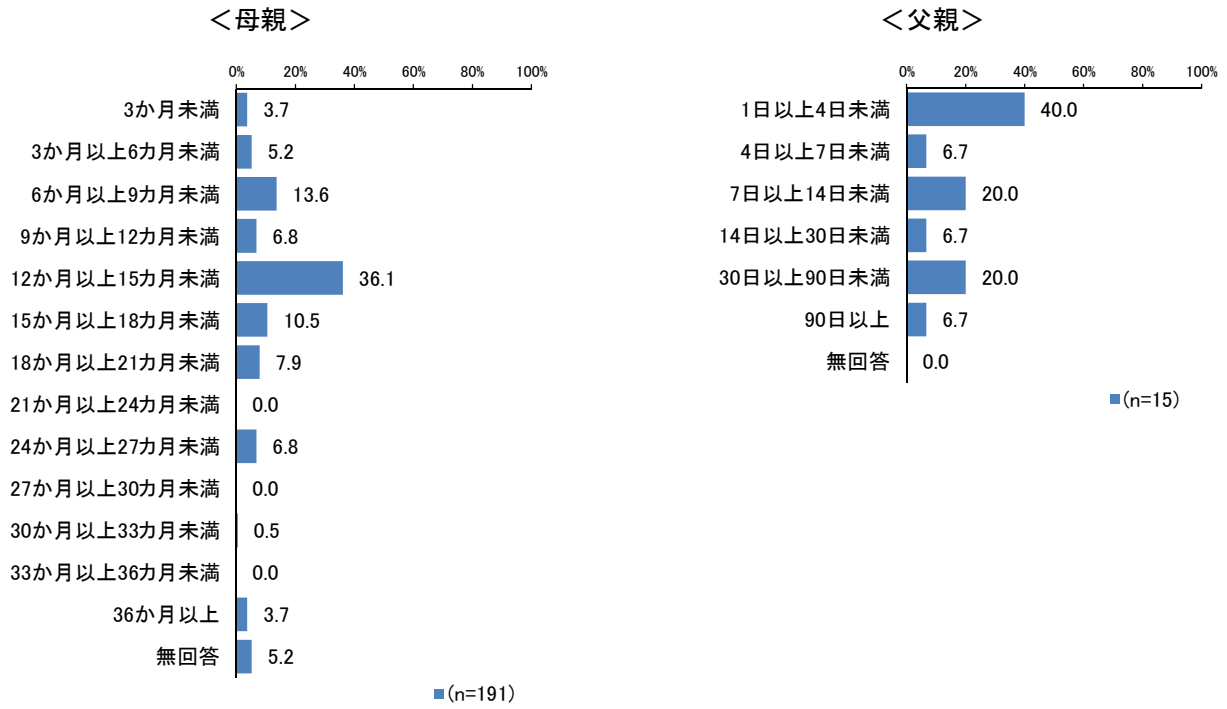


■取得期間

母親では、「12ヶ月以上15ヶ月未満」が36.1%、「6ヶ月以上9ヶ月未満」が13.6%、「15ヶ月以上18ヶ月未満」が10.5%、「18ヶ月以上21ヶ月未満」が7.9%、「9ヶ月以上12ヶ月未満」と「24ヶ月以上27ヶ月未満」が6.8%ずつとなっている。

父親では、「1日以上4日未満」が40.0%、「7日以上14日未満」と「30日以上90日未満」が20.0%ずつとなっている。

図 育児休業の取得期間

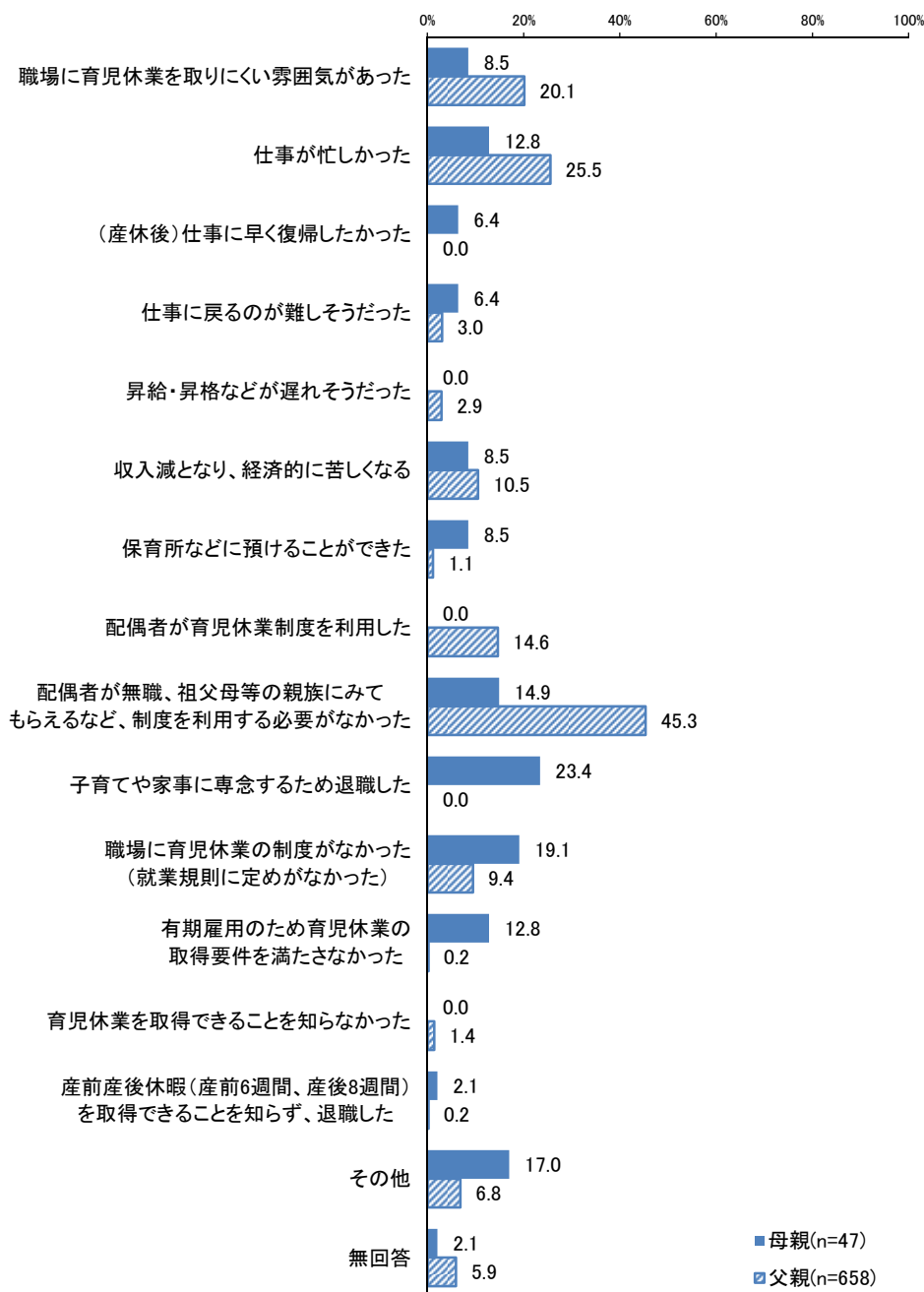


■取得していない理由

母親では、「子育てや家事に専念するため退職した」が 23.4%で最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が 19.1%、「その他」が 17.0%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が 14.9%、「仕事が忙しかった」と「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」が 12.8%ずつとなっている。

父親では、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が 45.3%で最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が 25.5%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 20.1%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が 14.6%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 10.5%となっている。

図 育児休業を取得していない理由

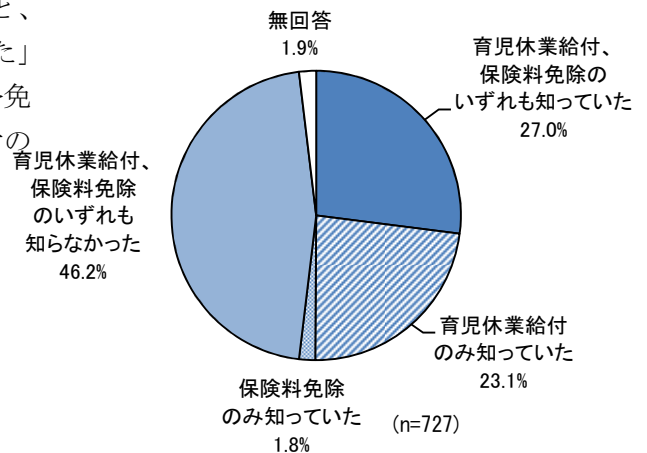


(2) 育児休業の取得に関する制度の認知状況

問18 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業給付金が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

図 育児休業の取得に関する制度の認知状況

育児休業の取得に関する制度の認知状況をみると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が46.2%で最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が27.0%、「育児休業給付のみ知っていた」が23.1%となっている。

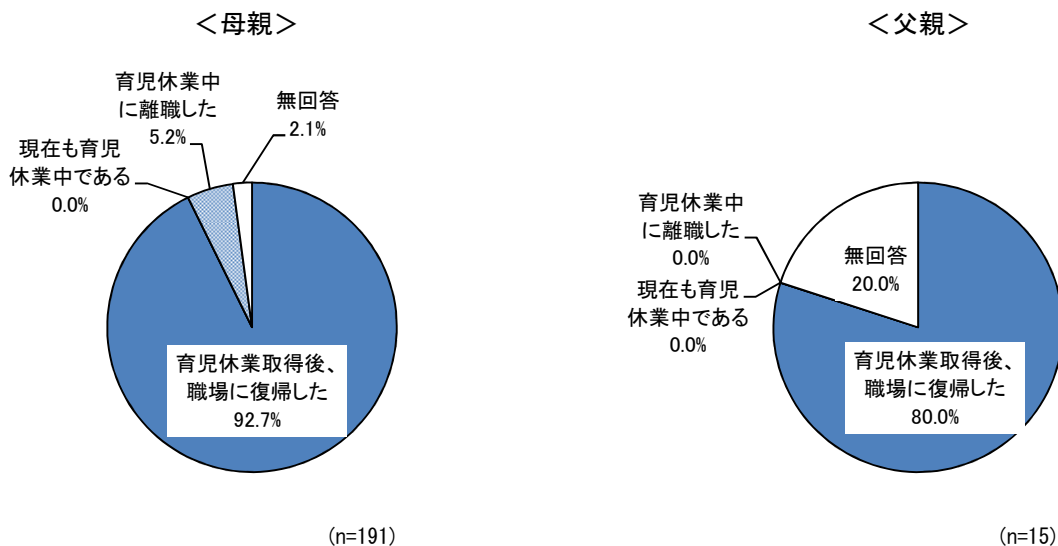


(3) 育児休業取得後の職場復帰状況

問19 問17で母親・父親が「取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

育児休業取得後の職場復帰状況は、母親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が92.7%、「育児休業中に離職した」が5.2%となっている。父親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が80.0%となっている。

図 育児休業取得後の職場復帰状況

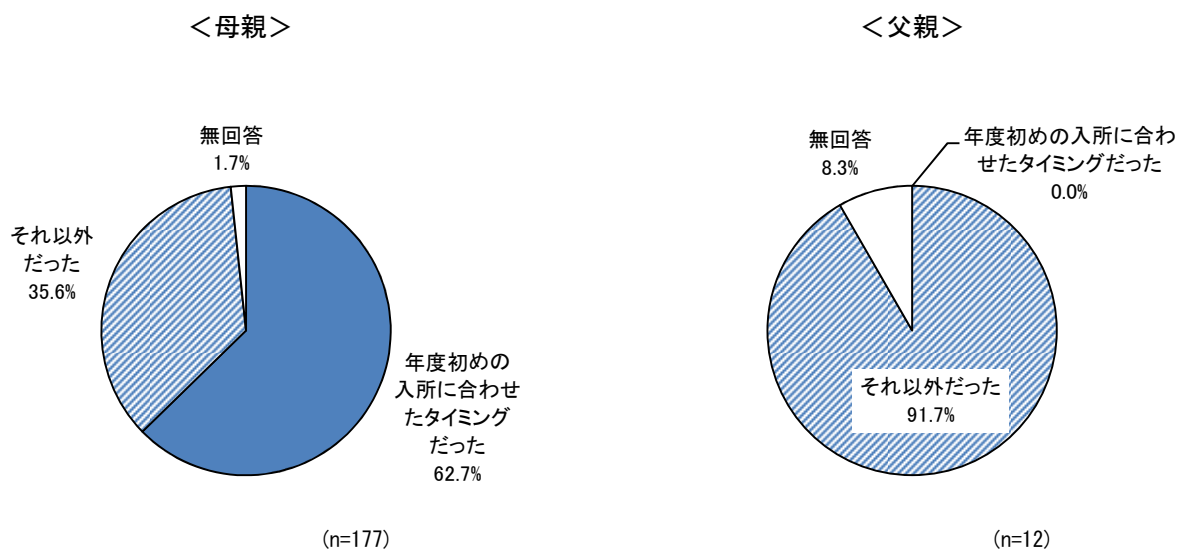


(4) 職場復帰時のタイミング

問19-1 問19で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
 ※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「育児休業取得後、職場に復帰した」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「育児休業取得後、職場に復帰した」を選択してください。

職場復帰時のタイミングは、母親は、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が62.7%、「それ以外だった」が35.6%となっている。父親は、「それ以外だった」が91.7%となっている。

図 職場復帰時のタイミング



(5) 育児休業の復帰時期

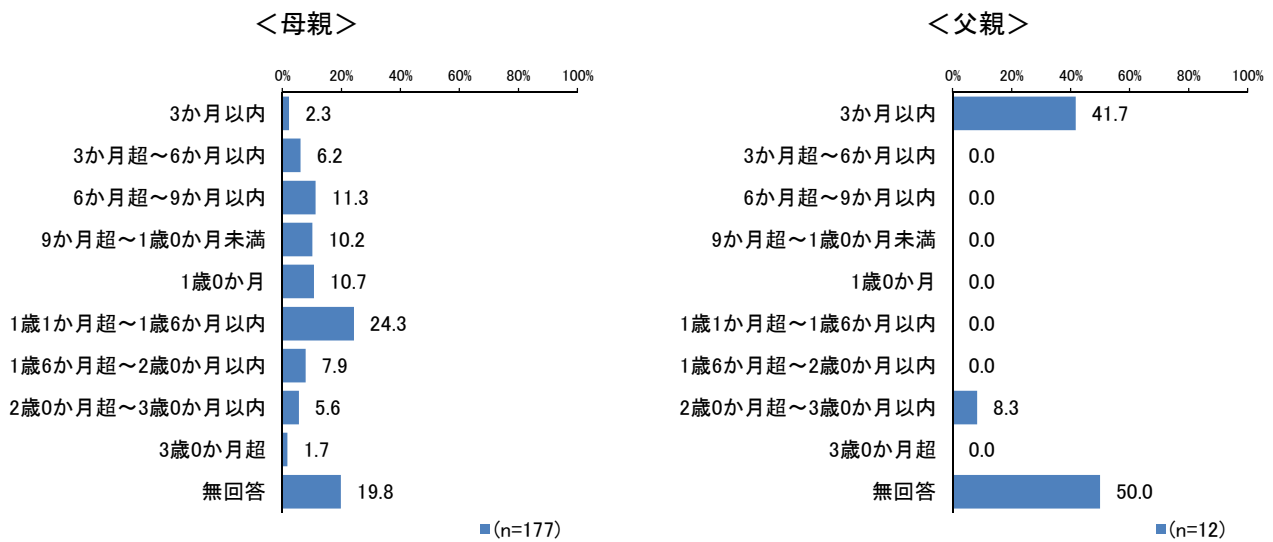
問19-2 問19で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。
 また、職場の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。
 () 内に数字でご記入ください。

■ 実際の復帰時期

実際の復帰時期は、母親では「1歳1ヶ月超～1歳6ヶ月以内」が24.3%で最も高く、次いで「6ヶ月超～9ヶ月以内」が11.3%、「1歳0ヶ月」が10.7%、「9ヶ月超～1歳0ヶ月未満」が10.2%となっている。

父親では、「3ヶ月以内」が41.7%、「2歳0ヶ月超～3歳0ヶ月以内」が8.3%となっている。

図 育児休業の実際の復帰時期

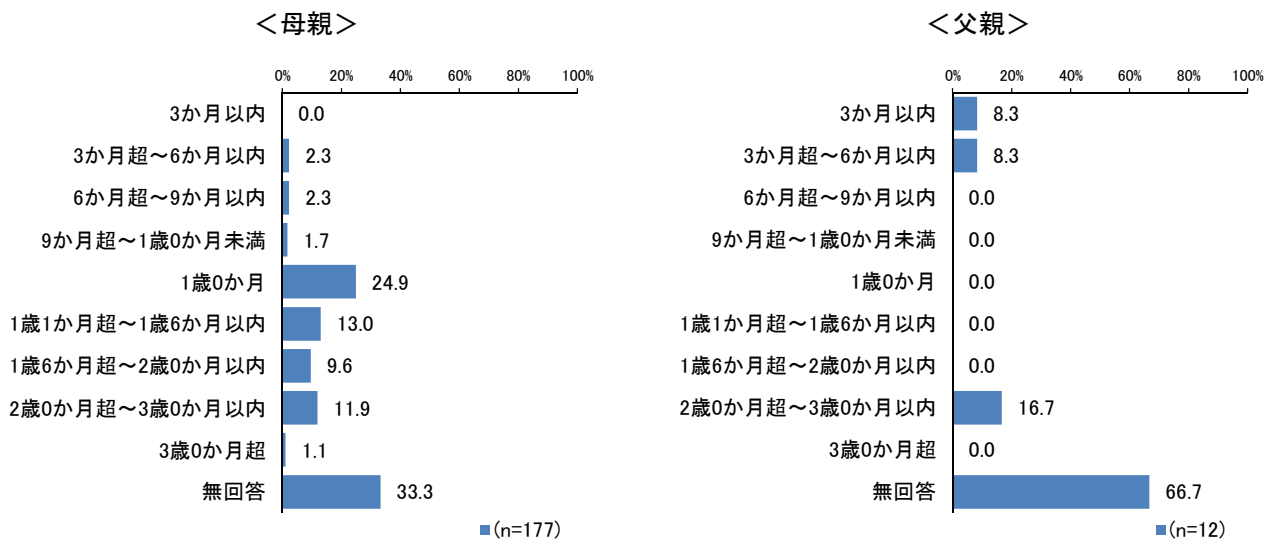


■ 希望の復帰時期

希望の復帰時期は、母親では「1歳0ヶ月」が24.9%で最も高く、次いで「1歳1ヶ月超～1歳6ヶ月以内」が13.0%、「2歳0ヶ月超～3歳0か月以内」が11.9%となっている。

父親では、「2歳0ヶ月超～3歳0ヶ月以内」が16.7%、「3ヶ月以内」と「3ヶ月超～6ヶ月以内」が8.3%ずつとなっている。

図 育児休業の希望の復帰時期



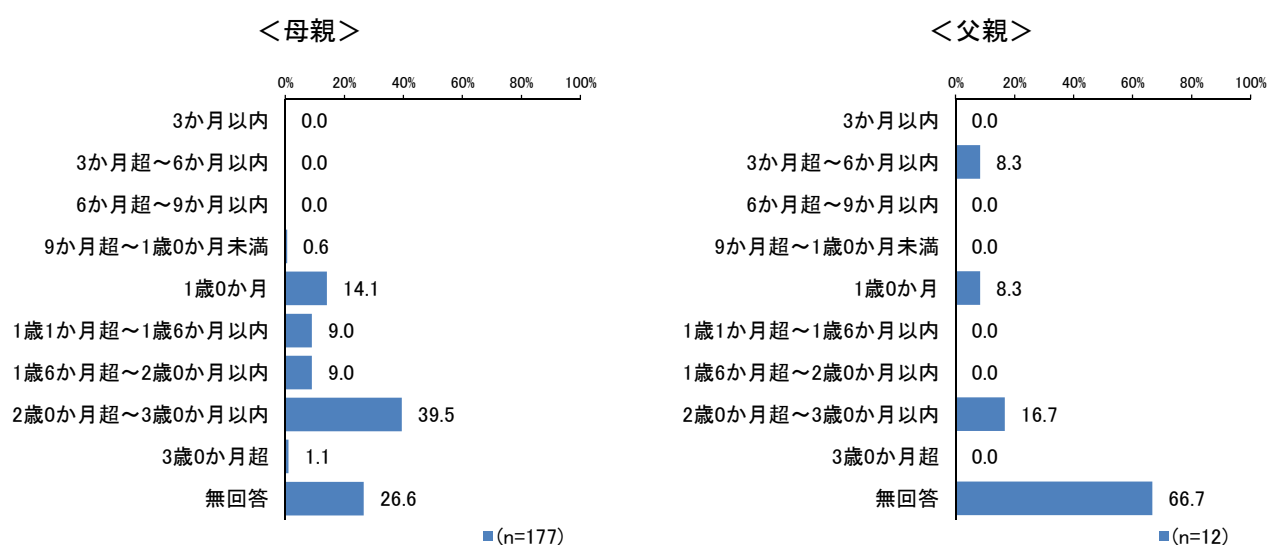
(6) 3歳まで育休制度がある場合に取得したい期間

問19-3 問19で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
 職場に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが
 何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

3歳まで育休制度がある場合に取得したい期間は、母親では「2歳0ヶ月超～3歳0ヶ月以内」が39.5%で最も高く、次いで「1歳0ヶ月」が14.1%、「1歳1ヶ月超～1歳6ヶ月以内」と「1歳6ヶ月超～2歳0ヶ月以内」が9.0%ずつとなっている。

父親では「2歳0ヶ月超～3歳0ヶ月以内」が16.7%（2人）、「3ヶ月超～6ヶ月以内」と「1歳0ヶ月」が8.3%（1人）ずつとなっている。

図 3歳まで育休制度がある場合に取得したい期間



(7) 希望の時期に復帰しなかった理由

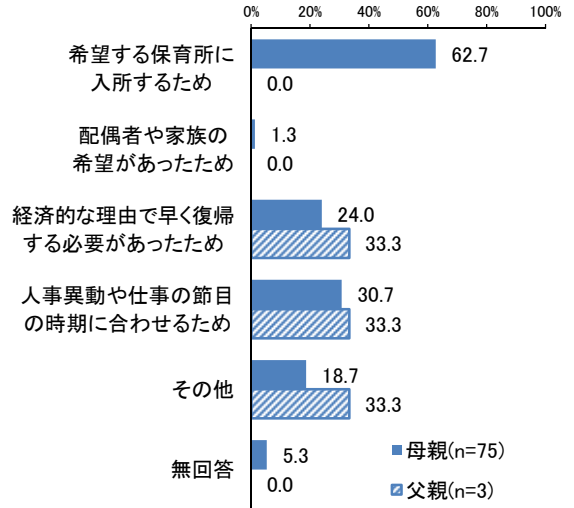
問19-4 希望の時期に復帰しなかった理由についてうかがいます。

■ 希望の時期より早く復帰した理由

希望の時期より早く復帰した理由は、母親では「希望する保育所に入所するため」が62.7%で最も高く、次いで「人事異動や仕事の節目の時期に合わせるため」が30.7%、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が24.0%となっている。

父親では、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」、「人事異動や仕事の節目の時期に合わせるため」、「その他」がいずれも33.3% (1人) となっている。

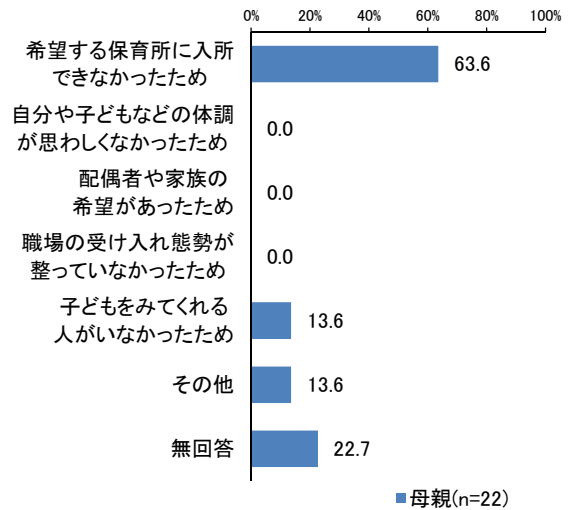
図 希望の時期より早く復帰した理由



■ 希望の時期より遅く復帰した理由

希望の時期より遅く復帰した理由は、母親では「希望する保育所に入所できなかったため」が63.6%で最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」と「その他」が13.6%ずつとなっている。

図 希望の時期より遅く復帰した理由



※男性は n=0 のためグラフを省略しています。

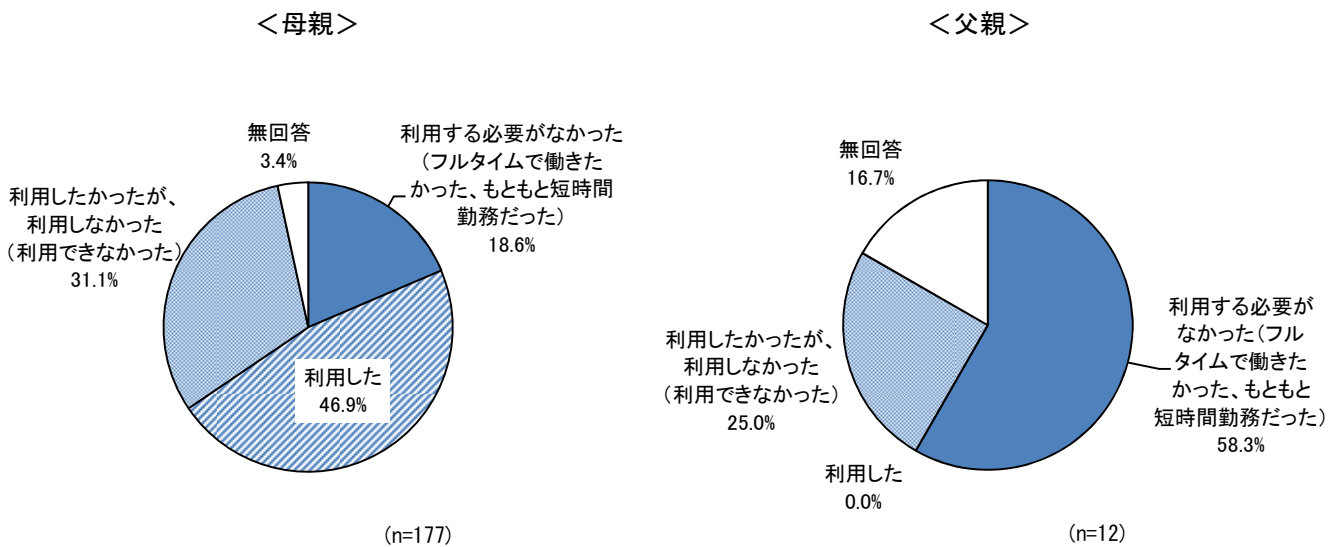
(8) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況

問19-5 問19で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
 育児休業から職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況は、母親では「利用した」が46.9%で最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が31.1%、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が18.6%となっている。

父親では、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が58.3%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が25.0%となっている。

図 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況



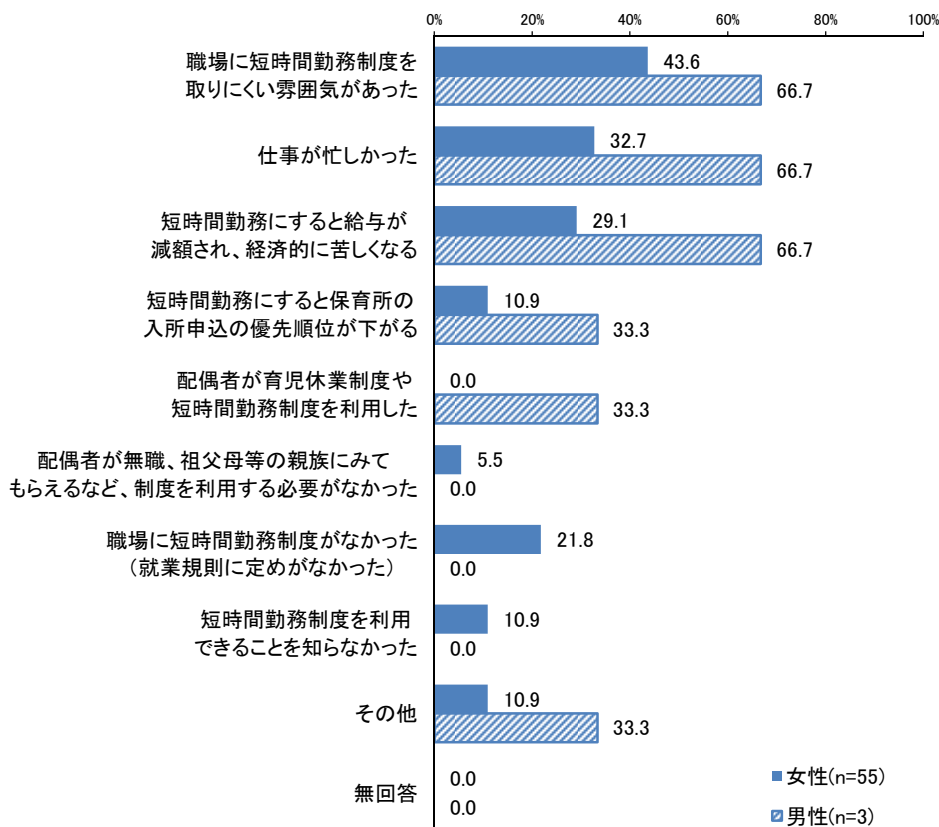
(9) 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由

問19-6 問19-5で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にかがいます。
 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は、母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が43.6%で最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が32.7%、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が29.1%、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が21.8%となっている。

父親では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」がいずれも66.7%（2人）、「短時間勤務にすると保育所の入所申込の優先順位が下がる」、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」、「その他」がいずれも33.3%（1人）となっている。

図 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由



10. 小学校・中学校の規模について

(1) 市立の小中学校の小規模化に対する考え方

問20 少子化に伴い、市立の小学校・中学校の子ども数が減少しており、1学年1クラスの小学校・中学校があり、今後、小規模な小学校・中学校が増加していくことが予想されます。市立の小学校・中学校が小規模化していくことについてどう思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

図 市立の小中学校の小規模化に対する考え方

市立の小中学校の小規模化に対する考え方をみると、『望ましい』（「望ましい」と「どちらかといえば望ましい」の合計）が24.6%、『望ましくない』（「望ましくない」と「どちらかといえば望ましくない」の合計）が49.5%となっており、『望ましくない』が約5割を占めている。

子どもの年齢別にみると、いずれの学年も『望ましくない』の割合の方が高いが、1年生は他の学年に比べて『望ましくない』がやや低く、逆に『望ましい』が高くなっている。

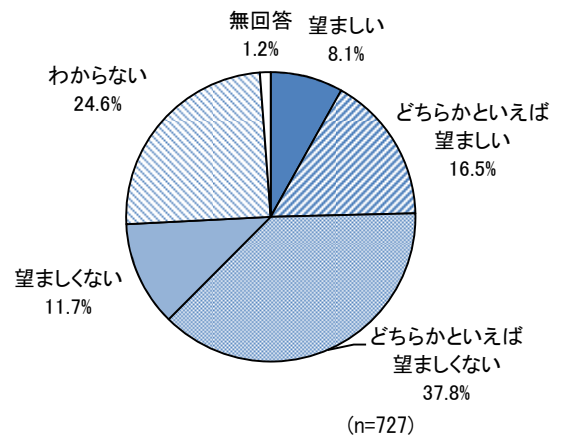
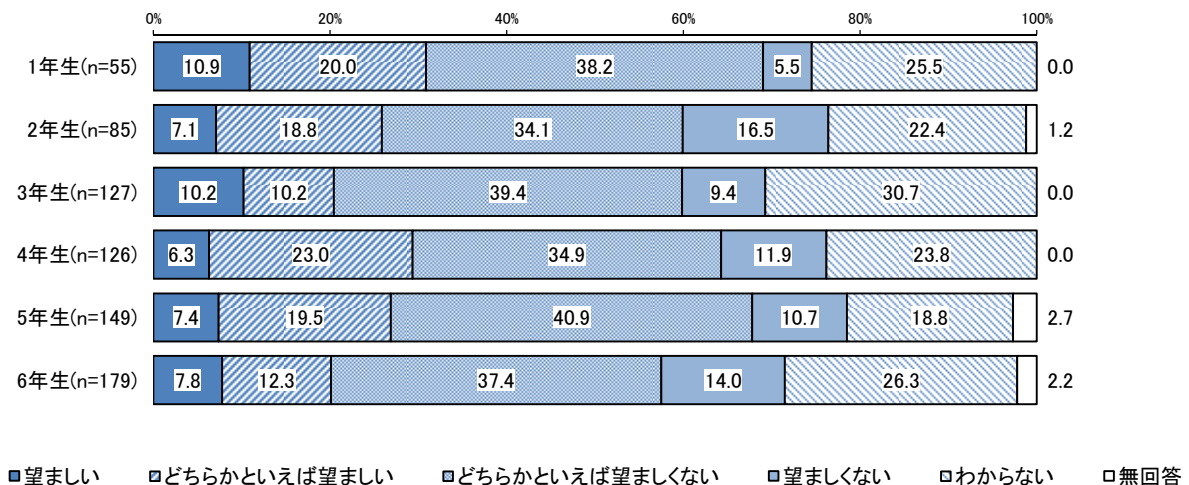


図 年齢別 市立の小中学校の小規模化に対する考え方

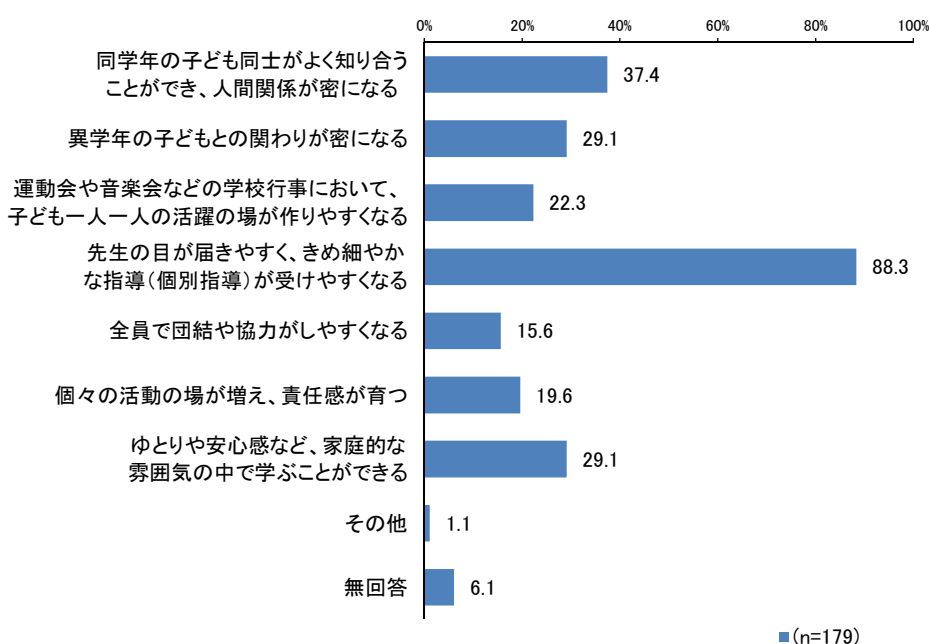


(2) 市立の幼稚園・小中学校の小規模化が望ましいと思う理由

問20-1 問20で「望ましい」または「どちらかといえば望ましい」に○をつけた方にうかがいます。
その理由は何ですか。当てはまる番号のうち主なもの3つまでに○をつけてください。

市立の幼稚園・小中学校の小規模化が望ましいと思う理由をたずねると、「先生の目が届きやすく、きめ細やかな指導（個別指導）が受けやすくなる」が88.3%で最も高く、次いで「同学年の子ども同士がよく知り合うことができ、人間関係が密になる」が37.4%、「異学年の子どもとの関わりが密になる」と「ゆとりや安心感など、家庭的な雰囲気の中で学ぶことができる」がともに29.1%、「運動会や音楽会などの学校行事において、子ども一人一人の活躍の場が作りやすくなる」が22.3%となっている。

図 市立の幼稚園・小中学校の小規模化が望ましいと思う理由

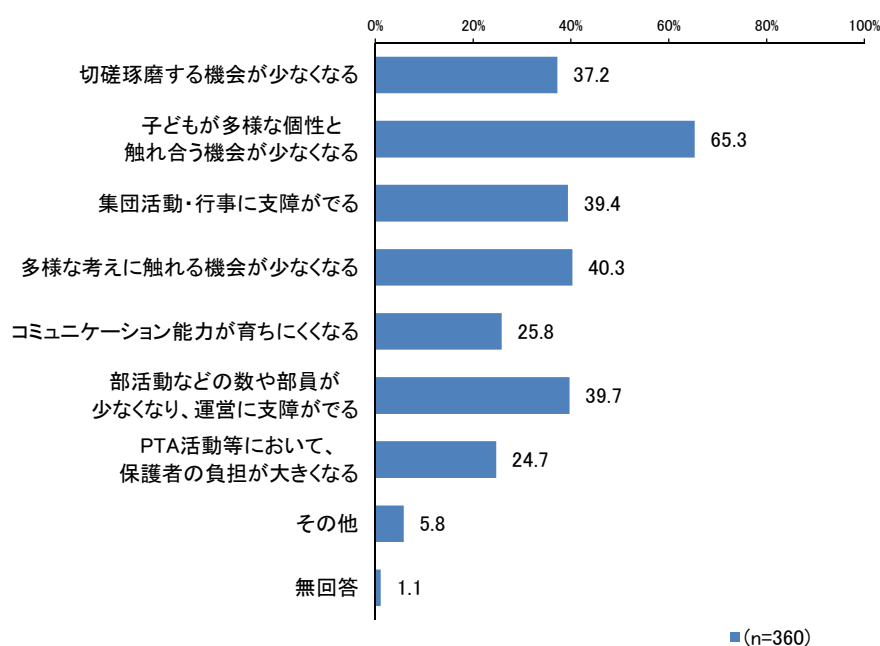


(3) 市立の幼稚園・小中学校の小規模化が望ましくないと思う理由

問20-2 問20で「どちらかといえば望ましくない」または「望ましくない」に○をつけた方にうかがいます。
その理由は何ですか。当てはまる番号のうち主なものを3つまでに○をつけてください。

市立の幼稚園・小中学校の小規模化が望ましくないと思う理由をたずねると、「子どもが多様な個性と触れ合う機会が少なくなる」が65.3%で最も高く、次いで「多様な考えに触れる機会が少なくなる」が40.3%、「部活動などの数や部員が少なくなり、運営に支障がでる」が39.7%、「集団活動・行事に支障がでる」が39.4%、「切磋琢磨する機会が少なくなる」が37.2%となっている。

図 市立の幼稚園・小中学校の小規模化が望ましくないと思う理由



11. 子育て全般について

(1) 生駒市における子育ての環境や支援への満足度

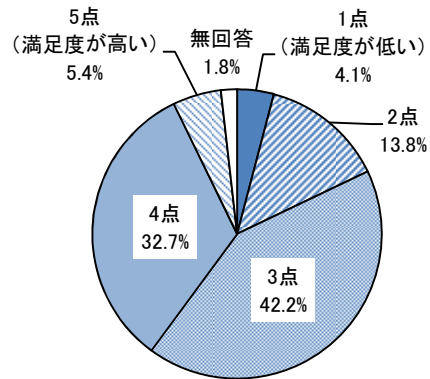
問21 生駒市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

図 生駒市における子育ての環境や支援への満足度

生駒市における子育ての環境や支援への満足度を5点満点でたずねたところ、「3点」が42.2%で、「4点」が32.7%、「2点」が13.8%となっている。平均は3.22である。

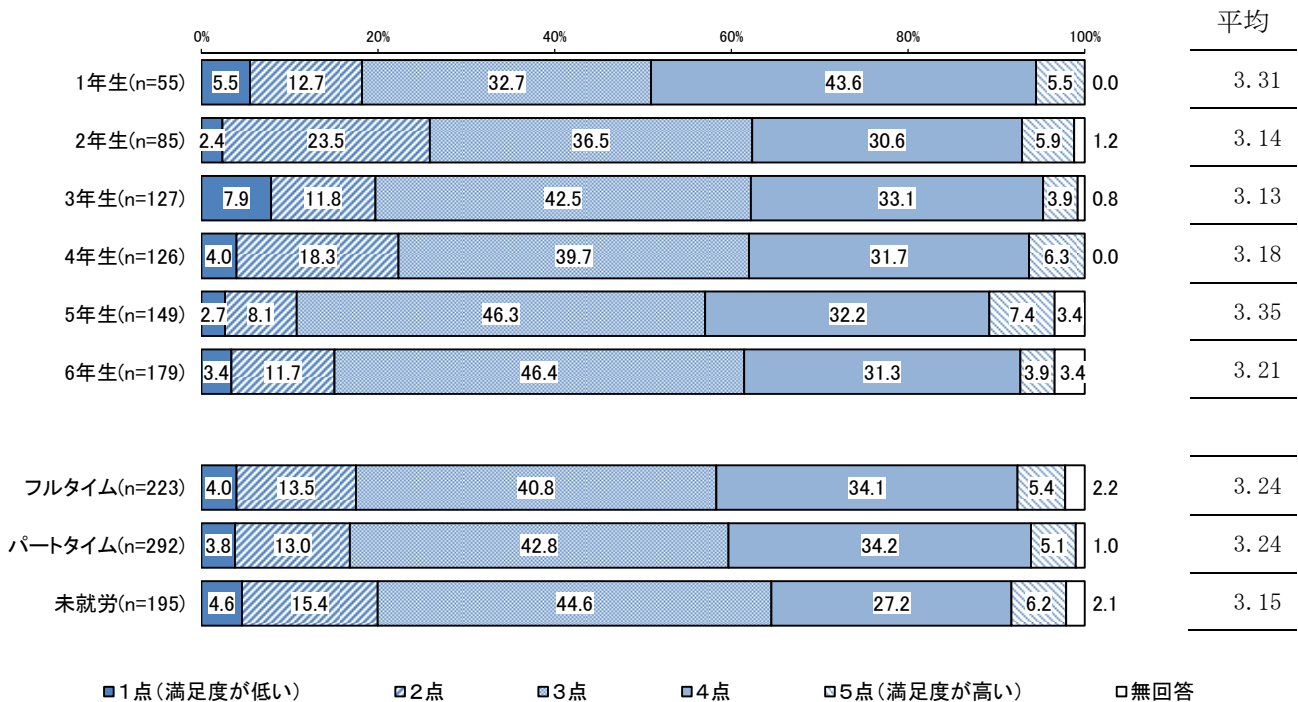
子どもの年齢別では、平均をみると1年生と5年生がやや高くなっている。

母親の就労状態別では、未就労の平均がやや低い。



(n=727)

図 年齢別、母親の就労状態別 生駒市における子育ての環境や支援への満足度



(2) 子育てに対する気持ち

問22 子育てについて、今のお気持ちに一番近いものとして当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育てに対する今の気持ちをたずねると、「楽しいと感じることの方が多い」が61.9%で最も高く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が29.0%、「つらいと感じることの方が多い」が3.4%、「わからない」が2.5%となっている。

子どもの年齢別にみると、1年生は「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」と「つらいと感じることの方が多い」の合計が47.3%で他の学年よりも10ポイント以上高い。3年生は「楽しいと感じることの方が多い」が70.1%で他の学年に比べて高く、その分「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」と「つらいと感じることの方が多い」の合計は他の学年に比べて低くなっている。

母親の就労状態別にみると、未就労は「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」と「つらいと感じることの方が多い」の合計が38.4%でフルタイムやパートタイムに比べて高い。

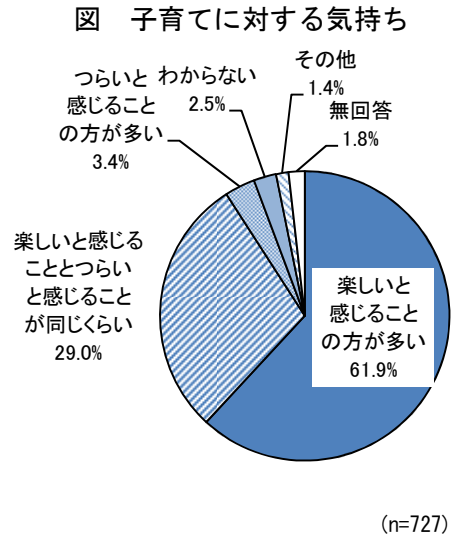
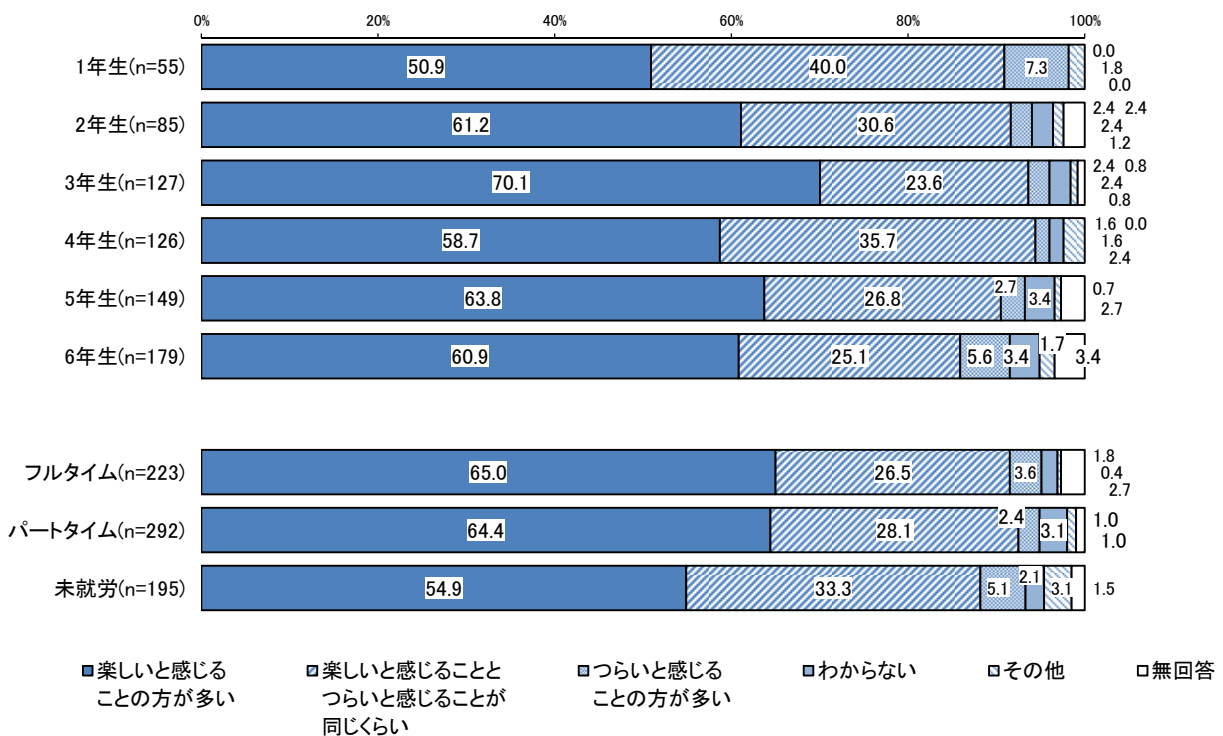


図 年齢別、母親の就労状態別 子育てに対する気持ち



IV. 資料編（調査票）

1. 就学前児童調査

未就学児

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地域として当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------------------------------------|--------------|------------|---------------|
| 1. 生駒小学校区 | 2. 生駒南小学校区 | 3. 生駒北小学校区 | 4. 生駒台小学校区 |
| 5. 生駒東小学校区 | 6. 真弓小学校区 | 7. 俵口小学校区 | 8. 鹿ノ台小学校区 |
| 9. 桜ヶ丘小学校区 | 10. あすか野小学校区 | 11. 吉分小学校区 | 12. 生駒南第二小学校区 |
| 13. わからない (町) | | | |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。元号を○で囲み、()内に数字でご記入ください。

平成・令和 ()年 ()月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を()内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月をご記入ください。

きょうだい数 ()人 一番下のお子さんの生年月 平成・令和 ()年 ()月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|---------------------------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 () |
|-------|-------|---------------------------------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶者についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者がいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|---------------------------------|---------|---------|----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 |
| 5. その他 () | | | |

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|--------|-----------|-----------------------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 |
| 5. 幼稚園 | 6. 保育所 | 7. 認定こども園 | 8. その他 () |

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問1 宛名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

①～⑧の項目ごとに当てはまる番号1つに○をつけてください。③④は（ ）内に数字でご記入ください。

※母子家庭・父子家庭の場合は、いずれかにお答えください。

※保護者が父母でない場合は、主にお子さんをみていらっしゃる方についてお答えください。

項目		母親	父親
①就労の有無 ※育休等…育休 産休 介護休		1. 就労している（育休等を含む） 2. 学生（専門学校生・大学生・大学院生等） 3. 以前は就労していたが、現在は就労していない 4. 就労したことがない	1. 就労している（育休等を含む） 2. 学生（専門学校生・大学生・大学院生等） 3. 以前は就労していたが、現在は就労していない 4. 就労したことがない
就労している場合	②就労形態 ※フルタイム…1週当たり5日程度、1日当たり8時間程度の就労	1. フルタイム 2. パート・アルバイト等 ↓ ①育休中等 ②育休中等ではない	1. フルタイム 2. パート・アルバイト等 ↓ ①育休中等 ②育休中等ではない
	③1週間の就労日数と1日当たりの残業時間を含む就労時間（もっとも多いパターン）	就労日数 1週当たり（ ）日 就労時間 1日当たり（ ）時間 （残業時間を含む）	就労日数 1週当たり（ ）日 就労時間 1日当たり（ ）時間 （残業時間を含む）
	④家を出る時刻と帰宅時刻（24時間制でお答えください。例：帰宅時刻 19時）	1. 家を出る時刻 （ ）時 2. 帰宅時刻 （ ）時	1. 家を出る時刻 （ ）時 2. 帰宅時刻 （ ）時
	⑤ ②で2. パート・アルバイト等で就労しているに○をつけた方	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等を続けたい 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等を続けたい 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
	⑥就労又は修学希望はありますか	1. 就労又は修学したい 2. 就労又は修学したくない	1. 就労又は修学したい 2. 就労又は修学したくない
就労してごなご場合	⑦希望の就労又は修学形態	1. フルタイム 2. パート・アルバイト等（1. 以外での就労） 3. 専門学校生・大学生・大学院生等	1. フルタイム 2. パート・アルバイト等（1. 以外での就労） 3. 専門学校生・大学生・大学院生等
	⑧希望の就労又は修学時期	1. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になった頃 2. すぐにも、もしくは1年以内	1. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になった頃 2. すぐにも、もしくは1年以内

問14 幼児教育・保育の無償化が実施された場合に、宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況は変わりますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※母子家庭・父子家庭の場合は、いずれかにお答えください。

※保護者が父母でない場合は、主にお子さんをみていらっしゃる方についてお答えください。

母親	父親
1. 変わらない	1. 変わらない
2. 就労時間を今より短くする	2. 就労時間を今より短くする
3. 就労時間を今より長くする	3. 就労時間を今より長くする
4. 就労していなかったが、就労を開始する	4. 就労していなかったが、就労を開始する
5. 就労しているが、就労をやめる	5. 就労しているが、就労をやめる

宛名のお子さんの土曜日、日曜日・祝日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問15 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。（一時的な利用は除きます）当てはまる番号1つに○をつけ、該当する（ ）内には数字でご記入ください。時間は、例：18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	} 利用したい時間帯 () 時から () 時まで
2. ほほ毎週利用したい	
3. 月に1～2回は利用したい	

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない	} 利用したい時間帯 () 時から () 時まで
2. ほほ毎週利用したい	
3. 月に1～2回は利用したい	

問15-1 問15の(1)もしくは(2)で、「3」に○をつけた方にうかがいます。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. 保護者のリフレッシュ
5. その他 ()	

問16 幼稚園を利用されている方にかかいます。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇中の教育・保育事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。時間は、例：18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	} 利用したい時間帯 ()時から()時まで
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	
3. 休みの期間中、週に数日利用したい	

問16-1 問16で「3」に○をつけた方にかかいます。

毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため	2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. 保護者のリフレッシュ
5. その他 ()	

宛名のお子さんの病気の際の対応についてかかいます。 ※平日の教育・保育事業を利用する方のみ

問17 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方(問12で「1. 生駒市内で利用」又は「2. 他市町村で利用」に○をつけた方)にかかいます。 *利用していない方は、問18にお進みください。*

この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった	2. なかった
--------	---------

問17-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。 ※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。

1年間の対応	総日数
1. 休みをとった → ①父親がとった	()日
②母親がとった	()日
(休みをとらず対応した場合)	
2. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	()日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	()日
4. 病児・病後児のための保育施設等を利用した	()日
5. ベビーシッターを利用した	()日
6. 子どもだけで留守番をさせた	()日
7. その他 ()	()日

問17-2 問17-1で「1」に○をつけた方にかかいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

当てはまる番号1つに○をつけ、利用しなかった日数についても（ ）内に数字でご記入ください。

なお、病児・病後児のための保育施設等の利用には、一定の利用者負担が発生し、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

- | |
|------------------------------------|
| 1. できれば病児・病後児保育施設等を利用しなかった → () 日 |
| 2. 利用したいとは思わなかった |

問17-3 問17-2で「1」に○をつけた方にかかいます。

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業 |
| 4. その他 () |

問17-4 問17-2で「2. 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にかかいます。

そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|---------------------------|
| 1. 特に利用する必要がない | 2. 事業の質に不安がある |
| 3. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数等）がよくない | |
| 4. 利用料がかかる・高い | 5. 利用料がわからない |
| 6. 自分が事業の対象者になるのかわからない | 7. 事業の利用方法（手続き等）がわからない |
| 8. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安 | 9. 父母(のいずれか)が仕事を休んで子どもをみる |
| 10. (同居者を含む) 親族・知人が子どもをみてくれる | |
| 11. その他 () | |

問17-5 問17-1で「3」から「7」のいずれかに○をつけた方にかかいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたかった」と思われましたか。

当てはまる番号1つに○をつけ、「3」から「7」の日数のうち仕事を休んで子どもをみたかった日数についても（ ）内に数字でご記入ください。

- | |
|--------------------------------|
| 1. できれば仕事を休んで子どもをみたかった → () 日 |
| 2. 仕事を休んで子どもをみることは非常に難しい |

問17-6 問17-5で「2」に○をつけた方にかかいます。

そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|----------------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みが取れない |
| 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない |
| 4. 仕事の調整がつかない |
| 5. その他 () |

宛名のお子さんの地域子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問18 宛名のお子さんは現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業
 （「てくてく」「ほっとスマイル」「ちどりであそぼ」「集いの森」「うみのいえ」「COCOテラス」「會津生駒保育園」「會津吉分保育園」）
 1週当たり（ ）回 もしくは 1ヶ月当たり（ ）回程度
2. 市で実施している類似の事業（「みっきランド」「はばたきみっき」「おでかけみっき」）
 1週当たり（ ）回 もしくは 1ヶ月当たり（ ）回程度
3. 利用していない

問19 問20のような事業について、今は利用していないができれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。

当てはまる番号1つに○をつけ、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後は利用したい
 1週当たり（ ）回 もしくは 1ヶ月当たり（ ）回程度
2. すでに利用しているが、今後は利用日数を増やしたい
 1週当たり（ ）回 もしくは 1ヶ月当たり（ ）回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。

①～⑱の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

		A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい	
①マタニティコンシェルジュ		1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
②パパママ教室、パパ講座		1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
③産後ケア事業		1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
④ママとベビーのおっぱい相談会		1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑤はじめての離乳食講習会		1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑥生駒市健康課の情報・相談事業		1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
た っ ち の ひ ろ ば	⑦サンデーひろば	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
	⑧パパひろば	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
	⑨びよびよサロン	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
	⑩もぐもぐサロン	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
	⑪もこもこサロン	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
	⑫えほんのひろば	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
	⑬親と子のあそび (旧：ゆうゆうひろば)	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
た っ ち の 講 座	⑭親と子の絆づくりプログラム (BPプログラム)	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
	⑮とまらない子育て練習法	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
	⑯トリプルP	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
	⑰パパセミナー	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑱教育支援施設		1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑲子ども・若者総合相談窓口 (ユースネットいこま)		1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ

宛名のお子さんの不定期な教育・保育事業や一時預かり等の利用についてうかがいます。

問2 1 宛名のお子さんは現在、日中の定期的な教育・保育事業や病気のため以外に、保護者の用事や不定期の就労等の目的で教育・保育事業を不定期に利用していますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、1年間のおおよその利用日数を（ ）内に数字でご記入ください。

利用している教育・保育事業	利用日数
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	()日
2. ファミリー・サポート事業	()日
3. 子育て短期支援事業：ショートステイ、トワイライトステイ (児童養護施設で一定期間・夜間等、子どもを保護する事業)	()日
4. ベビーシッター	()日
5. その他 ()	()日
6. 利用していない	

問2 1-1 問2 1で「6」に○をつけた方にうかがいます。

現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 事業の質に不安がある
4. 事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
9. その他 ()

問2 2 宛名のお子さんについて、保護者の用事や不定期の就労等の目的で、年間何日くらい教育・保育事業を利用する必要があると思いますか。

利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を()内に数字でご記入ください。)なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用したい	合計 ()日
①私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的)	()日
②親や子ども(兄弟姉妹を含む)の通院、冠婚葬祭、学校行事等	()日
③不定期の就労	()日
④その他 ()	()日
2. 利用する必要はない	

問2 2-1 問2 2で「1. 利用したい」に○をつけた方にかかいます。

問2 2の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等） |
| 2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：小規模保育事業等） |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート事業等） |
| 4. その他（ ） |

問2 2-2 問2 2で「1. 利用したい」に○をつけた方にかかいます。

この1年間に、保護者の用事等により、宛名のお子さんを泊りがけで父母以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

1年間の対処方法		日数
1. あった	①（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	（ ）泊
	② 子育て短期支援事業：ショートステイを利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	（ ）泊
	③ ②以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	（ ）泊
	④ 子どもを同行させた	（ ）泊
	⑤ 子どもだけで留守番をさせた	（ ）泊
	⑥ その他（ ）	（ ）泊
2. なかった		

問2 2-3 問2 2-2で「1. ①」に○をつけた方にかかいます。

その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|--------------|-------------|
| 1. 非常に困難 | 2. どちらかという困難 | 3. 特に困難ではない |
|----------|--------------|-------------|

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問23 宛名のお子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業（産前産後休暇を除く）を取得しましたか。

母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する（ ）内には数字でご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

※母子家庭・父子家庭の場合は、いずれかにお答えください。

母親	父親
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である） → 取得期間（ ） 例：〇〇日、〇ヶ月、〇年等	2. 取得した（取得中である） → 取得期間（ ） 例：〇〇日、〇ヶ月、〇年等
3. 取得していない 理由番号（ ） ※下から番号を選んでご記入ください（いくつでも）	3. 取得していない 理由番号（ ） ※下から番号を選んでご記入ください（いくつでも）

【理由】

- | | |
|---|---------------------|
| 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった | 2. 仕事が忙しかった |
| 3. （産休後）仕事に早く復帰したかった | 4. 仕事に戻るのが難しそうだった |
| 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった | 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる |
| 7. 保育所などに預けることができた | 8. 配偶者が育児休業制度を利用した |
| 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった | |
| 10. 子育てや家事に専念するため退職した | |
| 11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった） | |
| 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった | |
| 13. 育児休業を取得できることを知らなかった | |
| 14. 産前産後休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した | |
| 15. その他（ ） | |

問24 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業給付金が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|----------------------------|
| 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた |
| 2. 育児休業給付のみ知っていた |
| 3. 保険料免除のみ知っていた |
| 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |

問25 問23で母親・父親が「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にかがいます。
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親	父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した

問25-1 問25で「1」に○をつけた方にかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

母親	父親
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問25-2 問25で「1」に○をつけた方にかがいます。

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。

また、職場の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

() 内に数字でご記入ください。

母親	父親
実際の復帰時期 () 歳 () ヶ月 希望 () 歳 () ヶ月	実際の復帰時期 () 歳 () ヶ月 希望 () 歳 () ヶ月

問25-3 問25で「1」に○をつけた方にかがいます。

職場に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。() 内に数字でご記入ください。

母親	父親
() 歳 () ヶ月	() 歳 () ヶ月

問25-4 希望の時期に復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

母親	父親
1. 希望する保育所に入所するため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため 4. 人事異動や仕事の節目の時期に合わせるため 5. その他 ()	1. 希望する保育所に入所するため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため 4. 人事異動や仕事の節目の時期に合わせるため 5. その他 ()

(2)「希望」より遅く復帰した場合 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

母親	父親
1. 希望する保育所に入所できなかったため	1. 希望する保育所に入所できなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ()	6. その他 ()

問25-5 問25で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業から職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親	父親
1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
2. 利用した	2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)	3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)

問25-6 問25-5で「3」に○をつけた方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

母親	父親
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった	2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる	3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申込の優先順位が下がる	4. 短時間勤務にすると保育所の入所申込の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	7. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
9. その他 ()	9. その他 ()

問25-7 問25で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる教育・保育事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる教育・保育事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親	父親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい	2. 1歳になる前に復帰したい

宛名のお子さんの小学校就学後の過ごし方についてうかがいます。

※先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

問26 宛名のお子さんについて、小学校就学後の放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。学年別に、それぞれ希望する1週当たりのおおよその日数を数字でご記入ください。なお、「6」については希望時間（何時まで）も数字でご記入ください。時間は、例：18時のように24時間制でご記入ください。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 自宅	日	日	日	日	日	日
2. 祖父母宅や友人・知人宅	日	日	日	日	日	日
3. 習いごと (ピアノ教室、スイミング、学習塾など)	日	日	日	日	日	日
4. 児童館	日	日	日	日	日	日
5. 放課後子ども教室	日	日	日	日	日	日
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	日 時まで	日 時まで	日 時まで	日 時まで	日 時まで	日 時まで
7. ファミリー・サポート事業	日	日	日	日	日	日
8. その他 (公民館、公園など)	日	日	日	日	日	日

※放課後子ども教室…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校の空き教室で学習・文化芸術活動などを体験する取組です。

※放課後児童クラブ（学童保育）…保護者が就労などにより放課後家庭にいない子どもに対して、小学校の敷地内等において支援員（指導員）のもと、適切な遊びや生活の場を提供するものです。利用には一定の利用者負担が発生します。

問27 問26で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、小学校就学後の土曜日と日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期休暇中に放課後児童クラブ（学童保育）の利用を希望しますか。

それぞれについて当てはまる番号の欄に○をつけてください。また、「1」に○をつけた方はそれぞれの希望時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は、例：18時のように24時間制でご記入ください。

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
土曜日	1. 利用したい						
	利用希望時間	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで
	2. 利用する必要はない						
日曜日 祝日	1. 利用したい						
	利用希望時間	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで
	2. 利用する必要はない						
長期休暇中	1. 利用したい						
	利用希望時間	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで
	2. 利用する必要はない						

幼稚園及び小中学校の規模についてうかがいます。

問28 少子化に伴い、市立の幼稚園及び小中学校の子どもの数が減少しており、1学年1クラスの幼稚園及び小中学校があり、今後、小規模な幼稚園や小中学校が増加していくことが予想されます。市立の幼稚園及び小中学校が小規模化していくことについてどう思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 望ましい | 2. どちらかといえば望ましい |
| 3. どちらかといえば望ましくない | 4. 望ましくない |
| 5. わからない | |

問28-1 問28で「1. 望ましい」または「2. どちらかといえば望ましい」に○をつけた方にうかがいます。
その理由は何ですか。当てはまる番号のうち主なもの3つまでに○をつけてください。

1. 同学年の子ども同士がよく知り合うことができ、人間関係が密になる
2. 異学年の子どもとの関わりが密になる
3. 運動会や音楽会などの学校行事において、子ども一人一人の活躍の場が作りやすくなる
4. 先生の目が届きやすく、きめ細やかな指導（個別指導）が受けやすくなる
5. 全員で団結や協力がしやすくなる
6. 個々の活動の場が増え、責任感が育つ
7. ゆとりや安心感など、家庭的な雰囲気の中で学ぶことができる
8. その他（)

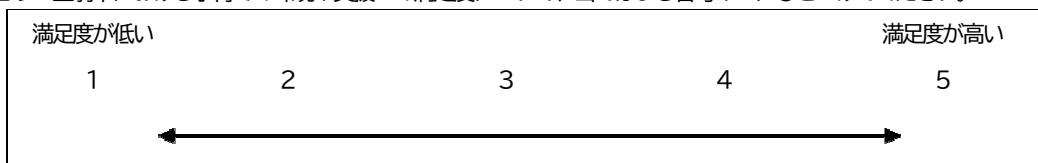
問28-2 問28で「3. どちらかといえば望ましくない」または「4. 望ましくない」に○をつけた方にうかがいます。

その理由は何ですか。当てはまる番号のうち主なもの3つまでに○をつけてください。

1. 切磋琢磨する機会が少なくなる
2. 子どもが多様な個性と触れ合う機会が少なくなる
3. 集団活動・行事に支障がでる
4. 多様な考えに触れる機会が少なくなる
5. コミュニケーション能力が育ちにくくなる
6. 部活動などの数や部員が少なくなり、運営に支障がでる
7. PTA活動等において、保護者の負担が大きくなる
8. その他（)

すべての方にうかがいます。

問29 生駒市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。



問30 子育てについて、今のお気持ちに一番近いものとして当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------------------|
| 1. 楽しいと感じることの方が多い | 2. 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい |
| 3. つらいと感じることの方が多い | 4. わからない |
| 5. その他（) | |

問31 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

以上でアンケートは終了です。

お忙しい中、最後までアンケートにご記入いただきまして、ありがとうございました。

ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、6月28日(金)までに郵便ポストにご投函ください。なお、切手を貼っていただく必要はありません。

問7-1 問7で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族や友人・知人に宛名のお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 安心して子どもをみてもらえる |
| 2. みてもらう人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. みてもらう人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|-------|--------|
| 相談できる人 | 1. いる | 2. いない |
| 相談できる場所 | 1. ある | 2. ない |

問8-1 問8で「1」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|--------------------------------------|-----------------------------|-------------------|-----------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 | 3. 近所の人 | 4. 小学校の先生 |
| 5. かかりつけの医師 | 6. 生駒市健康課 | | |
| 7. 生駒市役所の子育て関連担当窓口（教育総務課・教育指導課・子ども課） | | | |
| 8. 子育て支援総合センター たっち | | 9. こどもサポートセンター ゆう | |
| 10. 教育支援施設 | 11. 子ども・若者総合相談窓口（ユースネットいこま） | | |
| 12. 奈良県郡山保健所 | 13. 民生児童委員 | 14. インターネットの交流サイト | |
| 15. その他 () | | | |

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問9 宛名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

①～⑧の項目ごとに当てはまる番号1つに○をつけてください。③④は（ ）内に数字でご記入ください。

※母子家庭・父子家庭の場合は、いずれかにお答えください。

※保護者が父母でない場合は、主にお子さんをみていらっしゃる方についてお答えください。

項目		母親	父親
①就労の有無 ※育休等…育休 産休 介護休		1. 就労している（育休等を含む） 2. 学生（専門学校生・大学生・大学院生等） 3. 以前は就労していたが、現在は就労していない 4. 就労したことがない	1. 就労している（育休等を含む） 2. 学生（専門学校生・大学生・大学院生等） 3. 以前は就労していたが、現在は就労していない 4. 就労したことがない
就労している場合	②就労形態 ※フルタイム…1週当たり5日程度、1日当たり8時間程度の就労	1. フルタイム 2. パート・アルバイト等 ↓ ①育休中等 ②育休中等ではない	1. フルタイム 2. パート・アルバイト等 ↓ ①育休中等 ②育休中等ではない
	③1週間の就労日数と1日当たりの残業時間を含む就労時間（もっとも多いパターン）	就労日数 1週当たり（ ）日 就労時間 1日当たり（ ）時間 (残業時間を含む)	就労日数 1週当たり（ ）日 就労時間 1日当たり（ ）時間 (残業時間を含む)
	④家を出る時刻と帰宅時刻（24時間制でお答えください。例：帰宅時刻 19時）	1. 家を出る時刻 （ ）時 2. 帰宅時刻 （ ）時	1. 家を出る時刻 （ ）時 2. 帰宅時刻 （ ）時
	⑤ ②で2. パート・アルバイト等で就労しているに○をつけた方	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等を続けたい 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等を続けたい 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
	⑥就労又は修学希望はありますか	1. 就労又は修学したい 2. 就労又は修学したくない	1. 就労又は修学したい 2. 就労又は修学したくない
就労してごなご場合	⑦希望の就労又は修学形態	1. フルタイム 2. パート・アルバイト等 (1. 以外での就労) 3. 専門学校生・大学生・大学院生等	1. フルタイム 2. パート・アルバイト等 (1. 以外での就労) 3. 専門学校生・大学生・大学院生等
	⑧希望の就労又は修学時期	1. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になった頃 2. すぐにも、もしくは1年以内	1. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になった頃 2. すぐにも、もしくは1年以内

宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問10 宛名のお子さんの現在の平日の放課後（小学校終了後）の過ごし方で一番多いものについて、時間帯ごとに当てはまるものを下の枠内の選択肢の中からそれぞれ1つ選んで表に番号をご記入ください。

14～16時	16～18時	18～20時	20時以降

- | | |
|-------------------------------------|------------------------|
| 1. 学校にいた | 2. 放課後児童クラブ（学童保育）で過ごした |
| 3. 保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごした | 4. 家で兄弟姉妹と子どもだけで過ごした |
| 5. 家で一人で過ごした（宛名のお子さん以外に誰もいない状態） | 6. 友だちの家に行った |
| 7. 公園などで友だちと遊んでいた | 8. 児童館などの公共施設にいた |
| 9. クラブ活動や地域活動（子ども会活動やスポーツ活動など）をしていた | |
| 10. 学習塾や習いごとに行っていた | |
| 11. その他（ | ） |

問11 宛名のお子さんについて、平日の放課後（小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたかった・過ごさせたいと思いますか。学年別に、それぞれ希望する1週あたりのおおよその日数を数字でご記入ください。「6」については、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は、例：18時のように24時間制でご記入ください。

※宛名のお子さんが設問の学年に当てはまらない場合も「希望」としてご記入ください。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 自宅	日	日	日	日	日	日
2. 祖父母宅や友人・知人宅	日	日	日	日	日	日
3. 学習塾や習いごと	日	日	日	日	日	日
4. 児童館	日	日	日	日	日	日
5. 放課後子ども教室	日	日	日	日	日	日
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	日 時まで	日 時まで	日 時まで	日 時まで	日 時まで	日 時まで
7. ファミリー・サポート事業 （地域住民が子どもを預かる事業）	日	日	日	日	日	日
8. その他（公民館、公園など）	日	日	日	日	日	日

※放課後子ども教室・・・地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・文化芸術活動などを体験する取組です。

※放課後児童クラブ（学童保育）・・・保護者が就労などにより放課後家庭にいない子どもに対して、小学校の敷地内等において支援員（指導員）のもと、適切な遊びや生活の場を提供するものです。利用には一定の利用者負担が発生します。

問12 問11で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期休暇中に放課後児童クラブ（学童保育）の利用を希望しますか。

それぞれについて当てはまる番号の欄に○をつけてください。また、「1」に○をつけた方は利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は、例：18時のように24時間制でご記入ください。

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
土曜日	1. 利用したい						
	利用希望時間	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで
	2. 利用する必要はない						
日曜日 祝日	1. 利用したい						
	利用希望時間	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで
	2. 利用する必要はない						
長期休暇中	1. 利用したい						
	利用希望時間	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで
	2. 利用する必要はない						

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問13 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで教育・保育事業が利用できなかったこと（学校を休んだり、放課後児童クラブ（学童保育）が利用できなかったこと）はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------|---------|
| 1. あった | 2. なかった |
|--------|---------|

問13-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。

1年間の対応	総日数
1. 休みをとった → ①父親がとった	() 日
②母親がとった	() 日
(休みをとらず対応した場合)	
2. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	() 日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	() 日
4. 病児・病後児のための保育施設等を利用した	() 日
5. ベビーシッターを利用した	() 日
6. 子どもだけで留守番をさせた	() 日
7. その他 ()	() 日

問13-2 問13-1で「1」に○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

当てはまる番号1つに○をつけ、利用しなかった日数についても（ ）内に数字でご記入ください。

なお、病児・病後児のための保育施設等の利用には、一定の利用者負担が発生し、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

- | |
|------------------------------------|
| 1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった → () 日 |
| 2. 利用したいとは思わなかった |

問13-3 問13-2で「1」に○をつけた方にうかがいます。

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業 |
| 4. その他 () |

問13-4 問13-2で「2. 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|---------------------------|
| 1. 特に利用する必要がない | 2. 事業の質に不安がある |
| 3. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数等）がよくない | |
| 4. 利用料がかかる・高い | 5. 利用料がわからない |
| 6. 自分が事業の対象者になるのかわからない | 7. 事業の利用方法（手続き等）がわからない |
| 8. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安 | 9. 父母（のいずれか）が仕事を休んで子どもをみる |
| 10.（同居者を含む）親族・知人が子どもをみてる | |
| 11. その他（ | ） |

問13-5 問13-1で「3」から「7」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたかった」と思われましたか。

当てはまる番号1つに○をつけ、「3」から「7」の日数のうち仕事を休んで子どもをみたかった日数についても（ ）内に数字でご記入ください。

- | |
|-------------------------------|
| 1. できれば仕事を休んで子どもをみたかった → （ ）日 |
| 2. 仕事を休んで子どもをみることは非常に難しい |

問13-6 問13-5で「2」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|----------------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みが取れない |
| 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない |
| 4. 仕事の調整がつかない |
| 5. その他（ |
| ） |

宛名のお子さんの地域子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問14 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。

①～③の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A		B		C	
	知っている		これまでに利用したことがある		今後利用したい	
①健康課の情報・相談事業	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
②教育支援施設	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
③子ども・若者総合相談窓口 （ユースネットいこま）	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ

宛名のお子さんの不規則な教育・保育事業や一時預かり等の利用についてうかがいます。

- 問15 宛名のお子さんは現在、日中の定期的な教育・保育事業や病気のため以外に、保護者の用事や不規則の就労等の目的で教育・保育事業を不規則に利用していますか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、1年間のおおよその利用日数を（ ）内に数字でご記入ください。

利用している教育・保育事業	利用日数
1. ファミリー・サポート事業	()日
2. 子育て短期支援事業：ショートステイ、トワイライトステイ (児童養護施設で一定期間・夜間等、子どもを保護する事業)	()日
3. ベビーシッター	()日
4. その他 ()	()日
5. 利用していない	

- 問15-1 問15で「5」に○をつけた方にうかがいます。

現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 事業の質に不安がある
4. 事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
9. その他 ()

- 問16 宛名のお子さんについて、保護者の用事や不規則の就労等の目的で、年間何日くらい教育・保育事業を利用する必要があると思いますか。

利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を()内に数字でご記入ください。)なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用したい	合計 ()日
①私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的)	()日
②親や子ども(兄弟姉妹を含む)の通院、冠婚葬祭、学校行事等	()日
③不規則の就労	()日
④その他 ()	()日
2. 利用する必要はない	

問16-1 問16で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問16の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）	
2. 小規模施設で子どもを保育する事業	
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート事業等）	
4. その他（	）

問16-2 問16で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

この1年間に、保護者の用事等により、宛名のお子さんを泊りがけで父母以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

1年間の対処方法		日数
1. あった	①（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	（ ）泊
	② 子育て短期支援事業：ショートステイを利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	（ ）泊
	③ ②以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	（ ）泊
	④ 子どもを同行させた	（ ）泊
	⑤ 子どもだけで留守番をさせた	（ ）泊
	⑥ その他（	）泊
2. なかった		

問16-3 問16-2で「1. ①」に○をつけた方にうかがいます。

その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問17 宛名のお子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業（産前産後休暇を除く）を取得しましたか。

母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する（ ）内には数字でご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

※母子家庭・父子家庭の場合は、いずれかにお答えください。

母親	父親
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である） → 取得期間（ ） 例：〇〇日、〇ヶ月、〇年等	2. 取得した（取得中である） → 取得期間（ ） 例：〇〇日、〇ヶ月、〇年等
3. 取得していない 理由番号（ ） ※下から番号を選んでご記入ください（いくつでも）	3. 取得していない 理由番号（ ） ※下から番号を選んでご記入ください（いくつでも）

【理由】

- | | |
|---|---------------------|
| 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった | 2. 仕事が忙しかった |
| 3. （産休後）仕事に早く復帰したかった | 4. 仕事に戻るのが難しそうだった |
| 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった | 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる |
| 7. 保育所などに預けることができた | 8. 配偶者が育児休業制度を利用した |
| 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった | |
| 10. 子育てや家事に専念するため退職した | |
| 11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった） | |
| 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった | |
| 13. 育児休業を取得できることを知らなかった | |
| 14. 産前産後休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した | |
| 15. その他（ ） | |

問18 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業給付金が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|----------------------------|
| 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた |
| 2. 育児休業給付のみ知っていた |
| 3. 保険料免除のみ知っていた |
| 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |

問19 問17で母親・父親が「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親	父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である	2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した	3. 育児休業中に離職した

問19-1 問19で「1」に○をつけた方にうかがいます。
育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

母親	父親
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった	2. それ以外だった

問19-2 問19で「1」に○をつけた方にうかがいます。
育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。
また、職場の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。
()内に数字でご記入ください。

母親	父親
実際の復帰時期 ()歳()ヶ月	実際の復帰時期 ()歳()ヶ月
希望 ()歳()ヶ月	希望 ()歳()ヶ月

問19-3 問19で「1」に○をつけた方にうかがいます。
職場に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

母親	父親
()歳()ヶ月	()歳()ヶ月

問19-4 希望の時期に復帰しなかった理由についてうかがいます。
(1)「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

母親	父親
1. 希望する保育所に入所するため	1. 希望する保育所に入所するため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため
4. 人事異動や仕事の節目の時期に合わせるため	4. 人事異動や仕事の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	5. その他 ()

(2)「希望」より遅く復帰した場合 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

母親	父親
1. 希望する保育所に入所できなかったため	1. 希望する保育所に入所できなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ()	6. その他 ()

問19-5 問19で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業から職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親	父親
1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
2. 利用した	2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)	3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)

問19-6 問19-5で「3」に○をつけた方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

母親	父親
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった	2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる	3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申込の優先順位が下がる	4. 短時間勤務にすると保育所の入所申込の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	7. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
9. その他 ()	9. その他 ()

小学校・中学校の規模についてうかがいます。

問20 少子化に伴い、市立の小学校・中学校の子どもの数が減少しており、1学年1クラスの小学校・中学校があり、今後、小規模な小学校・中学校が増加していくことが予想されます。市立の小学校・中学校が小規模化していくことについてどう思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 望ましい	2. どちらかといえば望ましい
3. どちらかといえば望ましくない	4. 望ましくない
5. わからない	

問23 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

以上でアンケートは終了です。

お忙しい中、最後までアンケートにご記入いただきまして、ありがとうございました。

ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、6月28日(金)までに郵便ポストにご投函ください。なお、切手を貼っていただく必要はありません。